特　記　仕　様　書

工事名称　　元宮浦住宅解体工事

工事場所　　三原市宮浦五丁目

工事内容　　市営宮浦住宅（昭和48年建築）の計10棟を解体する。事前に近隣の家屋調査を行う。

［工事概要］
・建築工事一式
　（1）建築物解体工事
　（2）付属棟解体工事
　（3）外構解体工事
・電気設備工事一式
　（1）構内配電線路解体工事
　（2）幹線設備解体工事
　（3）電灯設備解体工事
　（4）火災報知設備解体工事等
・機械設備工事一式
　（1）空調機器配管ダクト解体工事
　（2）衛生設備解体工事
　（3）ガス設備解体工事等

準　　則　　公共建築工事標準仕様書(建築工事編・電気設備工事編・機械設備工事編)、公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編・電気設備工事編・機械設備工事編)、建築物解体工事共通仕様書　（各 令和４年版　国土交通省官房官庁営繕部監修）に基づき施工する。

関係法令等　　本工事については、次の関係法令その他の規定等に基づき施工すること。
・建築基準法、同施行令、同施行規則
・消防法、同施行令
・廃棄物の処理及び清掃に関する法律、同法施行令、同法施行規則
・労働安全衛生法、同法施行令、同法施行規則
・建設業法、同施行令、同施行規則
・建設工事公衆災害防止対策要綱
・石綿障害予防規則
・大気汚染防止法、振動規制法及び土壌汚染対策法
・建設工事に係る再資源化等に関する法律、同法施行令
・その他関係法令

疑義変更　　本設計図書は、設計の大要を示すものであり、詳細部等について技術的必要事項は明記なくとも完全に施工すること。
　施工に際して疑義が生じた場合、または軽微な変更を必要とする場合には、速やかに監理者と協議後、監督員の指示により施工すること。ただし、これらに於いて受注金額の増減はなきものとする。
　本設計図書と不整合が確認されて設計変更（増額）が必要な場合は、その変更数量が確認できる根拠としての写真などの記録が存在し、かつ監督員に承認されたもの以外は認められない。

提出書類　　施工に先立ち、工事工程表、仮設計画図及び監督員の指示する書類を提出し、監督員の承認を受けること。
　商品名及び製造者名が記載された材料については、当該商品又は同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合は、監督員の承諾を受けること。
　設計図書に定める品質及び性能を有することについて、証明となる資料を提出して監督員の承諾を受けること。

工　　期　　本工事は請負契約締結の後、令和8年2月26日をもって工期とする。
　このうち検査期間として13日間を見込んでいる。（工事の完成通知予定日は令和8年2月13日。）
　（現場の作業完了予定見込み：令和8年1月26日）

留意事項

・入札に先立ち、現地調査を十分に行うこと。質疑がある場合は入札前に確認すること。
・図面に明示されていない事項であっても、工事上必要とされる事は工事範囲とする。
・作業日は、原則、月曜日から金曜日とし、土曜日及び日曜日は休工日とすること。
・行政機関の休日に関する法律（昭和63年法律第91号）に定める行政機関の休日に工事の施工を行わない。ただし、あらかじめ監督職員の承諾を受けた場合は、この限りではない。
・本工事は「発注者指定型」による週休２日適用工事の対象工事であり、「三原市週休２日適用工事等実施要領(建築工事）」（令和７年６月２４日改定）により工事を行うこと。
・工事着手前までに「週休２日適用工事」または「週休２日交代制適用工事」に取り組むことを工事打合せ簿にて提出すること。
・「週休２日適用工事」または「週休２日交代制適用工事」である旨の表示を工事現場に設置すること。
・月単位の週休２日適用工事を達成できなくなった場合は、対象期間中の現場閉所（現場休息）の状況に応じた補正係数により労務費を減額する。
・デジタル化を積極的に推進すること。
・定例会議の頻度と方法は協議による。方法は現場事務所での現地開催を基本とし、一部Web会議(現場事務所と市役所を想定)併用とする。現場でのWeb会議の環境設定（受注者側がホスト。Web会議の使用料、現場の通信費等を含む。Web会議用カメラ、マイク、スピーカーなどの周辺機器を含む。）は、工事に含む。
・紙資料の削減を目的として、電子機器の利用を主とすること。
・定例会の資料は、電子データを原則とすること。
・受注者は各定例会の前日までに必要な資料を所定の場所に提出すること。
・受注者は各定例会後の5日以内に議事録を作成して、所定の場所に提出して出席者に内容を共有すること。
・現場事務所には、HDMI規格により出力できるモニター（40インチ程度）を設置すること。
・現場事務所内は、無線通信（会議にて同時接続3台以上）が可能な環境とすること。
・工事着手の10日より前に住民説明会を開催し、工事の概要を説明すること。日時や場所等については発注者との協議により決定する。
・着手にあたり、工事着手前の周辺道路や近隣敷地の状況を写真等により記録しておくこと。
・近隣住民等の安全はもとより、丁寧な説明と施工により、関係者の理解と協力を得ながら実施すること。苦情等が発生した場合には誠意をもってこれに対応すること。
・近隣において、その他の工事が行われている場合は、取り合い工事及び工程等の調整を行うこと。
・近隣住民等への支障を最小限とするため、騒音・振動・粉塵等の対策については最大限配慮した施工方法を採用すること。
・使用する建設機械については、原則、「低騒音型、低振動型建設機械」として国土交通省の指定を受けた機械を選定して使用すること。これが確認できる資料を施工計画書で示すこと。なお、事情により使用が難しい場合は監督員との協議を行うこと。
・解体工事・アンカー工事等の騒音・振動・粉じん等の発生が予想される工種については、施工時間及び施工方法等を最大限配慮した計画により作業を行うこと。
・粉塵の発生が予想される工事は、確実に散水を行う等して、周辺環境への粉塵飛散がないように作業をすること。
・騒音計・振動計・デジタル粉塵計・表示盤等を設置し、常時監視をしながら作業を行うこと。
・騒音計・振動計の表示盤は、近隣に対して1カ所以上を掲示すること。
・騒音測定については、騒音規制法(特定建設作業)の測定方法により測定して、工事中の作業音は許容限度である85デシベルを厳守すること。
・施工箇所周囲の備品・機器等については、粉塵対策として養生及び清掃等を確実に行うこと。養生や移動を行う場合は、事前に施設管理者または所有者に連絡すること。
・近隣家屋・敷地または周辺道路に対して、工事による汚れ・損傷・粉じん等を与えた場合は、受注者が責任をもって、速やかに清掃及び補修等を行うこと。誠意をもって対応し、原状復旧に努めること。
・周辺道路の保全及び清掃については常に注意を払って監視をし、定期的に清掃を行うこと。
・敷地境界付近には仮囲い（高さ3m以上）を設置すること。
・第三者災害防止及び飛散防止対策のために、必要に応じて監督員が指示する範囲にバリケード等を設置すること。
・工事期間中は、工事用出入口に交通誘導員を常時配置し、付近の交通の安全を図ること。その他、必要な場所に交通誘導員を配置し、事故及び危険防止に努めること。
・交通誘導員は本工事で見込んでいる。実施数量が設計数量に満たない場合は設計変更（減額）の対象とする。
・工事車両の通行については、近隣住民及び通学児童等の安全を最優先すること。
・工事車両は、幅員の広い道路の通行を基本とし、住宅地内などの狭い道を抜け道として使用しないこと。工事車両の周辺の通行経路については、工事着手前に発注者の了承を得ること。

・特殊車両の搬出入の有無については、工事着手前に発注者と確認すること。
・特殊車両の搬出入を夜間や早朝に行う必要がある場合は、発注者との協議の上で、事前に近隣住民等へ案内文のポスティング等を行うこと。
・工事車両は、場内を5ｋｍ/ｈ以下で徐行すること。場内に注意喚起表示を行うこと。
・場内に喫煙所を設ける場合は、施設使用者と近隣住民へ配慮し、設置位置と使用方法を協議してから設けること。使用方法を作業員に周知徹底すること。
・工事区域内の残置する設備配管・配線等については、事前に位置を確認してから作業を行うこと。事前調査記録を作成すること。
・記念碑等の移設が必要な場合は、事前に関係者と移設場所・方法・時期等を協議の上で実施すること。
・監視カメラ・仮設照明・養生用鉄板を適切に設置すること。
・敷地の出入口付近には、敷鉄板（下部に砕石敷）を敷き、高圧洗浄機・水中ポンプ・ノッチタンク等を適切に設置すること。工事車両のタイヤ洗浄等により、道路を汚さないように配慮すること。
・工事中の雨水・湧水・洗浄水等の排水については、ノッチタンクによる汚泥等の処理を行う等した上で、適切に排水すること。定期的にpHを測定し、必要に応じて適宜中和を行うこと。
・受注者事務所、休憩所及び便所等は関係法令に従って設けること。
・仮囲い、足場、山留、型枠支保工、構台等の仮設については、施工者が計算等により責任をもって決定し、計画通りに施工すること。仮設設置期間は日常点検を行い、記録に残すこと。
・図面等に示されている仮設等についても、必ず受注者で安全性や施工性等を検証すること。受注者が責任をもって設置、施工すること。
・足場設置期間中は、シート等の飛散が無いように定期的に点検を行うこと。
・台風等の強風等異常気象が見込まれる場合は、事前に足場等の養生シートを折りたたむなど対策を施すこと。また、必要に応じて現場巡視と災害防止対策を行うこと。
・足場については、交差筋交い及び外部シートとは別に、高さ15センチメートル以上の幅木を外部・内部の両側に設置すること。（※労働安全衛生法の基準以上の足場とし、安全に配慮する。）
・足場については、必要に応じて朝顔を設置すること。
・足場については「手すり先行工法等に関するガイドライン」における「手すり先行工法等に関する基準」、「働きやすい安心感のある足場に関する基準」に適合する施工方法にて設置、解体をすること。（親綱は手摺とは扱わない。）
・外部足場等に過剰な宣伝広告はしないこと。
・工事に係る電気、水道及び下水道料金等は受注者の負担とする。
・工事の要求に必要な仮設は、工事に含むものとする。
・重機が転倒しないように事前検討を行い、安全に作業を行うこと。
・「①建築物を解体する作業を伴う建設工事であって､当該作業の対象となる床面積の合計が80㎡以上であるもの」、「②建築物を改造し、または補修する作業を伴う建設工事であって、当該作業の請負代金の合計額が100万円以上であるもの」、「③工作物を解体し、改造し、または補修する作業を伴う建設工事でって、当該作業の請負代金の合計額が100万円以上であるもの」については、事前調査結果を労働基準監督署及び広島県東部厚生環境事務所環境管理課に報告すること。
・石綿含有建材の調査（書面・目視調査、分析調査調査及び検体採取を含む）について、工事着手前までに一般建築物石綿含有建材調査者、または特定建築物石綿含有建材調査者が行うこと。
・その他石綿の飛散防止等については、改正大気汚染防止法及び施行令（令和3年4月1日施行）に基づくこと。
・石綿含有分析調査は試料採取と分析調査費を見込んでいる。分析は定性（JIS A 1481-1。含有の場合は、含有する層の判定も行う。）による。
・作業員に対して、新規入場教育時に石綿含有建材の位置を確認させること。
・石綿則に基づく事前調査のアスベスト分析マニュアル(最新版)に基づくこと。
・既存照明機器（安定器等）又はシーリング材等のPCB含有調査を見込んでいる。
・PCB含有シーリング材の撤去については、「PCB含有ポリサルファイド系シーリング材撤去工事標準施工要領書」に沿って撤去すること。
・家電リサイクル法又はフロン排出抑制法に関係する機器等の処分については、当該法律に基づき適正に行うこと。
・既存基礎、既存杭及びその他地中構造物の残置物は、測量によって位置及び高さ等(それぞれ基準を設定)を記録して、完成図書として提出すること。
・仮使用申請、道路使用、道路改築申請等の工事に必要な各種手続きは、受注者の負担により遅滞なく行うこと。
・その他、工事に伴う官公庁等への手続きは、受注者により遅滞なく行うこと。この時、各種申請手数料等が発生した場合は受注者の負担とする。
・家屋調査（外部のみ）は次のとおりとする。

・打合せ協議、作業計画作成、現地踏査　　1業務
・木造建物Ａ　70㎡以上130㎡未満　　5棟
・木造建物Ａ　130㎡以上200㎡未満　　1棟
・木造建物Ａ　200㎡以上300㎡未満　　1棟
・木造建物Ｃ　70㎡未満　　3棟
・非木造建物イ　200㎡未満　　7棟
・非木造建物イ　200㎡以上400㎡未満　　6棟
・非木造建物ハ　200㎡未満　　1棟
・上記敷地の工作物も調査する。

・現地調査については、解体重機の搬入前までに完了すること。
・調査等の詳細については、別添「家屋事前調査特記仕様書」による。

・品質について、社内検査員(当該工事に従事していない者)を定め、設計図書に基づき社内検査を実施し、書類等の記録に残すこと。
・大雨等の警報が発令した場合、また台風及び強風等による自然災害の発生が予測される場合は、現場代理人等は現場事務所等へ待機のうえ、現場及び周囲の巡回を行うとともに必要に応じて対策を講じ報告すること。
・本工事の外注資材、労務等の調達については、極力、三原市内に主たる営業所を有する業者に発注すること。困難な場合は、あらかじめ理由を添えて発注者の承認を受けること。（理由については、三原市内三原市内に主たを有する業者に発注できない具体的な理由を明記すること。）
・広島県工事中情報共有システムを利用すること。なお、本工事にシステム利用料金を見込む。
・各工程の状況（写真、進捗率等を月2回程度）を工事中情報共有システムの連絡事項にて報告すること。
・書面での提出が必要なもの（建退共の掛金収納書、試験結果、保証書 等）については、PDFを工事中情報共有システムで提出し、別に書面提出ファイルとしてまとめて提出すること。
・工事書類については、工事中情報共有システムの決裁データ等を整理して、CD-R又はDVD-R(２部)にて提出すること。
・製本図面（A3縮小版・二つ折り）として完成図を３部提出すること。
・以下の設計図面は、A2判をA3判に縮小している。（縮小率約70.7%）

家屋事前調査特記仕様書

三原市　都市部　建築課

第１章　　総　則

(趣旨等)

第１条　この仕様書は、三原市建築課が公共事業に係る工事の施行に起因する地盤変動により生じた建物等の損害等に係る事務処理要領(昭和 61 年 4 月 1 日付け建設省経整発第 22 号建設事務次官通達。以下「事務処理要領」という。)第 2 条第 5 号に規定する建物等の配置及び現況に関する事前調査をコンサルタント等へ発注する場合の業務内容その他必要とする事項を定めるものとし、業務の適正な執行を確保するものとする。

(用語の定義)

第２条　この仕様書における用語の定義は、次の各号に定めるとおりとする。

一　「調査区域」とは、工損調査等を行う区域として別途図面等で指示する範囲をいう。

二　「権利者」とは、調査区域内に存する土地、建物等の所有者及び所有者以外の権利を有するものをいう。

三　「指示」とは、発注者の発議により監督員が受注者に対し、工損調査等の遂行に必要な方針、事項等を示し、原則として書面により行うものとする。

四　「協議」とは、監督員と受注者とが相互の立場で工損調査等の内容又は取り扱い等について合議することをいう。

五　「報告」とは、受注者が工損調査等に係る権利者又は関係者の情報及び業務の進捗状況等を必要に応じて、監督員に報告することをいう。

六　「調査」とは、建物等の現況等を把握するための現地踏査、立入調査又は管轄登記所等での調査をいう。

七　「調査書等の作成」とは、外業調査結果を基に行う各種図面の作成、費用負担額算定のための数量等の算出及び各種調査書の作成をいう。

八　「報告」とは、受注者が工損調査等に係る権利者又は関係者等の情報及び業務の進捗状況等を、必要に応じて監督員に報告することをいう。

九　「調査」とは、建物等の現状等を把握するための現地踏査、立入調査又は管轄登記所(調査区域内の土地を管轄する法務局及び地方法務局（支局、出張所を含む）)等での調査をいう。

十　「調査書等の作成」とは、外業調査結果を基に行う各種図面の作成、費用負担額の算定のための数量等の算出及び各種調査書の作成をいう。

(基本的処理方針)

第３条　受注者は、工損調査等を実施する場合において、この仕様書及び事務処理要領に適合したものとなるよう、公正かつ的確に業務を処理しなければならないものとする。

(業務従事者)

第４条　業務従事者は、業務の履行に当たり、この家屋調査等業務の主たる業務に関し、７年以上の実務経験を有する者､若しくはこの用地調査等業務の主たる業務に関する補償業務管理士(一般社団法人日本補償コンサルタント協会の補償業務管理士研修及び検定試験実施規程第 14 条に基づく補償業務管理士登録台帳に登録されている者をいう。）の資格を有する者、又は発注者が別記１によりこれらの者と同等の知識及び能力を有すると認めた者であり､日本語に堪能（日本語通訳が確保できれば可。）でなければならない。

別記１（第４条関係）

（資格要件）

第１ 特記仕様書第４条第１項の「発注者がこれらの者と同等の知識及び能力を有すると認めた者」とは、次の各号のいずれかに該当する者をいう。

⑴ 補償コンサルタント登録規程（昭和 59 年建設省告示第 1341 号）第３条第１号に規定する補償業務の管理をつかさどる専任の者（補償業務管理者）

⑵ 補償業務全般に関する指導監督的実務の経験３年以上を含む 20 年以上の実務の経験を有する者

（資格要件を確認する書類）

第２ 資格要件を確認することができる次の書類を添付するものとする。

資格要件	添付書類
用地調査等の主たる補償業務に関し７年以上の実務経験を有する者	実務経歴書
用地調査等の主たる補償業務に関する補償業務管理士の資格を有する者	資格証の写し（コピー可。原本照合までは求めない。）
補償コンサルタント登録規程第３条第１号に規定する補償業務の管理をつかさどる専任の者（補償業務管理者）	登録にあたり交付される補償コンサルタント登録済みを証する書面の写し（コピー可。）（登録部門に係る補償業務管理者の氏名が記載されたもの）
補償業務全般に関する指導監査的業務実務の経験３年以上を含む 20 年以上の実務の経験を有する者	実務経歴書

注 １ 実務経験の期間の算定は､補償業務に関する委託契約期間のうち直接従事した期間を個別に記載（例：平成 28 年４月 20 日～平成 28 年８月 31 日 ○○事業に係る建物、立木調査及び補償金算定業務）させ、その期間を積み上げて行うものとする。したがって、契約の期間が重複する場合は直接従事した延べ期間をもって実務の経験の期間を算定する。また、当該業務に従事していたことの過去の事業主等の証明は求めず、事業主（受注者）の申告によるものとする。

２　「指導監督的業務」とは、県職員にあっては管理職的職務又はこれに準ずる主査職以上に相当する職務（例：平成６年４月１日～平成 10 年３月 31 日 ○○県○○事務所において用地課長の職務に従事）をいい、国家公務員・民間事業所にあっては、これに相当する職務をいう。

３　「20 年以上の実務の経験」とは、登録部門のいずれを問わず、一般的に補償業務の実務に従事した期間・内容（例：平成 28 年４月１日～平成 29 年３月 31 日○○㈱において公共事業用地の取得に係る補償金算定業務に従事）で足りる。また、当該業務に従事していたことの過去の事業主等の証明は求めず、事業主（受注者）の申告によるものとする。

(施行上の義務及び心得)

第５条　受注者は、工損調査等の実施に当たって、次の各号に定める事項を遵守しなければならない。

一　自ら行わなければならない関係官公署への届出等の手続きは、迅速に処理しなければならない。

二　工損調査等で知り得た権利者側の事情及び成果品の内容は、他に漏らしてはならない。

三　工損調査等は権利者の財産に関するものであり、損害等の有無の立証及び費用負担額算定の基礎となることを理解し、正確かつ良心的に行わなければならない。また、実施に当たっては、権利者に不信の念を抱かせる言動を慎まなければならない。

四　権利者から要望等があった場合には、十分その意向を把握して上で、速やかに、監督員に報告し、指示をうけなければならない。

(現地踏査)

第６条　受注者は、工損調査等の着手に先立ち、調査区域の現地踏査を行い、地域の状況、土地及び建物等の概況を把握するものとする。

(作業計画の策定)

第７条　受注者は、工損調査等を着手するに当たっては、この仕様書並びに現地踏査の結果等を基に作業計画を策定するものとする。

２　受注者は、前項の作業計画が確実に実施できる執行体制を整備するものとする。

(監督員の指示等)

第８条　受注者は、工損調査等の実地に先立ち、主任技術者を立ち会わせたうえ監督員から業務の実地について必要な指示を受けるものとする。

２　受注者は、工損調査等の実地にあたりこの仕様書、特記仕様書又は監督員の指示について疑義があるときは、監督員と協議するものとする。

(支給材料等)

第９条　受注者は、工損調査等実地するに当たり必要な図面その他の資料を支給材料として使用する場合には、発注者から貸与又は交付を受けるものとする。

２　建物登記簿等の閲覧又は謄本の交付を受ける必要があるときは、別途監督員と協議するものとする。

３　支給材料の品名及び数量は特記仕様書によるものとし、支給材料の引渡しは、支給材料引渡通知書(様式第１号)により行うものとする。

４　受注者は、前項の支給材料を受領したときは、支給材料受領書（様式第２号）を監督員提出するものとする。

５　受注者は、工損調査等が完了したときは、ただちに支給材料を返納するとともに支給材料精算書（様式第３号）及び支給材料返納書（様式第４号）を監督員に提出するものとする。

（立ち入り及び立会い）

第10条　受注者は、工損調査等のために権利者が占有する土地、建物等に立ち入ろうとするときは、あらかじめ、当該土地、建物等の権利者の同意を得なければならない。

２　受注者は、前項に規定する同意が得られたものにあっては立入りの日及び時間をあらかじめ、監督員に報告するものとし、同意が得られないものにあってはその理由を付して、速やかに、 監督員に報告し、指示を受けるものとする。

３　受注者は、工損調査等を行うため建物等の立入り調査を行う場合には、権利者の立会いを得なければならない。ただし、立会いを得ることができないときは、あらかじめ、権利者の了解を得ることをもって足りるものとする

（家屋調査員証の携帯）

第11条　受注者は、発注から工損調査等に従事する者の家屋調査員証の交付を受け、業務に従事する者に携帯させるものとする。

２　工損調査等に従事する者は、権利者等から請求があったときは、前項より交付を受けた家屋調査員証を提示しなければならない。

３　受注者は、工損調査等が完了したときは、速やかに、家屋調査員証を発注者に返納しなければならない。

（算定資料）

第12条　受注者は、損害等が生じた建物等の費用負担額等の算定にあたっては、発注者が定める費用負担単価に関する基準資料等に基づき行うものとする。ただし、当該基準資料等に掲載のない費用負担単価等については、監督員と協議のうえ市場調査により求めるものとする。

（監督員への進捗状況の報告）

第13条　受注者は、監督員から工損調査等の進捗状況について調査又は報告を求められたとき

は、これに応じなければならない。
２　受注者は、前項の進捗状況の報告に主任技術者を立ち会わせるものとする。

（成果品の一部提出）
第 14 条　受注者は、工損調査等の実地期間中であっても、監督員が成果品の一部の提出を求めたときは、これに応ずるものとする。
２　受注者は、前項で提出した成果品について監督員が審査を行うときは、主任技術者を立ち会わせるものとする。

（成果品）
第 15 条　受注者は、第 3 章（工損の調査）及び第 4 章（費用負担の説明）において作成した調査書、積算書又は説明記録簿を成果品として提出するものとする。
２　成果品は、次の各号により作成するものとする。
一　工損調査等の区分及び内容ごとに整理し、編集する。
二　表紙には、契約件名、年度（又は履行期限の年月）、発注者及び受注者の名称を記載する。
三　目次及び頁を付す。
四　容易に取り外すことが可能な方法により編綴する。
３　成果品の提出部数、正副各 1 部とする。
４　受注者は、成果品の作成に当たり使用した調査表の原簿を約款第 40 条第 2 項に定めるかし担保の期間保管し、監督員が提出を求めたときは、これらを提出するものとする。

（検　査）
第 16 条　受注者は、検査員が工損調査等の完了検査を行うときは、主任技術者を立ち会わせるものとする。
２　受注者は、検査のために必要な資料の提出その他の処置について、検査員の指示に速やかに従うものとする。

第２章　　工損の調査

第１節　　調　　査

（調　査）
第 17 条　調査は、事務処理要項第 2 条第 5 号の建物等の配置及び現況の調査（以下「事前調査」という。）と同第 4 条の損害等が生じた建物等の調査（以下「事後調査」という。）に区分して行うものとする。この度は，事前調査のみ実施するものとする。

（事前調査における一般的事項）

第 18 条　事前調査の実地にあたっては、調査区域内に存する建物等につき、建物の所有者ごとに次の各号の調査を行うものとする。

一　建物の敷地ごとに建物等（主なる工作物）の敷地内の位置関係

二　建物ごとに実測する間取り平面及び立面

この場合の計測の単位は、用地調査等共通仕様書第 2 章第 2 節「数量等の処理」の各規定を準用する。

三　建物等の所在及び地番並びに所有者の氏名及び住所

現地調査において所有者の氏名及び住所が確認できないときは､必要に応じて登記簿謄本等の閲覧等の方法により調査を行う。

四　その他調査書の作成に必要な事項

（事前調査における損傷調査）

第 19 条　受注者は、前条の一般的事項の調査が完了したときは、当該建物等の既存の損傷箇所の調査を行うものとし、当該調査は、原則として、次の部位別に行うものとする。

一　基　礎

二　軸　部

三　外　壁

四　屋　根

五　外　構

六　沈　下

2　建物の全体又は一部に傾斜又は沈下が発生しているときは、次の調査を行うものとする。

一　傾斜又は沈下の状況を把握するため、原則として、当該建物の四方向を水準測量又は傾斜計等で計測する。この場合において、事後調査の基準点とするため、沈下等のおそれのない堅固な物件を定め併させて計測を行う。

二　コンクリート布基礎等に亀裂が生じているときは、建物の外周について、発生箇所及び状況（最大幅、長さ）を計測する。

三　基礎のモルタル塗り部分に剥離又は浮き上がりが生じているときは、発生箇所及び状況（大きさ）を計測する。

四　計測の単位は、幅についてはミリメートル、長さについてはセンチメートルとする。

3　軸部（柱及び敷居）に傾斜が発生しているときは次の調査を行うものとする。

一　原則として、可視部分すべての傾斜の程度を傾斜計で測定する。ただし，困難な場合は当該建物の工事箇所に最も接近する壁面の両端の柱及び建物中央部の柱を全体で 3 箇所以上を計測する。

二　柱の傾斜の計測位置は直交する二方向床（敷居）から 1 メートルの高さの点とする。

三　敷居の傾斜の計測位置は、柱から１メートル離れた点とする。

四　計測の単位は、ミリメートルとする。

4　閉口部（建具等）に建付不良が発生しているときは、次の調査を行うものとする。

一　原則として、当該建物で建付不良となっている数量調査を行った後、主たる居室のうちから一室につき１箇所程度とし、全体で５箇所程度を計測する。

二　測定箇所は、柱又は窓枠と建付との隙間との最大値の点とする。

三　建具の開閉が滑らかに行えないもの、又は開閉不能及び施錠不良が生じているものは、その程度と数量を調査する。

四　計測の単位は、ミリメートルとする。

5　外壁に亀裂等が発生しているときは、次の調査を行うものとする。

一　四方向の立面に生じている亀裂等の数量、形状等をスケッチするとともに、一方向の最大の亀裂から２箇所程度を計測する。

二　計測の単位は、幅についてはミリメートルとし、長さについてはセンチメートルとする。

6　屋根（庇、雨樋を含む。）に亀裂又は破損等が発生しているときは、当該建物お屋根伏図を作成し、次の調査を行うものとする。

一　仕上げ材ごとに、その損傷の程度を計測する。

二　計測の単位は、原則として、センチメートルとする。ただし、亀裂等の幅についてはミリメートルとする。

7　外部に設置している水廻り（浴槽、台所、洗面所等）亀裂、破損、漏水等が発生しているときは、次の調査を行うものとする。

一　浴槽、台所、洗面所等の床、腰、壁面のタイル張りに亀裂、剥離、目次切れ等が生じているときは、すべての損傷を第８項に準じて行う。

二　給水、排水等の配管に緩み、漏水等が生じているときは、その状況等を調査する。

8　外構（テラス、コンクリート叩、ベランダ、犬走り、池、浄化槽、門柱、堀、擁壁等の屋外工作物）に損傷が生じているときは、前 11 項に準じて、その状況等の調査を行うものとする。

この場合において，必要に応じ、当該工作物の平面図、立体図を作成し、損傷箇所、状況等を記載する。

（写真撮影）

第 20 条　前条に揚げる建物等の各部位の調査に当たっては、計測箇所を次の各号より写真撮影するものとする。この場合において、写真撮影が困難な箇所又はスケッチによることが適当と認められる箇所については、スケッチによることができるものとする。

一　カラーフィルム又は修正，書き込み，削除等の防止措置がされた SD カード（デジタルカメラ対応改ざん防止メディアを使用する場合に限る。）を使用する。

二　撮影対象箇所を指示棒等により指示し、次の事項を明治した黒板等と同時に撮影する。

(1)　調査番号、建物番号及び建物所有者の氏名

(2)　損傷名及び損傷の程度（計測）

(3)　撮影年月日、撮影番号及び撮影対象箇所

第２節　　調査書等の作成

（事前調査書等の作成）

第 22 条　受注者は、事前調査を行ったときは、次の各号の事前調査書及び図面を作成するものとする。

一　調査区域位置図

二　調査区域平面図

三　建物等調査一覧表（様式第 5 号）

四　建物等調査表（平面図・立面図等）　（様式第 6 号）

五　損傷調査書

六　写真集　（様式第 8 号）

（事前調査書及び図面）

第 23 条　受注者は、前条の事前調査書及び図面を次の各号により作成するものとする。

一　調査区域位置図は、工事の工区単位ごとに作成するものとし、調査区域と工事箇所を併せて表示する。この場合の縮尺は、5,000 分の 1 又は 10,000 分の 1 程度とする。

二　調査区域平面図は、調査区域内の建物の配置を示す平面図で工事の工区単位又は調査単位ごとに次により作成する。

(1)　調査を実施した建物については、建物等調査一覧表で付した調査番号及び建物番号を記載し、建物の構造別に色分けし、建物の外枠（外壁）を着色する。この場合の構造別色分けは、木造を赤色、非木造を緑色とする。

三　建物等調査一覧表は、工事の工区単位又は調査単位ごとに調査を実施した建物について調査番号、建物番号、（同一所有者が 2 棟以上の建物等を所有している場合）の順に建物等の所在及び地番、所有者並びに建物等の概要等必要な事項を記入する。

四　建物等調査図（平面図、立面図）は、第 18 条及び第 19 条の事前調査の結果を基に建物等ごとに次により作成するものとする。

(1)　建物平面図は、縮尺 100 分の 1 で作成し、写真撮影を行った位置を表示するとともに建物延べ面積、各階別面積及びこれらの計算式を記入する。

(2)　建物立面図は、100 分の 1 により、原則として、四面（東西南北）作成し、外壁の亀裂等の損傷位置を記入する。

(3) その他の調査図（基礎伏図、屋根伏図及び展開図）は発生している損傷を表示する必要がある場合に作成し、縮尺は 100 分の 1 又は 10 分の 1 程度とする。この場合において

写真撮影が困難であり、又は詳細（スケッチ）図を作成することが適当であると認めたものについては、スケッチによる調査図を作成する。

（4）工作物の調査図は、損傷の状況及び程度により建物に準じて作成する。

五　損傷調査書は、第 18 条及び第 19 条の事前調査の結果に基づき、建物ごとに建物等の所有者名、建物の概要、名称（室名）、損傷の状況を記載して作成し、損傷の状況については、事前調査欄に損傷名（亀裂、沈下、傾斜等）及び程度（幅、長さ及び箇所数）を記載する。

六　写真は、撮影したものをカラーサービス判で焼付し、様式第 4 号に所定の記載を行ったうえでファイルする。

七　修正，書き込み，削除等の防止措置がされた SD カード（デジタルカメラ対応改ざん防止メディアを使用する場合に限る。）を使用した場合は，記録した SD カードも併せて提出する。

第３章　　履　行　期　間

（履行期間）

第 24 条　業務期間　契約締結日の翌日から令和 8 年 2 月 26 日までとする。

様式第１号

支給材料引渡通知書

年　　月　　日

受注者　　住所

氏名　　様

住所

氏名　　㊞

下記のとおり支給材料を引き渡します。

業務名			契約年月日	年　月　日
品　目	規　格	単　位	数　量	備　考

注１　支給材料の交付又は貸与の区分を備考欄に記入する。

２　用紙の大きさは，日本工業規格Ａ列４版縦とする。

様式第２号

支給材料受領書

年　　月　　日

様

受注者　住所

氏名　　㊞

下記の通り支給材料を受領しました。

業務名			契約年月日	年　月　日
品　目	規　格	単　位	数　量	備　考

注１　支給材料の交付又は貸与の区分を備考欄に記入する。

２　用紙の大きさは，日本工業規格Ａ列４版縦とする。

様式第３号

支給材料精算書

年　　月　　日

様

受注者　住所

氏名　　㊞

下記の通り支給材料を清算します。

業務名			契約年月日			年 月 日
品 目	規 格	単 位	数 量			備 考

注１　用紙の大きさは，日本工業規格Ａ列４版縦とする。

様式第４号

支給材料返納書

年　　月　　日

様

受注者　住所

氏名　　㊞

下記の通り支給材料を返納します。

業務名			契約年月日	年　月　日
品　目	規　格	単　位	数　量	備　考

注１　支給材料の交付又は貸与の区分を備考欄に記入する。

２　用紙の大きさは，日本工業規格Ａ列４版縦とする。

様式第５号

建物等調査一覧表

工　区		工　期		事前調査	調査年月日	年　月　日	担当者		工事担当		事後調査	調査年月日	年月日	担当者	
工事名		受注者			受注者	印						受注者	印		

調査番号	建物番号	建物等所在地 建物等所有者	建物等の概要	用途	経過年数	延べ面積	事前調査		申出年月日 調査年月日	申出に対する調査結果	応急復旧の有無	事後調査		費用負担の要否	備考
							損傷の有無	損傷の概要				損傷の有無	損傷の概要		

注　　余白の大きさは、日本工業規格Ａ版４横とする。

様式第６号

建物等調査表（平面図、立面図等）

調査番号		建物番号	
所有者			
工種	建物の概要		
	事前調査	事後調査	
基礎			
屋根			
外壁			
内壁			
天井			
床			
経過年数			
用途			

事前調査	調査年月日	年　月　日
	受注者	
事後調査	調査年月日	年　月　日
	受注者	

注　用紙の大きさは、原則として日本工業規格Ａ列３横とする。

様式第７号

損　傷　調　査　書

<table>
<tr><td>調査番号</td><td></td><td>建物
番号</td><td></td><td>建物等
所在地</td><td colspan="2"></td><td rowspan="2">事
前
調
査</td><td>調査
年月
日</td><td>年　月　日</td><td>確認
年月
日</td><td>年　月　日</td></tr>
<tr><td rowspan="2">所 有 者
住　　所</td><td rowspan="2"></td><td rowspan="2">氏
名</td><td rowspan="2"></td><td rowspan="2">占有者氏名</td><td rowspan="2" colspan="2"></td><td>受注
者</td><td></td><td>所有
者</td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="2">事
後
調
査</td><td>調査
年月
日</td><td>年　月　日</td><td>確認
年月
日</td><td>年　月　日</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>受注
者</td><td></td><td>所有
者</td><td></td></tr>
</table>

名　称 （室　名）	事 前 調 査				事 後 調 査		
	各部仕上材	写真番号	損傷の状況	備考	写真番号	損傷の状況	備考

注　用紙の大きさは、日本工業規格Ａ列４横とする。

様式第８号

（写真貼付）

撮影番号	撮影対象箇所及び損傷名

撮影番号	撮影対象箇所及び損傷名

撮影番号	撮影対象箇所及び損傷名

注　撮影番号の記入は、事前調査の場合は上段、事後調査の場合は、下段とする。

図面番号	図面名称	図面番号	図面名称	図面番号	図面名称	図面番号	図面名称	図面番号	図面名称
A-000	表紙・図面リスト	S-001	基礎伏図・柱、基礎断面配筋図	K-001	仮設計画図	E-001	電気設備　配置図(撤去)	M-001	衛生設備　配置図(撤去)
A-001	解体工事特記仕様書（１）	S-002	床、梁伏図・梁配筋リスト			E-002	電気設備　各戸平面図(撤去)	M-002	衛生設備　各戸平面図(撤去)
A-002	解体工事特記仕様書（２）	S-003	ラーメン配筋図					M-003	衛生設備　浄化槽図(撤去)
A-003	付近見取図・全体配置図	S-004	床配筋表・床配筋図	G-001	外構撤去図－１（工作物）			M-004	ガス設備　配置図(撤去)
A-004	仕様書・外部、内部仕上表			G-002	外構撤去図－２（雨水排水）			M-005	ガス設備　各戸平面図(撤去)
A-005	平面図･建具配置図・断面図			G-003	外構撤去図－（路盤）				
A-006	立面図			G-004	樹木撤去図				
A-007	矩計図			G-005	外構撤去詳細図（１）				
A-008	断面詳細図			G-006	外構撤去詳細図（２）				
A-009	部分詳細図			G-007	外構撤去詳細図（３）				
A-010	１階平面詳細図								
A-011	２階平面詳細図								
A-012	展開図								
A-013	床伏図・天井伏図								
A-014	建具表								
A-015	浄化槽詳細図（１）								
A-016	浄化槽詳細図（２）								

変更日・・・・変更事項(△変更マーク　　月　/　日)

1 ／

2 ／

3 ／

NOTE

凡例

SAKURA ArchitectsCo.,ltd.

さくら建築設計株式会社

広島市東区牛田早稲田1-22-13
一級建築士事務所登録 21（1）第0232号
一級建築士登録 第188696号　正木　繁康

Checked
一級建築士登録
第243707号
氏名　中畠義行

Drawn

市営宮浦住宅解体工事	設計図	DATE	2022/3/31
	SCALE	JOB	20080
図面リスト	－	No.	

図画：Ａ２（縮尺：Ａ１→141%、Ａ３→71%）

Ⅰ　工事概要

1　工事名称　　元宮浦住宅解体工事
2　工事場所　　三原市宮浦5丁目
3　構造・規模　　鉄筋コンクリート造　2階建
4　工事種目　　建物解体･撤去工事一式（内訳は別図による）

5　別途工事

6　公衆災害防止措置
ア　工事に際し，工事関係者以外の第三者の生命，身体及び財産の危害，並びに迷惑を防止するために必要な措置をとること。
イ　上記について，「建設工事公衆災害防止要綱（平成５年１月１２日付　建設事務次官通達）」に基づき実施すること。

7　現状復旧
工事に際し，隣接建物等に損傷を与えた場合は，速やかに現状復旧を行うこと。

8　その他
(1)この工事の施工に際し，やむを得ず工事の一部（主体的部分を除く）を第三者に請け負わせようとする場合は，原則として三原市内に主たる営業所・本店を有する業者に発注するものとする。
(2)解体仕様書で「特記がなければ，」以下に具体的な材料・品質性能・工法検査方法等を明示している場合において，それらが，関係法令等（条例含む）に抵触する場合には，関係法令等の遵守（1.1.13）を優先する。
(3)本工事の場合には工事中下記に示す調査を行うため，建築課より連絡があれば対応すること。
・ 公共事業労務費調査……工事中に実施（調査票等の記入提出，発注者の調査実施への協力等）

Ⅱ　解体工事仕様

1　共通仕様
（１）図面及び本特記仕様書に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部制定の「建築物解体工事共通仕様書　令和４年版」（以下、「解体共通仕様書」という。）による。
解体共通仕様書に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部制定の「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）令和４年版（以下、「標準仕様書」という。）及び「公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）令和４年版（以下、「改修標準仕様書」という。）による。

2．特記仕様
（１）項目は ⊙ 印のついたものを適用する。
（２）特記事項は ⊙ 印のついたものを適用する。
⊙ 印のつかない場合は、※印のついたものを適用する。
⊙ 印と ※ 印のついた場合は共に適用する。
（３）特記事項に記載の［　　］内表示番号は、解体共通仕様書の当該項目を示す。
（４）特記事項に記載の（　　）内表示番号は、改修標準仕様書の当該項目を示す。
（５）特記事項に記載の〈　　〉内表示番号は、標準仕様書の当該項目を示す。

		項目	特記事項

1　一般共通事項

① 適用基準等
※建設工事公衆災害防止対策要綱
※建設副産物適正処理実施要領（広島県土木局制定）
※建築工事安全施工技術指針
※再生資源利用促進実施要領（広島県土木局制定）
図面，本特記仕様書，標準仕様書及び改修標準仕様書に記載のない事項は次の基準による。
・公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）令和４年版
国土交通省大臣官房官庁営繕部

② 設計図書の優先順位
(1)現場説明に対する質問回答書　(2)現場説明書　(3)特記仕様書
(4)図面　(5) 共通仕様書

③ 官公署その他への届出手続等　［１．１．３］
工事の着手，施工，完成に当たり，関係機関への必要な手続等を遅滞なく行うこと。
また，これらの手続等を行うに当っては，届出内容についてあらかじめ監督職員に報告すること。別契約の工事に施工上密接に関連するため，監督職員の調整に協力すると共に，
なお，手続き等に要する費用は受注者の負担とする。

④ 別契約の関連工事　［１．１．７］
工程計画及び工事用車両の出入り等について当該工事関係者と十分調整し，工事の円滑な施工に努めること。

⑤ 表示板の設置
現場の見えやすい位置に，監督職員が指示する次の表示板及び建設業法その他法令等に定める表示板を掲げること。　※工事概要等の表示板（900㎜×600㎜）

⑥ 工事実績情報の登録　［１．１．４］
受注者は，受注時又は変更時において請負金額が５００万円以上の工事について，工事実績情報サービス（CORINS）に基づき，受注，変更，竣工，訂正時に工事実績情報として「工事実績データ」を作成し，監督職員の確認を受けた後に登録機関に登録申請し，登録機関発行の「登録内容確認書」を監督職員に提出しなければならない。また，途中変更時の登録が必要な場合とは，工期の変更，技術者の変更があった場合とする。

⑦ 発生材の処理等　［1.3.10］［４．１．３～４．５．１］
・引渡しを要するもの（・PCBを含む機器類，PCB含有ｼｰﾘﾝｸﾞ材，　　　）
・次の建設廃棄物は上記によるものを除き再資源化する
(1) 建設リサイクル法による特定建設資材廃棄物及び建設発生土
（・建設発生土　・コンクリート塊　・アスファルトコンクリート塊　・建設発生木材）
(2) 金属類
(3) 小型二次電池
・その他建設廃棄物の再資源化
※無し　・有り（・蛍光ランプ,HDランプ　・硬質塩化ビニル管,継手）
・指定建設資材廃棄物（木材が廃棄物となったもの）の縮減　※無し　・有り
・再資源化された建設廃棄物の現場での利用
※無し　・有り（　　　　　）
・産業廃棄物広域認定制度の適用　※無し　・有り（　　　　　）
・処理に注意を要する建設廃棄物
※無し　・有り（・CCA処理木材　・ひ素，ｶﾄﾞﾐｳﾑ含有石膏ﾎﾞｰﾄﾞ）
(1)本工事で発生した建設廃棄物は，広島県（環境県民局）及び保健所設置政令市（広島市，呉市，福山市）が，廃棄物処理法に基づき許可した適正な施設（許可対象とならない中間処理施設にあっては，廃棄物処理法に定められた基準に従った適正な施設）で処理すること。ただし,建設廃棄物が,破砕等（選別を含む)により,有用物となった場合,その用途に応じて適切に処理するものとする。(原則，県内処分)
(2)本工事における再資源化に要する費用（運搬費を含む処分費）は，前記(4)に掲げる施設のうち受入条件が合うものの中から，運搬費と受入費（平日の受入費用）の合計が最も経済的になるものを見込んでいる。従って，正当な理由がある場合を除き再資源化に要する費用（単価）は変更しない。
(3)本工事で発生する建設廃棄物のうち，広島県内の最終処分場に搬入する建設廃棄物については，広島　県産業廃棄物埋立税が課税されるので，適正に処理すること。
なお，本工事では，広島県産業廃棄物埋立税相当額を見込んでいる。

⑧ 工事工程表　［１．２．１］
検査期間としての１３日間を含んだ工程とし，工事全体を把握して作成し，監督職員の承諾を受ける。

⑨ 施工計画書　［１．２．２］
建設工事公衆災害防止対策要綱及び建築工事安全施工技術指針を参考に，建設副産物適正処理実施要領に基づき事前調査のうえ，事故防止及び環境保全に十分配慮した解体工法並びに建設廃棄物の処理等について具体的に定めた施工計画書を作成し，あらかじめ監督職員に提出し承諾を得ること。
（仮設計画，安全･環境対策，工程計画，解体計画，発生材の処分計画）

⑩ 施工条件　［１．３．５］
(1)作業時間は，原則午前８時半から午後５時までとし，通学時間帯を考慮すること。
なお，時間変更する必要がある場合は監督職員の承諾を受けること
(2)日曜日及び祝日に作業を行わないこと。ただし，あらかじめ監督職員の承諾を受けた場合は，この限りではない。
(3)その他図示による

⑪ 安全確保　［１．３．６～１．３．８］
(1)受注者は，現場代理人を工事現場に常駐させ，工事現場内外及び下請け業者の管理を十分に行い，　周囲の建物，通行者等に損傷を与えないように注意して，工事施工をすること。なお，万一損傷が生　じた場合は，受注者の責任において処理すること。
(2)工事中は、騒音、振動の発生、粉塵の飛散（散水）、道路の汚染等の防止に努めること。
低騒音型・低振動型建設機械の使用（近接住民の生活環境の保全の必要性がある場合）
(3)歩行者等の通行に支障を生じないよう誘導員を配置し適切な処置を講じること。
特に道路幅の狭い箇所及び児童の通学路と重複する箇所には、誘導員を配置する等の措置を講じること。^m
(4)ダンプトラック等による過積載の防止を図ること。
(5)作業現場には，労働安全衛生法に基づく作業主任者等を置き，作業の安全管理に努めること。
①つり足場（ゴンドラのつり足場を除く），張出し足場又は高さ５ｍ以上の構造の足場の組立て，解体　を行う場合，コンクリート造又は鉄骨造の工作物（その高さが５ｍ以上のもの）の解体作業を行う場　合は，労働安全衛生法第１４条に基づく技能講習を終了したものとする。
②木造建築物の解体作業を行う場合は，平成３年１月２１日付け基発第３９号「安全衛生教育の推進に　ついて」及び平成元年９月５日付け基発第４８５号「木造建築物の解体工事の作業指揮者に対する安　全教育について」に基づく安全教育を終了した者とする。

⑫ 工事の記録　［１．２．３］
下記のものを監督職員に提出する。工事中写真及び完成写真の撮影は国土交通省大臣官房官庁営繕部制定の「営繕工事写真撮影要領」によるものとする。
(1)工程写真
工事の進捗に伴い工事全体状況及び主要工程の写真（カラー・サービス版）を期間別工事工程報告書に添付するものとする。
(2)工事中写真
全般的な解体工事の状況，建設副産物処理及び事前措置，解体手順の各段階における施工が完了した写真，水中又は地下に埋設される部分,分別解体を行っていることが確認できる状況写真，その他工事終了後では確認できない事項，その他監督職員が指示する箇所は，A4版写真台紙にまとめて完成検査日までに提出するものとする。
なお，基礎や地下構造物等の撤去については，撤去物の全般に亘り，その位置・深さが明確に分かり撤去前と撤去後の状況が確認できる写真とすること。
【提出部数】：１部
(3)完成写真
着工前及び完了時の状況を同一方向から撮影したものを提出すること。
（撮影箇所）　監督職員が指示する箇所
（写真規格）　・カラーサービス版　・カラーキャビネ版　・
（規格・提出部数）　・A4版クリアファイル　部　・A4版写真台紙　部　・アルバム　部
(4)その他の写真
隣接建物等に損傷の恐れがある場合は,施工前,施工後の写真を監督職員の指示により提出すること。
(5)保管
工事写真のネガ・データは工事完成後，受注者において２年間保管すること。

13 電気保安技術者等　［１．３．３～１．３．４］
工事用電力設備の保安責任者として関係法令等に基づく有資格者を定め，監督職員に報告する
・電気保安技術者　※適用しない　・適用する

⑭ 近隣との折衝　［１．３．６］
工事施工に当っての近隣との折衝は次による。また，経過について記録し，遅滞なく監督職員に報告する。
（1）地域住民等と工事の施工上必要な折衝をおこなうものとし，あらかじめその概要を報告する。
（2）工事に関して，第三者から説明の要求又は苦情があった場合は，直ちに誠意をもって対応する。

⑮ 施工の検査　［１．５．４］
監督職員による随時の立入り検査を行う。
検査に必要な資機材、労務等を提供すること。

⑯ 中間技術検査　［１．６．２］
※行わない
⊙行う（回数及び時期については監督職員の指示による。）

⑰ 工程報告
別紙様式による期間別工事工程報告書を毎月２回１部提出すること。

⑱ 埋設物等の報告
工事の施工に当たり，図面にない地下構造物，埋設配管等を発見した場合は，直ちにその状況を監督職員に報告すること。

19 地下埋設物調査
・行わない
・行う　図示する範囲内において，整地前に敷地境界から２ｍの距離を置き，幅１ｍ，深さ1.5ｍで，３ｍ間隔で掘削調査を行う。

⑳ 契約不適合調査
竣工後，発注者から契約不適合調査（建設工事請負契約約款第46条の５に定める期間内）の連絡があった場合には，調査に協力すること。

㉑ 家電リサイクル法対象機器の処分
特定家庭用機器再商品化法（平成10年6月5日法律第97号）に指定する機械機器を処分する場合は，同法に基づき処理を行うこと。また，工事完了後に管理票の写しを提出すること。

㉒ 完成時の提出図書　〈1.8.1～3〉
・竣工図：１部（Ａ３版：５部，ＣＤ－Ｒ：１部）
・完成図書　１部
竣工図は残置及び設置工作物等，工事完了時に敷地内に存する物（埋設物も含む）の種類，位置及び供給管の切断箇所等の今後当該敷地を管理していく上で必要な事項を明記した配置図を作成し，提出すること。

㉓ 試掘
地中に解体撤去すべき工作物等がないことを確認するため，次の時期及び方法により試掘を行う。
試掘時期
※完成検査時　・（　　　　）
試掘方法
※機械掘削　・人力掘削
なお，試掘は建築物１棟ごとに１箇所以上，外構（排水施設，舗装等）で１箇所以上行い，試掘する箇所については，検査員の指示による。

24 電子納品
※電子納品対象工事とする
電子納品とは，「調査，設計，工事などの各業務段階の最終結果を電子データで納品すること」をいう。ここでいう電子データとは，「営繕工事電子納品要領（以下，要領という）」に基づいて作成されたものを指す。
成果品については，「要領」に基づいて作成した電子成果品を電子媒体で提出する。「要領」で特に記載がない項目については，原則として電子データを提出する義務はないが,「要領」の解釈に疑義がある場合は監督職員と協議の上，電子化の是非を決定する。
また，成果品提出の際には，ウイルス対策を実施したうえで提出すること。

㉕ 工事中情報共有システム
（１）本工事は，受発注者間の情報を電子的に交換・共有することにより，業務の効率化を図る情報共有システムの対象である。なお，運用にあたっては「広島県工事中情報共有システム運用ガイドライン」に基づき実施すること。
（２）本工事で使用する情報共有システムは次とする。
広島県工事中情報共有システム
(http://chotatsu.pref.hiroshima.lg.jp/asp/index.html)
（３）監督職員及び受注者が使用する情報共有システムのサービス提供者（以下「サービス提供者」という）との契約は，受注者が行い，利用料を支払うものとする。
（４）受注者は，監督職員又はサービス提供者から技術上の問題点の把握，利用にあたっての評価を行うためのアンケート等が求められた場合，協力しなければならない。

2　仮設工事

① 騒音・粉じん等の対策　［２．２．１］
騒音・粉じん等の対策　・防音パネル　※ 防音シート　・養生シート等
防音パネル、防音シート、養生シート等を取り付ける足場の設置範囲
※ 工事に必要な範囲

② 足場等［２．２．２］
「手すり先行工法に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、同ガイドラインの別紙１「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における2の(2)手すり据置き方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行う。
・騒音・振動計を設置すること（設置個所は図示による）

3 監督職員事務所等　［２．３．１］
※ 設けない
・ 既存建物内の一部を使用する（場所　　　　　）
・ 設ける
現場に設置する備品等は、現場説明書の施工条件明示による

④ 山留めの撤去　［２．４．３］
鋼矢板等の抜き跡の処理
※ 直ちに砂で充填する

⑤ 工事用水
構内既存の施設　・ 利用できる（ ※ 有償　・ 無償）　※ 利用できない

⑥ 工事用電力
構内既存の施設　・ 利用できる（ ※ 有償　・ 無償）　※ 利用できない

⑦ 交通誘導員
※配置する　・配置しない
配置計画
※大型車両進入時　１人／日
※常時配置　１人／日
・（　　　　　）作業期間　（　）人／日

3　解体施工

① 事前措置　［３．２．１］
９章 機械設備による。それ以外は下記による
(1) 給水管，ガス管，電気ケーブル，下水道等の供給管等の切断及び桝，配管等の撤去は本工事に含む。
① 配管等の切断及び汚水管，排水管等の末端処理については，供給者と事前に協議すること。
② 水道，ガス，下水等の切断位置等は木杭等で明示する。また，記録を残し監督職員に提出する。
③ 配管等の切断位置や，切り回し必要箇所等は図示による。
(2) 落下するおそれのある付属物は撤去すること。
(3) 解体に際して周辺環境に害虫等による影響が予想される場合は駆除等を行う。
(4) 電気設備のコンデンサ等は残留電荷の確認を行い，必要に応じて放電する。
(5) 衛生器具等は，十分に洗浄を行い，汚水，汚物等による異臭の発生を防止する。
(6) 浄化槽，排水槽等の解体に係る汚水及び汚物等の残留物は，施設管理者が回収，洗浄等を行うため，時期等について協議すること

② 基礎等　［３．９．１］
基礎の解体撤去は、騒音・振動等に配慮して分別解体し，砂利地業・割り石まで行なうこと。

③ 杭の解体　［３．９．２］
※解体する（・引き抜き工法　・破砕工法　・　　　　）
・残置する
① 杭を残置する場合は，杭の種別・杭径，杭の位置，杭頂部高さ，深さ等の記録を実測して整備し，写真と共に監督職員に提出する。
② 残置杭の中，杭の破砕跡は，現場発生の良質土で埋め戻すこと。
③ 残置する杭頭は，キャップ等で被いコンクリートを打設すること。

④ さく、照明設備等の附属物　［３．１０．１］
附属物の解体 ⊙ 行う　・ 行わない

⑤ 構内舗装、樹木等　［３．１１．１］
舗装の路盤の解体　⊙ 行う　・ 行わない
樹木の伐採伐根及び移植 ⊙ 行う　・ 行わない

⑥ 地下埋設物及び埋設配管　［３．１２．１］
地下埋設物及び埋設配管の撤去 ⊙ 行う　・ 行わない
設計図書に記載されていない地下埋設物の存在を確認した場合は，監督職員に報告し，対応策を協議すること。

⑦ 埋戻し、盛土及び地均し　［３．１３．１］
解体後の埋戻し及び盛土
⊙ 行う
整地高さ　・ 現状ＧＬ　・ 図示
埋戻し及び盛土の材料
・ 山砂の類　・ 他現場の建設発生土の中の良質土
・ 再生コンクリート砂　・ 現場発生の良質土
・ 行わない
土砂流出の恐れがある部分は，土のう等で処置すること。

⑧ 解体後の囲障
⊙設置する　・設置しない　・工事中の仮囲いを存置
囲障を設置する場合の仕様等
種別　・木杭+ロープ　・木杭+番線張り　・（　　　　）
高さ　Ｈ＝（　　）
設置範囲　※図示　・敷地境界全域

4　建設廃棄物の処理

１章 一般共通事項 ７ 発生材の処理等 による。
それ以外は下記による。
・

5　特別管理産業廃棄物の処理

1 特別管理産業廃棄物の処理等　［５．４．１］
８章 電気設備、９章 機械設備による。それ以外は下記による
・ ＰＣＢを含む機器類の処理
分析調査　・ 行う　採取場所（　　　　　）
除去範囲　※ 図示
・ ＰＣＢ含有シーリング材の処理
分析調査　・ 行う（分析方法、採取箇所数は、現場説明書の施工条件明示による）
除去範囲　※ 図示
・ 廃油の処理
処分方法　・ 焼却処分　・ 中間処理施設で再生処理
除去範囲　※ 図示
・ 廃酸・廃アルカリの処理
除去範囲　・ 臭化リチウム（直炊吸収冷温水機）
・ 鉛蓄電池及びアルカリ蓄電池の電解液
処分方法　・ 中和処理　・ 焼却処分　・ 中間処理施設で再生処理
・ ダイオキシン類の処理
サンプリング調査　・ 行う
（分析方法、採取箇所数は、現場説明書の施工条件明示による）
除去範囲　※ 図示
解体方法
処分方法

6　石綿含有建材の除去等

① 調査　［６．１．３］
調査
・ 石綿含有建材の事前調査
工事着手に先立ち、あらかじめ関係法令に基づき、石綿含有建材の事前調査を行う。
貸与資料（・　　　　　）

・ 分析による石綿含有建材の調査
分析対象
アクチノライト、アモサイト、アンソフィライト、クリソタイル、クロシドライト、トレモライト
分析方法

材料名	分析方法（定性）JIS A 1481-1	分析方法（定量）JIS A 1481-3
未定	・３箇所	・０箇所

材料が仕上塗材の場合は、層ごとの分析を行うこと
サンプル数　１箇所あたり３サンプル
採取箇所　・ 図示　・

② 石綿粉じん濃度測定　［６．１．４］
・ 測定時期、場所及び測定点

適用	測定名称	測定時期	測定場所	測定点（各施工箇所ごと）
・	測定１	処理作業前	処理作業室内	・ 計　点
・	測定２		調査対象室外部の付近	・ 計　点
・	測定３	処理作業中	処理作業室内	・ 計　点
※	測定４		セキュリティゾーン入口	・ 計　点
※	測定５		集じん・排気装置の排出口（処理作業室外の場合）	の位置　・ 計　点
※	測定６		処理作業室外 ・施工区画周辺　・敷地境界	・ 計 ４ 点
※	測定７	処理作業後（シート養生中）	処理作業室内	・ 計　点
・	測定８	処理作業後	処理作業室内	・ 計　点
・	測定９	（シート撤去後 １週間以降）	調査対象室外部の付近	・ 計　点

測定方法
⊙自動測定器による測定

測定名称	測定方法
・ 測定4　・ 測定5 ・ 測定（　　　）	粉じん相対濃度計(デジタル粉じん計)、パーティクルカウンター、繊維状粒子自動測定器(リアルタイムファイバーモニター)等の粉じんを迅速に測定できる機器を用いた測定

・ JIS K 3850-1に基づいた測定

測定名称	メンブレンフィルタ直径（mm）	試料の吸引流量（l/min）	試料の吸引時間（min）
・ 測定4　・ 測定5　・ 測定（　　）	25	5	30
・ 測定（　　　）	47	10	120
・ 測定（　　　）	47	10	240
・ 測定（　　　）			

③ 石綿含有建材の除去
・ 石綿含有吹付け材の除去　［６．３．２、６．３．３］
除去範囲　※ 図示　・
除去工法　※ 解体共通仕様書6.3.2(1)(ｱ)～(ｴ)による
・
除去した石綿含有吹付け材の飛散防止措置　※ 湿潤化　・ 固形化
除去した石綿含有吹付け材等の処分
・ 埋立処分（管理型最終処分場）　・ 中間処理（溶融施設）

・ 石綿含有保温材等の除去　［６．４．１、６．４．４］
除去範囲　※ 図示　・
除去方法　※ 原形のまま、手ばらし
・ 破壊して除去
除去した石綿含有保温材等の処分
・ 埋立処分（管理型最終処分場）　・ 中間処理（溶融施設又は無害化処理施設）

⊙石綿含有成形板（石綿含有けい酸カルシウム板第1種以外）の除去　［６．５．４］
除去範囲　※ 図示　・
除去した石綿含有成形板の処分
・ 石綿含有せっこうボード
※ 埋立処分（管理型最終処分場）
・ 石綿含有せっこうボードを除く石綿含有成形板
・ 埋立処分（安定型最終処分場）
・ 中間処理（溶融施設又は無害化処理施設）

・ 石綿含有成形板（石綿含有けい酸カルシウム板第1種）の除去
除去範囲　※ 図示　・
養生方法
除去した石綿含けい酸カルシウム板第1種の処分
・ 埋立処分（安定型最終処分場）
・ 中間処理（溶融施設又は無害化処理施設）

・ 石綿含有仕上塗材又は石綿含有成形板（下地調整材）の除去
下記以外は、解体共通仕様書6.1、6.2.1～6.2.4及び6.2.6による
除去工法
※ 石綿障害予防規則（平成十七年二月二十四日厚生労働省令第二十一号）第６条による措置と同等以上の効果を有する措置とされる工法
・ 集じん装置併用手工具ケレン工法
・ 集じん装置付き高圧水洗工法（15ＭＰａ以下、30～50ＭＰａ程度）
・ 集じん装置付き超高圧水洗工法（100ＭＰａ以上）
・ 超音波ケレン工法（ＨＥＰＡフィルター付き掃除機併用）
・ 剥離剤併用手工具ケレン工法
・ 剥離剤併用高圧水洗工法（30～50ＭＰａ程度）
・ 剥離剤併用超高圧水洗工法（100ＭＰａ以上）
・ 剥離剤併用超音波ケレン工法
・ 集じん装置付きディスクグラインダーケレン工法
除去対象範囲　※ 図示
作業場の隔離　※ 行わない　・ 行う
試験施工　※ 行わない　・ 行う
除去した石綿含有仕上塗材の処分
・ 埋立処分（安定型最終処分場）　・ 埋立処分（管理型最終処分場）
・ 中間処理（溶融施設又は無害化処理施設）
除去した石綿含有仕上塗材の保管、運搬及び処分
※ 解体共通仕様書6.3.3による
確認及び後片付け　※ 解体共通仕様書6.3.4の(ｱ)、(ｲ)及び(ｵ)による

変更日・・・・変更事項(△変更マーク　月 ／ 日)	NOTE
△1 ／	凡例
△2 ／	
△3 ／	

さくら建築設計 株式会社
SAKURA ArchitectsCo.,ltd.
広島市東区牛田早稲田1-22-13
一級建築士事務所登録 21（1）第0232号
一級建築士登録 第188696号　正木　繁康
Checked
一級建築士登録
第243707号
氏名　中畠義行
Drawn

市営宮浦住宅解体工事	設計図	DATE	2025/1/31
	SCALE	JOB	20080
解体工事特記仕様書（１）	－	No. A	001

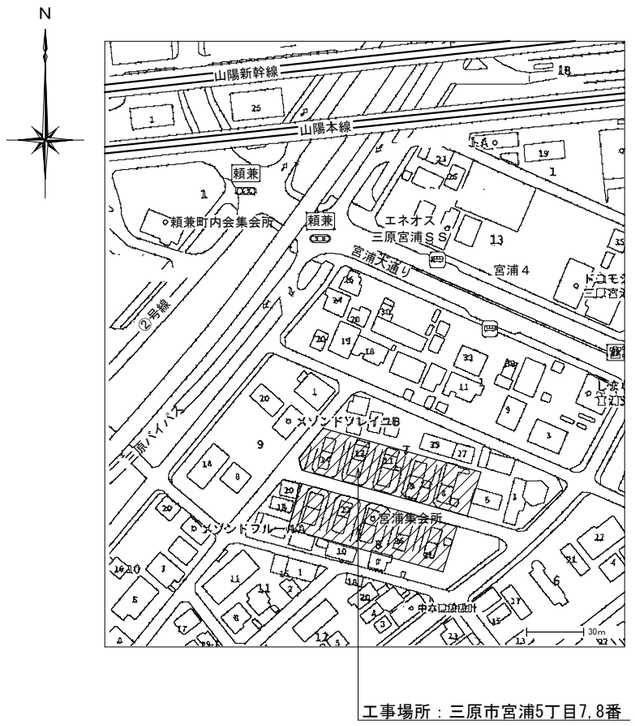
図画：Ａ２（縮尺：Ａ１→141%、Ａ３→71%）

7 特殊な建設副産物の処理	1	調査	調査 ［7．1．3］ 分析による特殊な建設副産物の調査 ・ 行う　採取場所（　　）
	②	特殊な建設副産物の処理等	9章 機械設備による。それ以外は、下記による。 ［7．3．1］ フロン類を使用している設備機器 ・ 冷凍機の冷媒 ・ パッケージ形空気調和機の冷媒 ・ ルームエアコンディショナーの冷媒 「特定家庭用機器再商品化法（家電リサイクル法）」の対象になっているものは、同法に従ってリサイクル（フロン類の回収を含む）を行い、監督職員に次の資料を提出する。 ・ 特定家庭用機器廃棄物管理票（家電リサイクル券）の写し フロン類以外の特殊な建設副産物を使用している設備機器等
8 電気設備	1	発生材の処理等	下記以外は、現場説明書の施工条件明示による 1）引渡しを要するもの　・無　・有 （・ 金属類　・ 盤類　・ 電線、ケーブル　・　　） 2）特別管理産業廃棄物　・無　・有 （・ PCB使用機器　・ 石綿含有設備資機材） PCB使用機器は関係法令等に従い適切に処理する。 撤去予定機器の微量PCB分析結果（・ 無　・ 有） 撤去する変圧器等は製造年、品番等を確認し微量PCB分析の要否を判定する。 撤去する変圧器等の微量PCB分析を行う。 分析費（ ※ 別途　・ 本工事） PCB使用機器搬出処理費（ ※ 別途　・ 本工事） PCB使用機器収納容器　※ 別途　・ 本工事（用途　　） 石綿含有設備資機材は関係法令に従い適切に処理する。 撤去する石綿含有設備資機材は機器の製造年、品番等を確認し石綿含有の有無を判定する。 撤去する石綿含有設備資機材の分析を行う。 分析費（ ※ 別途　・ 本工事） 石綿含有資機材の搬出処理費（ ※ 別途　・ 本工事） 3）再生資源化を図るもの　・無　・有（・ 蛍光管　・ 小形二次電池） 搬出処理費（ ※ 別途　・ 本工事） 4）上記1）～3）に該当しない発生材　・無　・有 搬出処理費（ ※ 別途　・ 本工事）
9 機械設備	1	発生材の処理等	下記以外は、現場説明書の施工条件明示による 1）引渡しを要するもの　・無　・有 （・ 金属類　・ 機器類　・　　） 2）特別管理廃棄物処理　・無　・有 （・ 廃油　・ 石綿含有資機材　・　　） 特別管理廃棄物は関連法令等に従い適切に処理する。 ・ 廃油の処理は図示による。なお、撤去に際しては、火気の使用を禁止する。 廃油搬出処理費（ ※ 別途　・ 本工事） ・ 石綿含有資機材 （・ 配管フランジ接合部及びバルブガスケット　・ ダクトパッキン ・ 煙道用パッキン　・ たわみ継ぎ手　・ 配管保温材　・　　） 上記以外に撤去する機器は製造年、品番等を確認し石綿含有の有無を判定する。 石綿含有資機材の処理は図示による。 石綿含有資機材の搬出処理費（ ※ 別途　・ 本工事） 3）特殊な建設副産物の処理 ・ フロン系冷媒処理 フロン系冷媒は関係法令等に従い適切に処理する。対象機器は図示による。 回収処分費（ ※別途　・ 本工事） ・ 臭化リチウムの処理 臭化リチウム水溶液は関係法令等に従い適切に処理する。 対象機器は図示による。 回収処分費（ ※別途　・ 本工事）
10 その他	1	建設発生土の処理	※ 現場説明書の施工条件明示による ＜3．2．5＞ ・ 構内指示場所に敷き均し ・ 構内指示場所に堆積

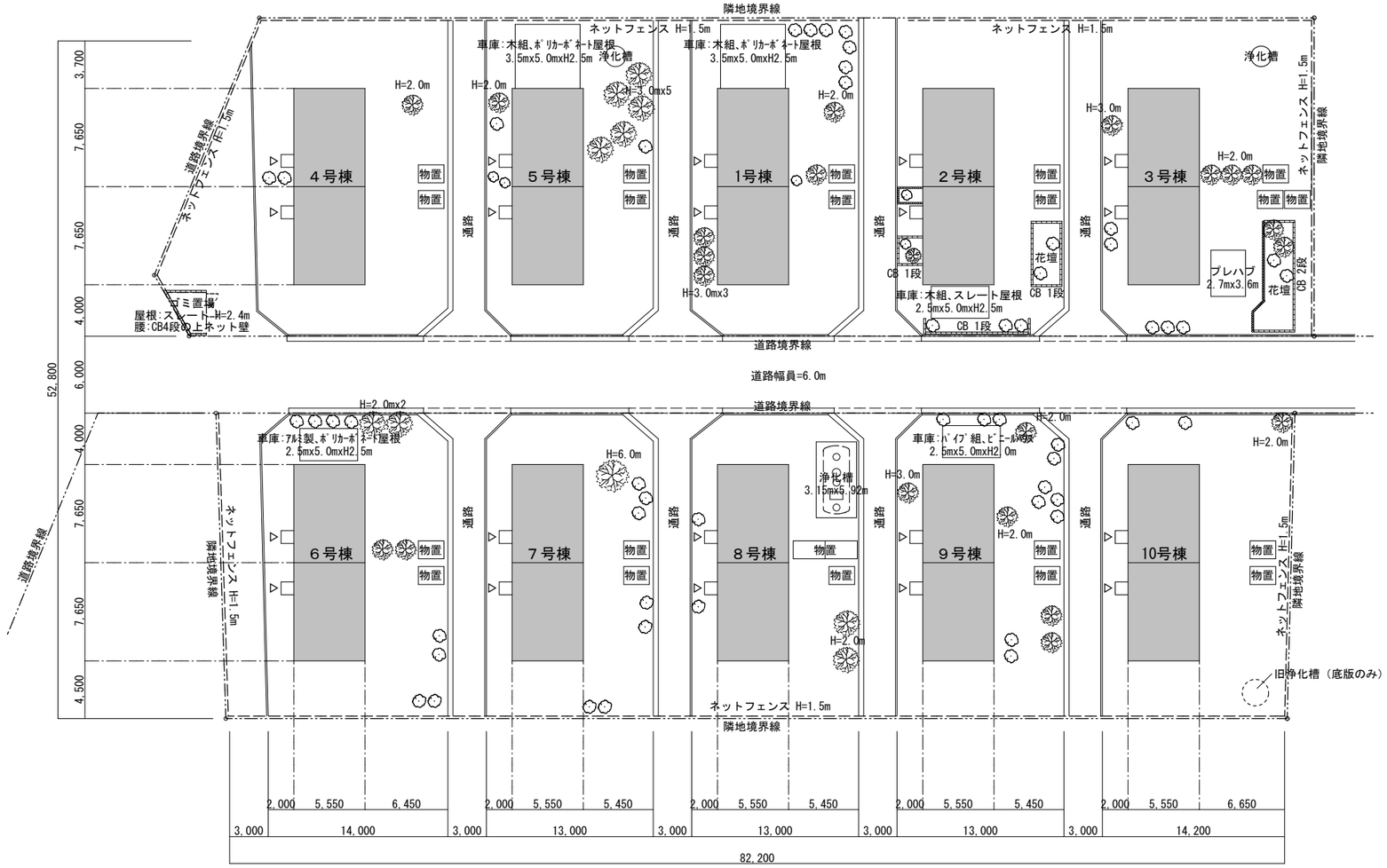
SAKURA ArchitectsCo.,ltd. さくら建築設計 株式会社
広島市東区牛田早稲田1-22-13
一級建築士事務所登録 21（1）第0232号
一級建築士登録 第188696号　正木　繁康
Checked 一級建築士登録 第243707号 氏名　中畠義行
Drawn

市営宮浦住宅解体工事　設計図　DATE 2025/1/31
SCALE　JOB 20080
解体工事特記仕様書（２）　－　No. A 002

図画：Ａ２（縮尺：Ａ１→141%、Ａ３→71%）



付近見取図



全体配置図　S=1/300

変更日・・・・変更事項(△変更マーク　月 / 日)	NOTE	さくら建築設計 株式会社 SAKURA Architects Co.,ltd.	広島市東区牛田早稲田1-22-13 一級建築士事務所登録 21（1）第0232号 一級建築士登録 第188696号　正木　繁康	Checked 一級建築士登録 第243707号 氏名　中畠義行	Drawn	市営宮浦住宅解体工事	設計図 DATE 2022/3/31
1 /	凡例						SCALE 1/300 JOB 20080
2 /						付近見取図・全体配置図	No. A 003
3 /							

図画：Ａ２（縮尺：Ａ１→141%、Ａ３→71%）　印刷日付 %y &m &d

仕　様　書

工事概要

工事名称　宮浦市営住宅建設工事

工事場所　三原市宮浦町427

工　期　本工事は昭和　年　月　日迄に完全に竣工する事

工事種別　A　住宅新築　鉄筋コンクリート造2階建　建築面積（1戸当り）1階42.4575　2階22.4775　計64.935m²　2戸建1棟　1棟　1式

B　附帯工事　電気　給排水　衛生　ガス　設備1式

C　屋外附帯工事　1式　（下記特記による）

仕　様　本工事は日本建築学会建築工事標準仕様書及び以下に掲げる特記仕様（図面中に記載された事項を含む）及び係員の指示により施工する事

但し本設計図書に記載されず又は疑議を生じた事項で係員が技術的に必要と認める事項は請負金額内にて良心的に施工する事

特記仕様

A　一般事項　施工者は定められた時期に下記の報告書及び写真を提出の事　工程表　内訳書　各種試験表　施工図　工事写真（着手前　及び竣工時　及び施工中　係員の指示する個所等）

B　仮設工事　仮囲は係員と協議の上附近に支障なき様　工事用諸設備とともに計画図作成の上係員の承認を受ける事

C　鉄筋コンクリート工事　材料　セメントは普通ポルトランドセメント　鉄筋はSR-24又はSD-30合格品とする

調合　無筋コンクリートはFc=135kg/cm²　其の他はFc=180kg/cm²　スランプは係員と協議の上決定する事

D　コンクリートブロック工事　コンクリートブロックは15型とし　JIS合格品使用の事

E　防水工事　防水層はゴムシート防水の2層とし　2階はモルタル塗の50　屋上は露出とする

F　木工事　構造材は松　造作材は米栂とし　内部は全て壁シャクリ施工の事

G　左官工事　コンクリートパネルによる躯体の場合はボンドセメント等による下地処理を施す事

H　建具工事　アルミ製建具は施工図作成の上係員の承認を受ける事　木製の材料は1-ブル以上とする事

構造概要及び仕上表

外　部　基礎　PCパイル300φ ℓ=13m　鉄筋コンクリート独立基礎　軸組　鉄筋コンクリート2階建　壁体　コンクリートブロック15型 モルタル塗 リシン吹付仕上

屋根　鉄筋コンクリート造 防水モルタル塗 ゴムシート防水　雨樋　塩化ビニール製　窓枠　物干手摺　OP塗

内　部

階	室名	床	巾木	腰	壁	天井	摘要
1階	玄関	モルタル塗　コテ仕上	モルタル塗　コテ仕上	―――	プラスター塗	プラスターボードの9（プリント）	下駄箱
	廊下	合板フロアー	40×20	―――	仝　上	仝　上	
	便所	Pタイル貼り	100×30	―――	仝　上	石綿板の5　VP塗	便器手洗付ロータンク
	台所	合板フロアー	90×30	―――	仝上1部 モルタル塗 EP塗	プラスターボードの9（プリント）	Kナガシ　吊戸棚　ハンガーボード　換気扇
	洗面所	仝　上	100×30	―――	プラスター塗	石綿板の5　VP塗	洗面器　カーテンレール
	浴室	モザイクタイル貼り	―――	タイル貼り	モルタル塗　VP塗	仝　上 Chr、Amoレベル3	浴槽　ボイラー共1式　シャワー
	居間1	タタミ	タタミ寄せ	―――	京壁（センイ壁）	プラスターボードの9（プリント）	床　仏間　押入　換気扇
2階	居間2	タタミ　1部合板フロアー	仝　上	―――	仝　上	仝　上	押入　換気扇
	居間3	仝　上	仝　上	―――	仝　上	仝　上	仝　上
	居間4	仝　上	仝　上	―――	仝　上	仝　上	仝　上
	押入	耐水ベニヤ　の5.5	20×40	―――	プラスター塗	耐水ベニヤ　の4	上部棚　中段付
	階段	木製	仝　上	―――	仝　上	プラスターボードの9（プリント）	パイプ製手摺　OP塗

特　記　附帯工事　棟別標示　戸別番号　棟名札板　テレビアンテナ建台　屋上物干　同囲柵　物置（プレハブ）

案内板（図面及び文字記入）

上記の物は施工前に施工図作成の上係員の承認を受け施工の事

物置　ヨド物置あさくら YM1CA型合格品　屋上物干西側腰壁付（H=900）

□：アスベスト含有部位を示す

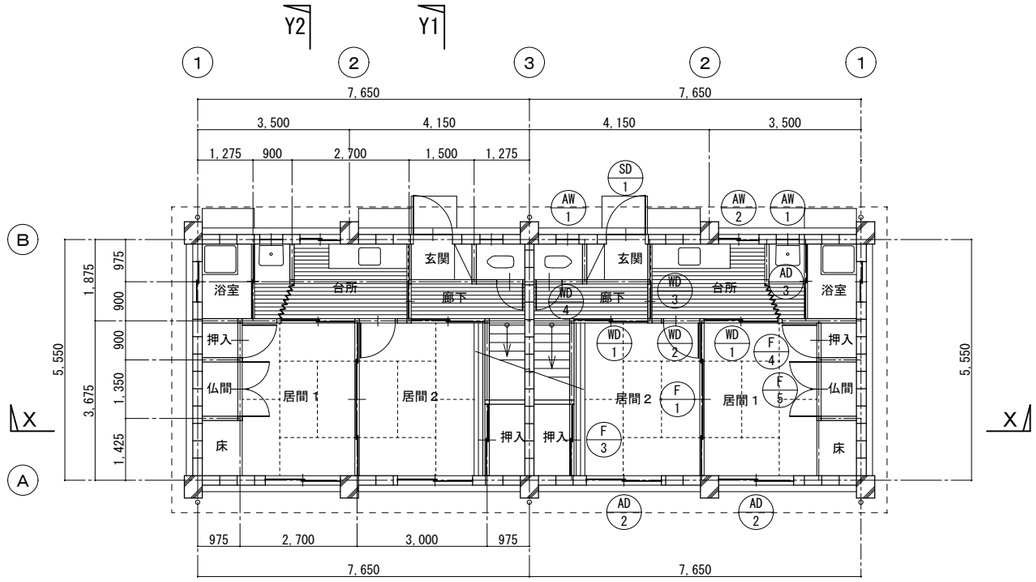
Chr：クリソタイル含有

Amo：アモサイト含有

以　上

変更日・・・・変更事項（△変更マーク　月 / 日）	NOTE			Checked	Drawn			
△1 ／	凡例	さくら建築設計 株式会社 SAKURA Architects Co.,ltd.	広島市東区牛田早稲田1-22-13	一級建築士登録		市営宮浦住宅解体工事	設計図	DATE 2022/3/31
△2 ／			一級建築士事務所登録 21（1）第0232号	第243707号			SCALE	JOB 20080
△3 ／			一級建築士登録 第188696号　正木　繁康	氏名　中畠義行		仕様書・外部、内部仕上表	－	No. A 004

図画：A2（縮尺：A1→141%、A3→71%）　印刷日付 22' 3' 22

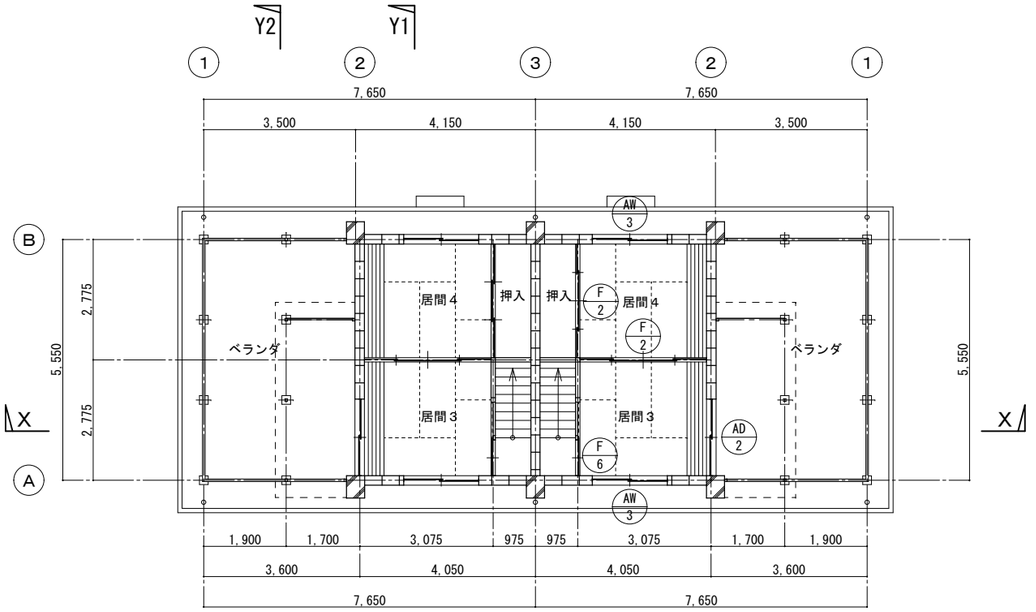


１階平面図　S=1/100

１階建具配置図　S=1/100

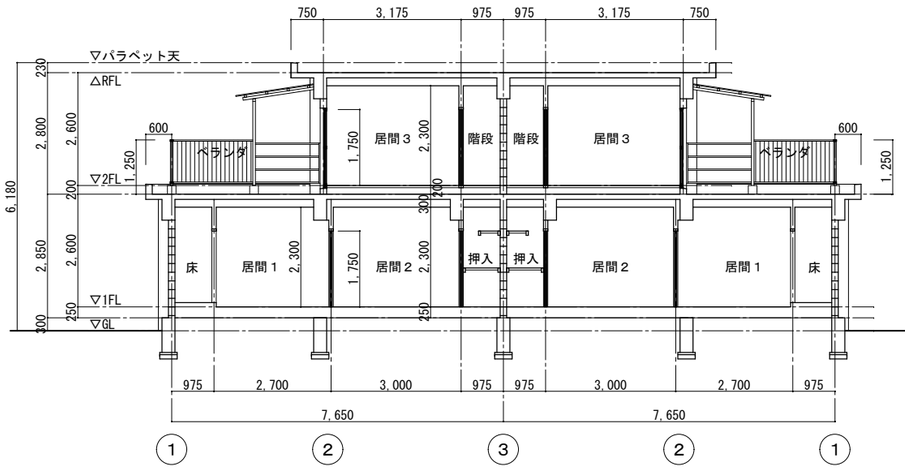
面積表

建築面積	84.92 ㎡
延べ面積	129.87 ㎡

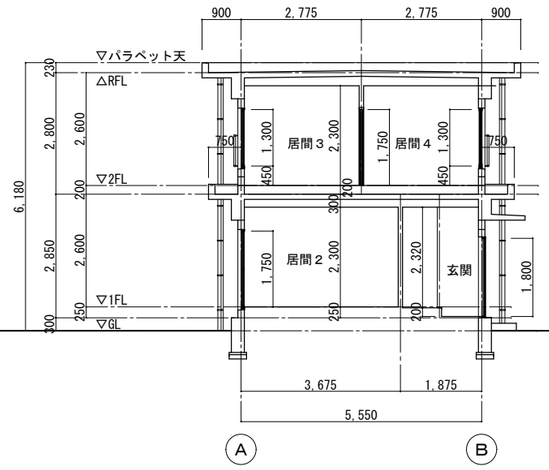


２階平面図　S=1/100

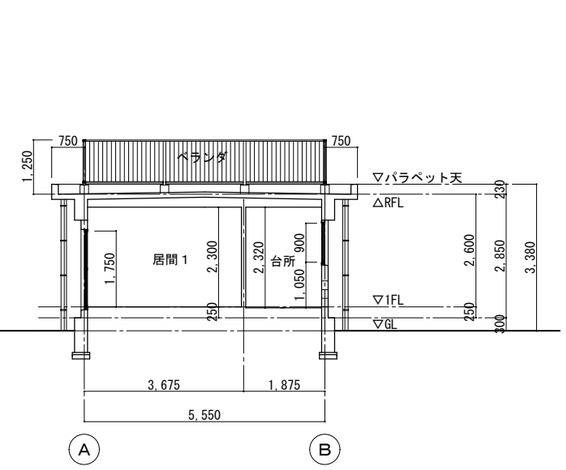
２階建具配置図　S=1/100



Ｘ－Ｘ断面図　S=1/100



Y1－Y1断面図　S=1/100



Y2－Y2断面図　S=1/100

変更日・・・・変更事項(△変更マーク　月 / 日)	NOTE
△1 /	凡例
△2 /	
△3 /	

SAKURA ArchitectsCo.,ltd.

さくら建築設計 株式会社

広島市東区牛田早稲田1-22-13
一級建築士事務所登録 21（1）第0232号
一級建築士登録 第188696号　正木　繁康

Checked
一級建築士登録
第243707号
氏名　中畠義行

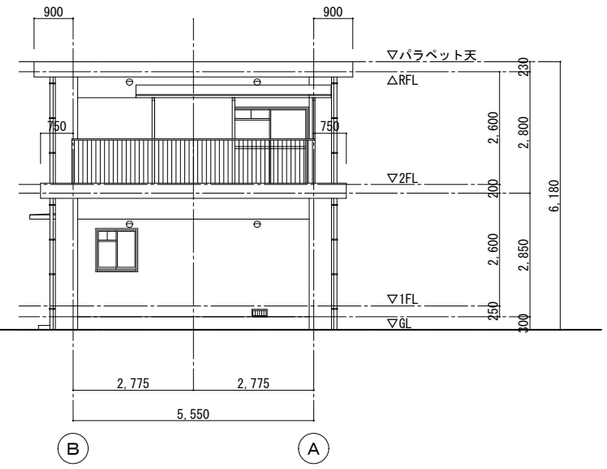
Drawn

市営宮浦住宅解体工事　設計図　DATE 2022/3/31

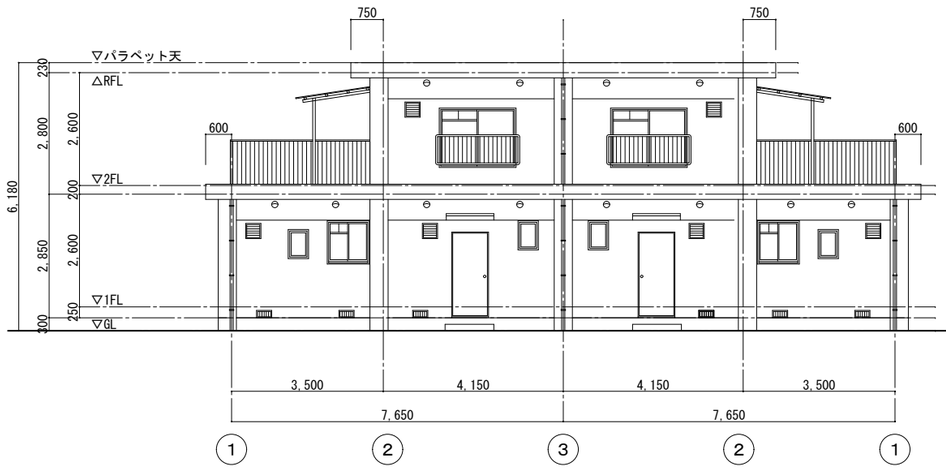
平面図・建具配置図・断面図　SCALE 1/100　JOB 20080　No. A 005

図画：Ａ２（縮尺：Ａ１→141%、Ａ３→71%）　印刷日付 22' 3' 22

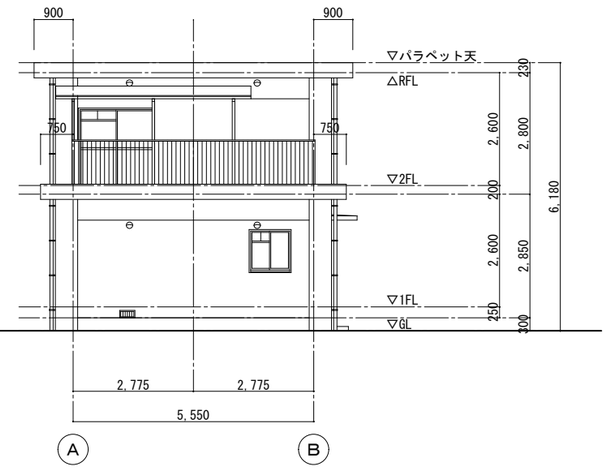
東面立面図　S=1/100



南面立面図　S=1/100



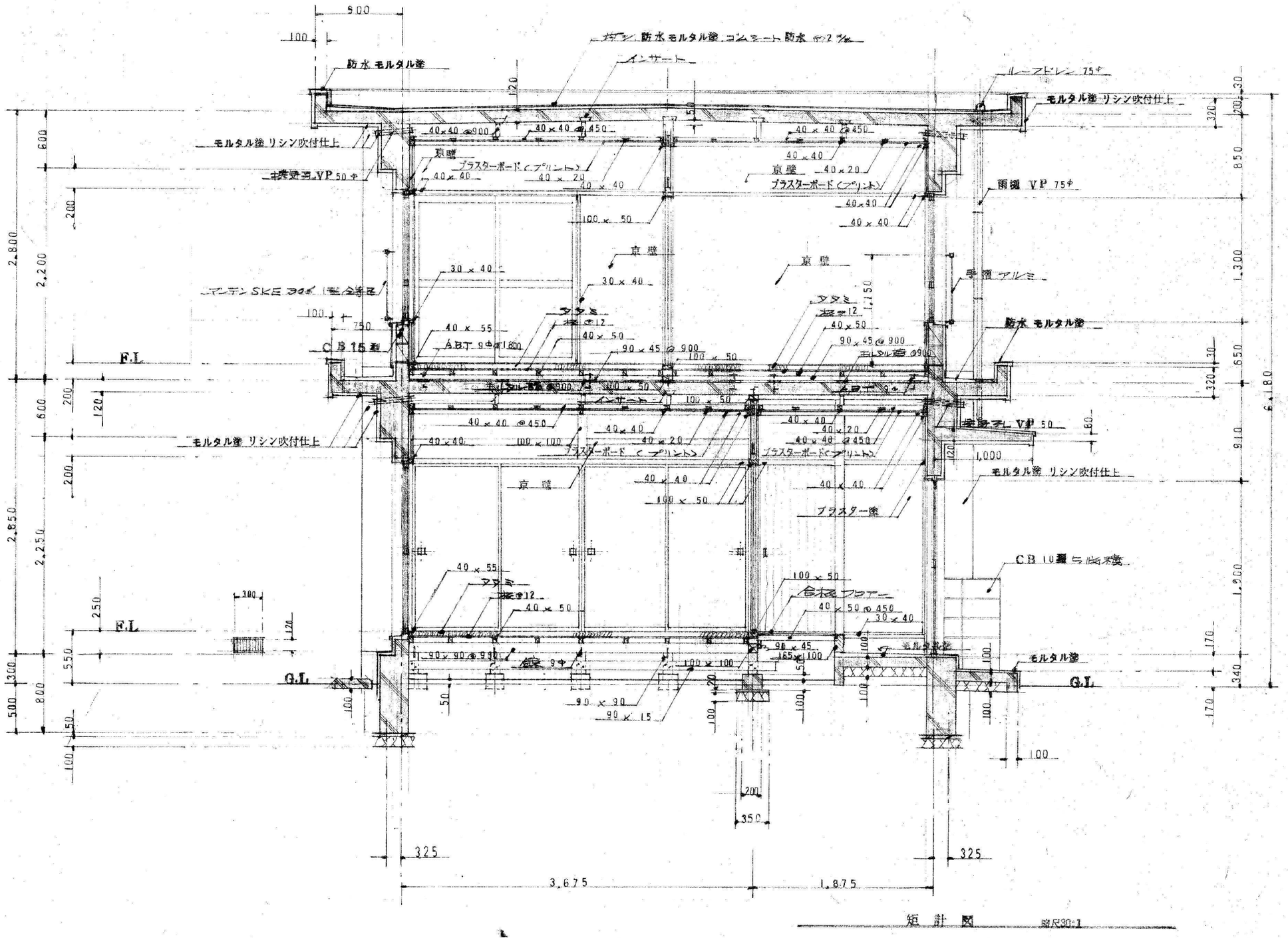
西面立面図　S=1/100



北面立面図　S=1/100

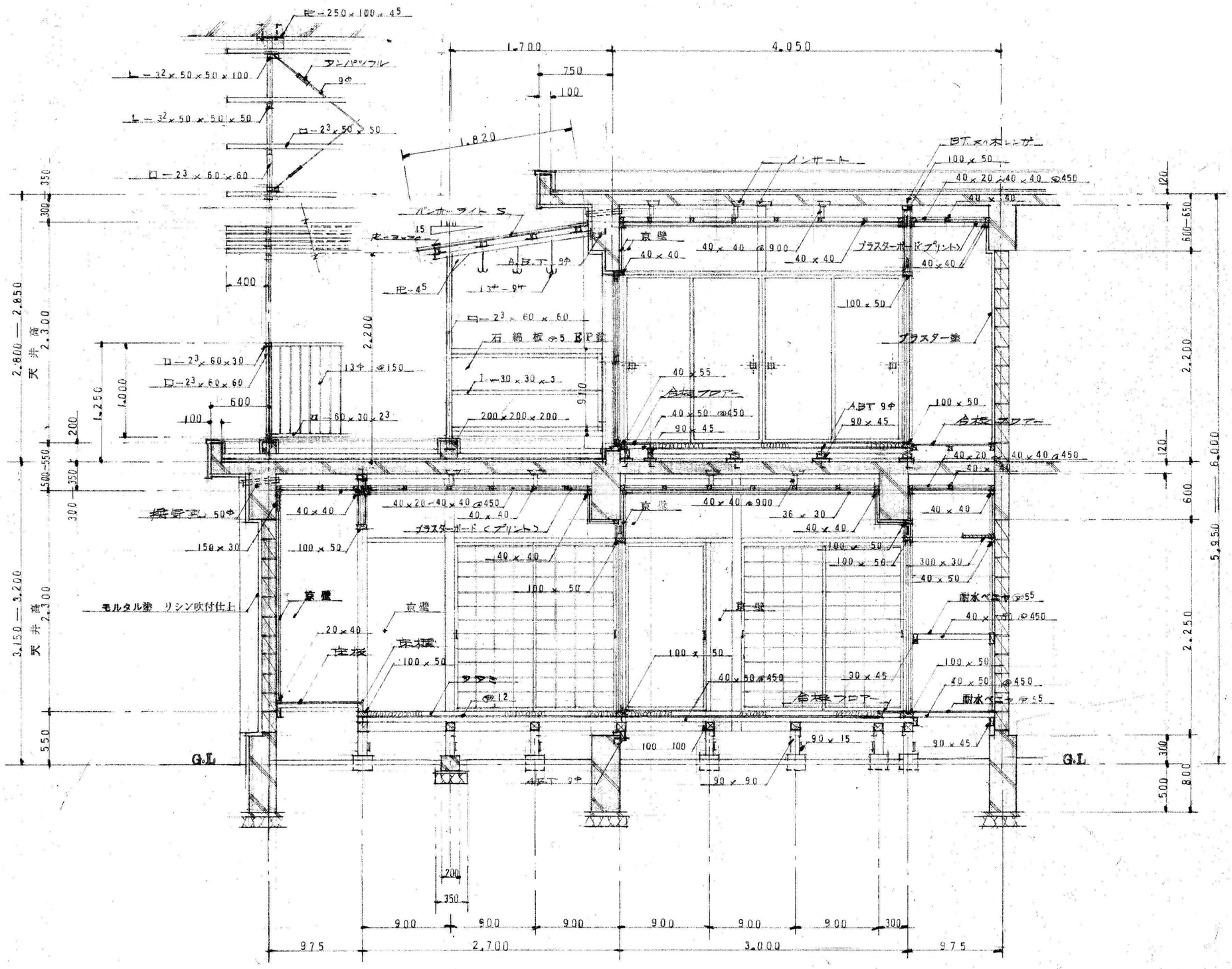
	変更日・・・・変更事項(△変更マーク　月 / 日)	NOTE	さくら建築設計 株式会社	広島市東区牛田早稲田1-22-13	Checked	Drawn	市営宮浦住宅解体工事	設計図 DATE 2022/3/31
	△1 /	凡例	SAKURA Architects Co.,ltd.	一級建築士事務所登録 21（1）第0232号	一級建築士登録 第243707号			SCALE 1/100 JOB 20080
	△2 /			一級建築士登録 第188696号　正木　繁康	氏名　中畠義行		立面図	No. A 006
	△3 /							

図面：Ａ２（縮尺：Ａ１→141%、Ａ３→71%）　印刷日付 22' 3' 22



変更日・・・・変更事項(△変更マーク 月 / 日)	NOTE	さくら建築設計 株式会社 SAKURA Architects Co.,ltd.	広島市東区牛田早稲田1-22-13 一級建築士事務所登録 21 (1) 第0232号 一級建築士登録 第188696号 正木 繁康	Checked 一級建築士登録 第243707号 氏名 中畠義行	Drawn	市営宮浦住宅解体工事	設計図	DATE 2022/3/31
△1 /	凡例						SCALE	JOB 20080
△2 /						矩計図	1/30	No. A 007
△3 /								

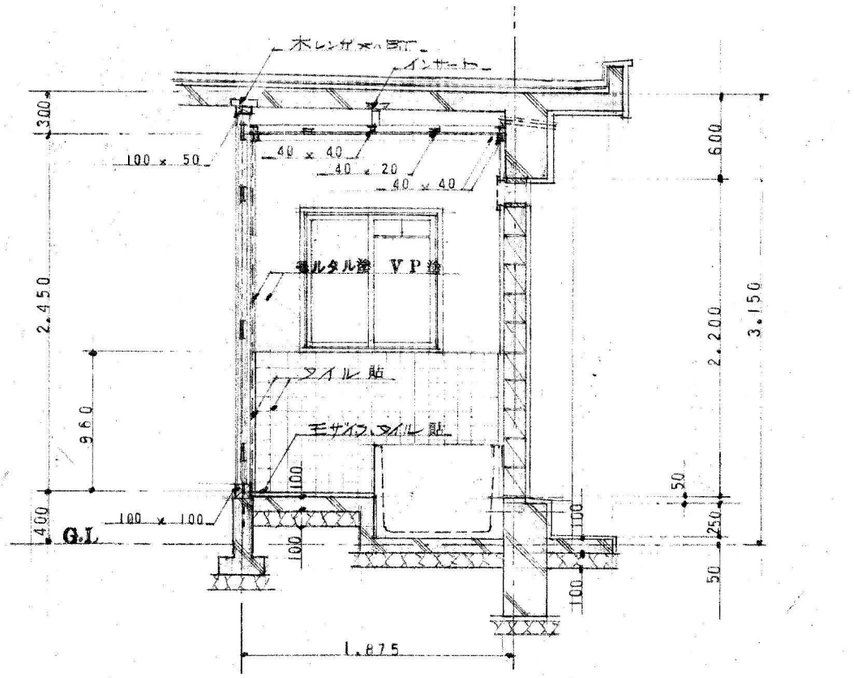
図面：A２（縮尺：A１→141%、A３→71%） 印刷日付 22' 3' 22



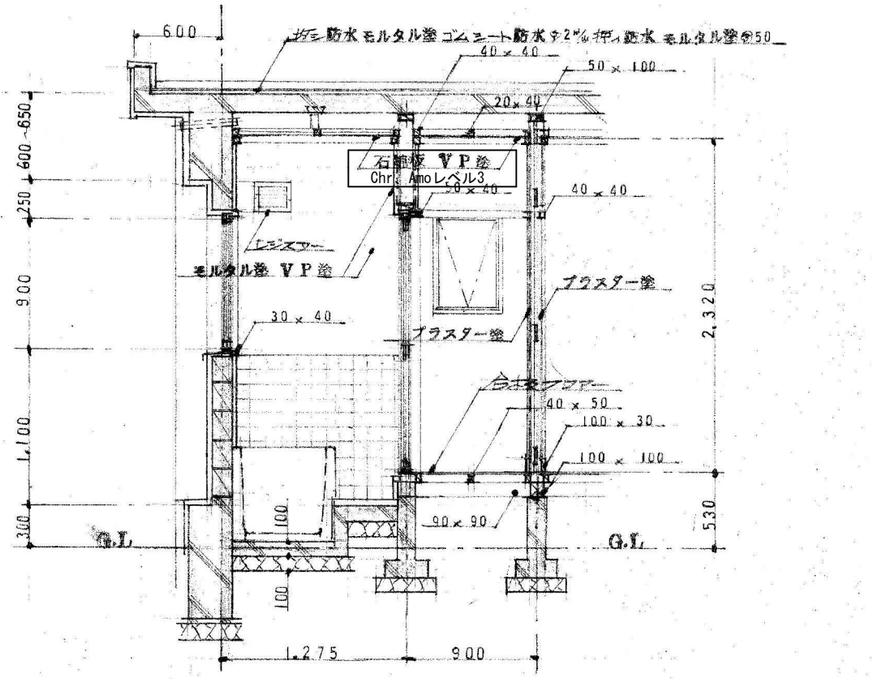
断面詳細図 縮尺30:1

変更日・・・・変更事項(△変更マーク　月 / 日)	NOTE	さくら建築設計 株式会社	広島市東区牛田早稲田1-22-13	Checked	Drawn	市営宮浦住宅解体工事	設計図 DATE 2022/3/31
△1 /	凡例	SAKURA Architects Co.,ltd.	一級建築士事務所登録 21 (1) 第0232号	一級建築士登録			SCALE JOB 20080
△2 /			一級建築士登録 第188696号 正木 繁康	第243707号		断面詳細図	1/30 No. A 008
△3 /				氏名 中畠義行			

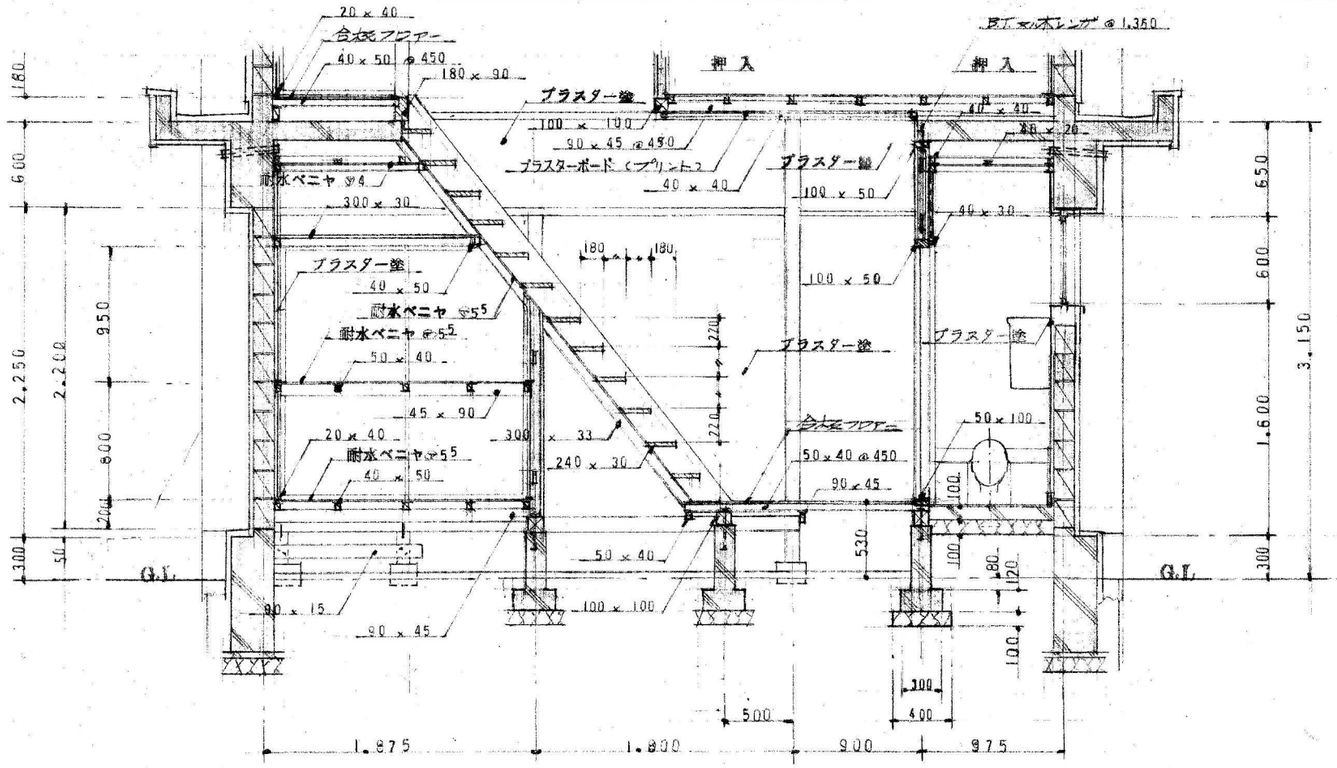
図画：Ａ２（縮尺：Ａ１→141%、Ａ３→71%）　印刷日付 22' 3' 22'



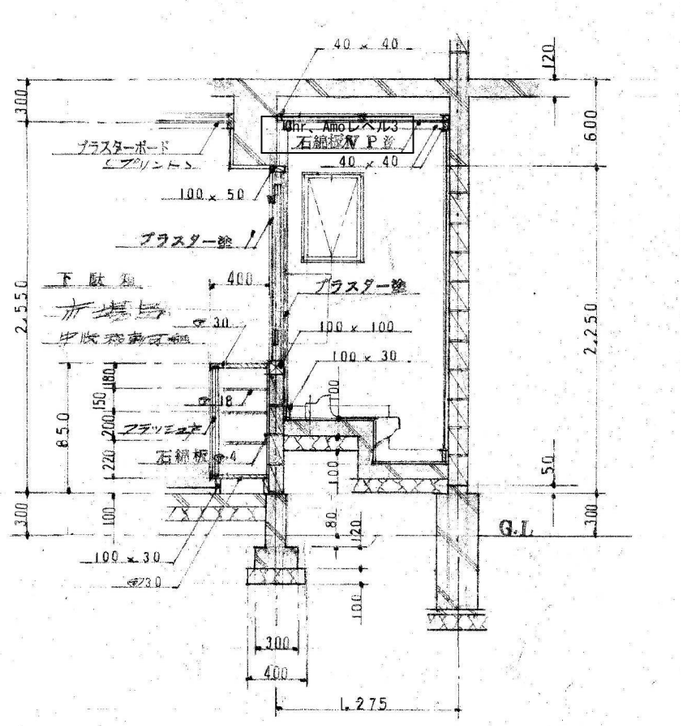
谷 窗 詳 細 図　縮尺30:1



谷 窗 詳 細 図　縮尺30:1



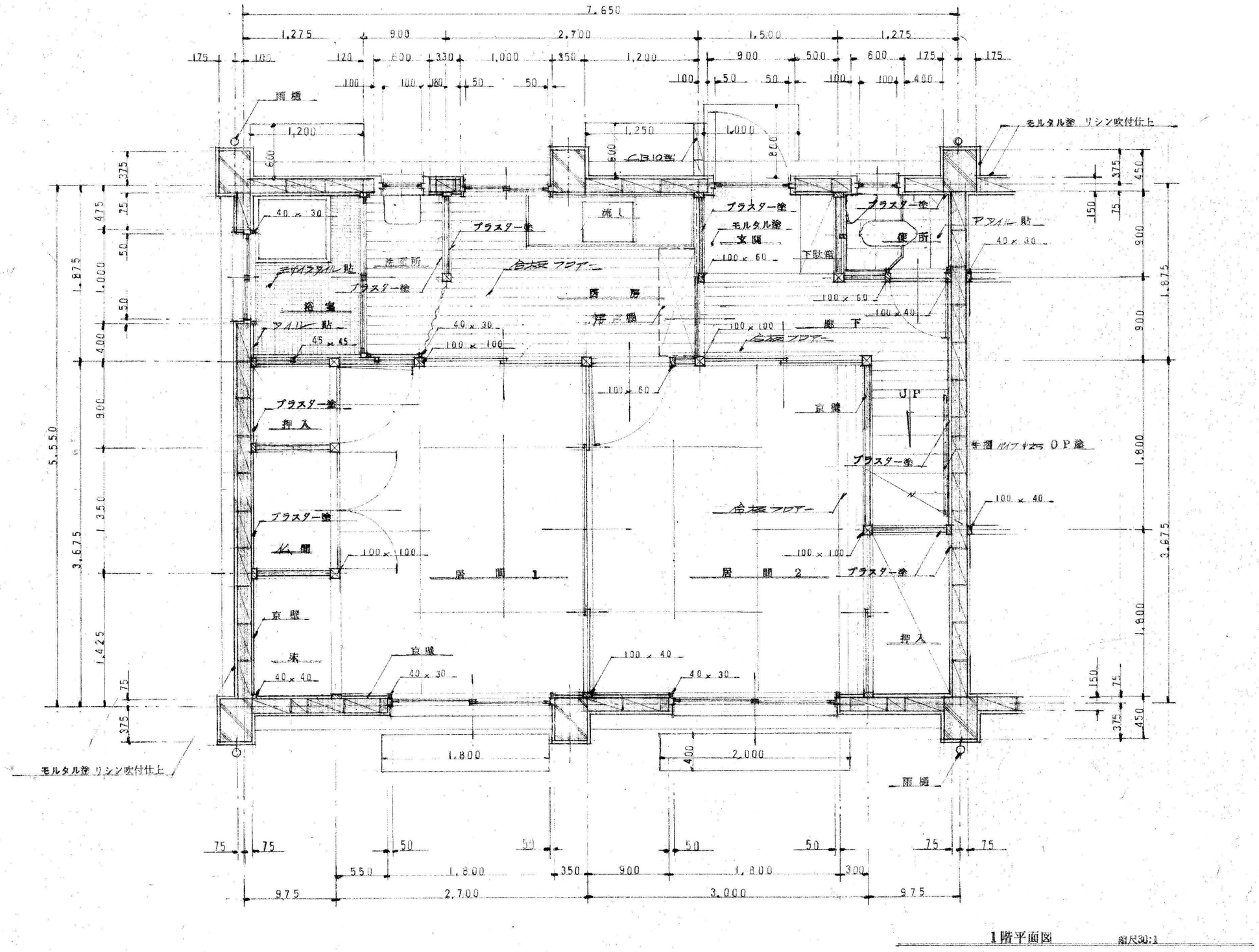
階段詳細図　縮尺30:1



東 雲 所　下 駄 箱　詳 細 図　縮尺30:1

変更日・・・・変更事項(△変更マーク　月 / 日)	NOTE	さくら建築設計 株式会社	広島市東区牛田早稲田1-22-13	Checked	Drawn	市営宮浦住宅解体工事	設計図 DATE 2022/3/31
△1 /	凡例	SAKURA Architects Co.,ltd.	一級建築士事務所登録 21（1）第0232号	一級建築士登録 第243707号			SCALE JOB 20080
△2 /			一級建築士登録 第188696号　正木　繁康	氏名　中畠義行		部分詳細図	1/30 No. A 009
△3 /							

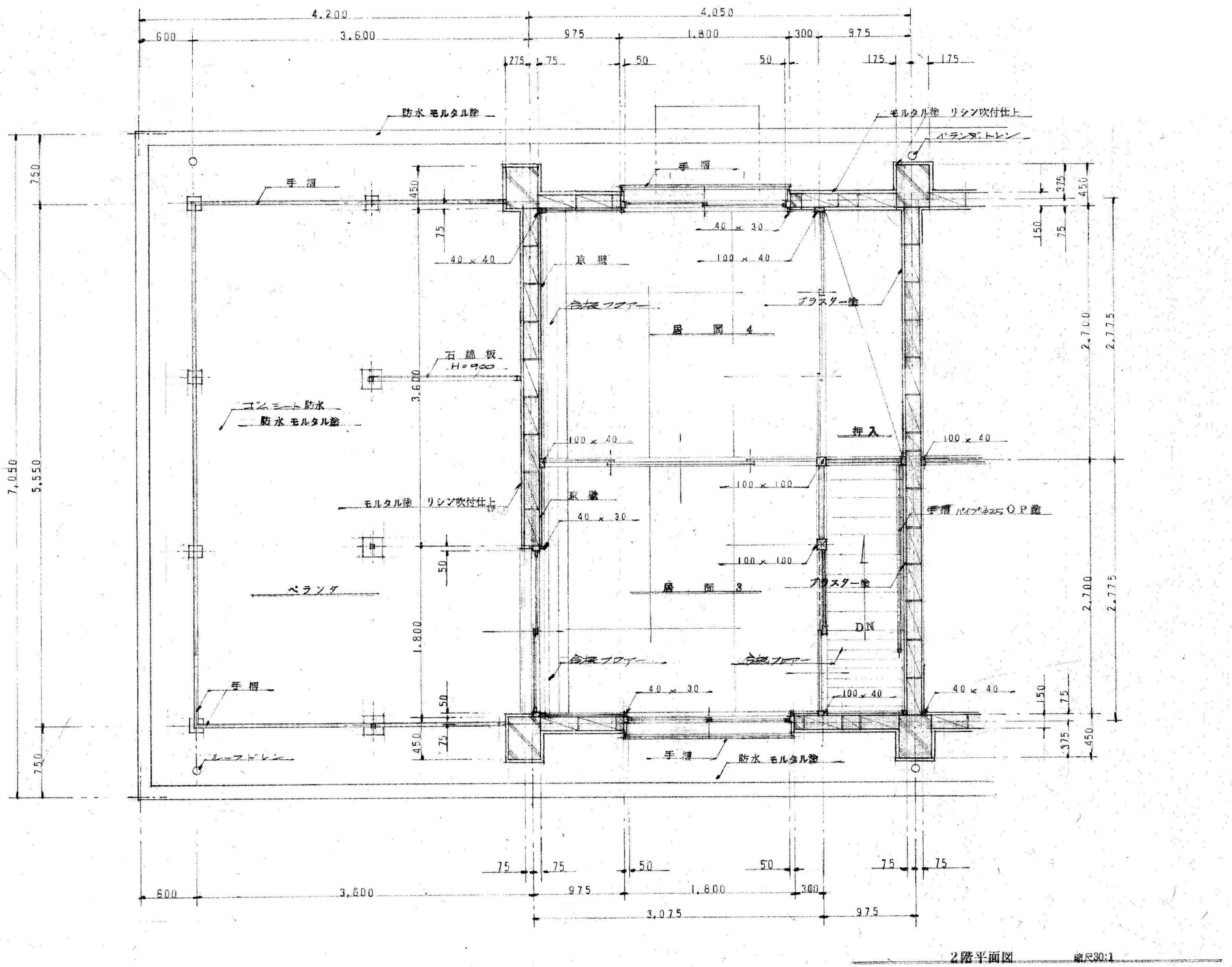
図面：A２（縮尺：A１→141%、A３→71%）　印刷日付 22' 3' 22'



1階平面図　縮尺30:1

	変更日・・・・変更事項(△変更マーク　月 / 日)	NOTE	さくら建築設計 株式会社 SAKURA Architects Co.,ltd.	広島市東区牛田早稲田1-22-13 一級建築士事務所登録 21 (1) 第0232号 一級建築士登録 第188696号　正木　繁康	Checked 一級建築士登録 第243707号 氏名　中畠義行	Drawn	市営宮浦住宅解体工事	設計図 DATE 2022/3/31
	△	凡例						SCALE JOB 20080
	△						1階平面詳細図	1/30 No. A 010
	△							

図面：A2（縮尺：A1→141%、A3→71%）　印刷日付 22' 3' 22



2階平面図　　縮尺30:1

変更日・・・・変更事項(△変更マーク　月 / 日)	NOTE
△1 /	凡例
△2 /	
△3 /	

SAKURA ArchitectsCo.,ltd.

さくら建築設計 株式会社

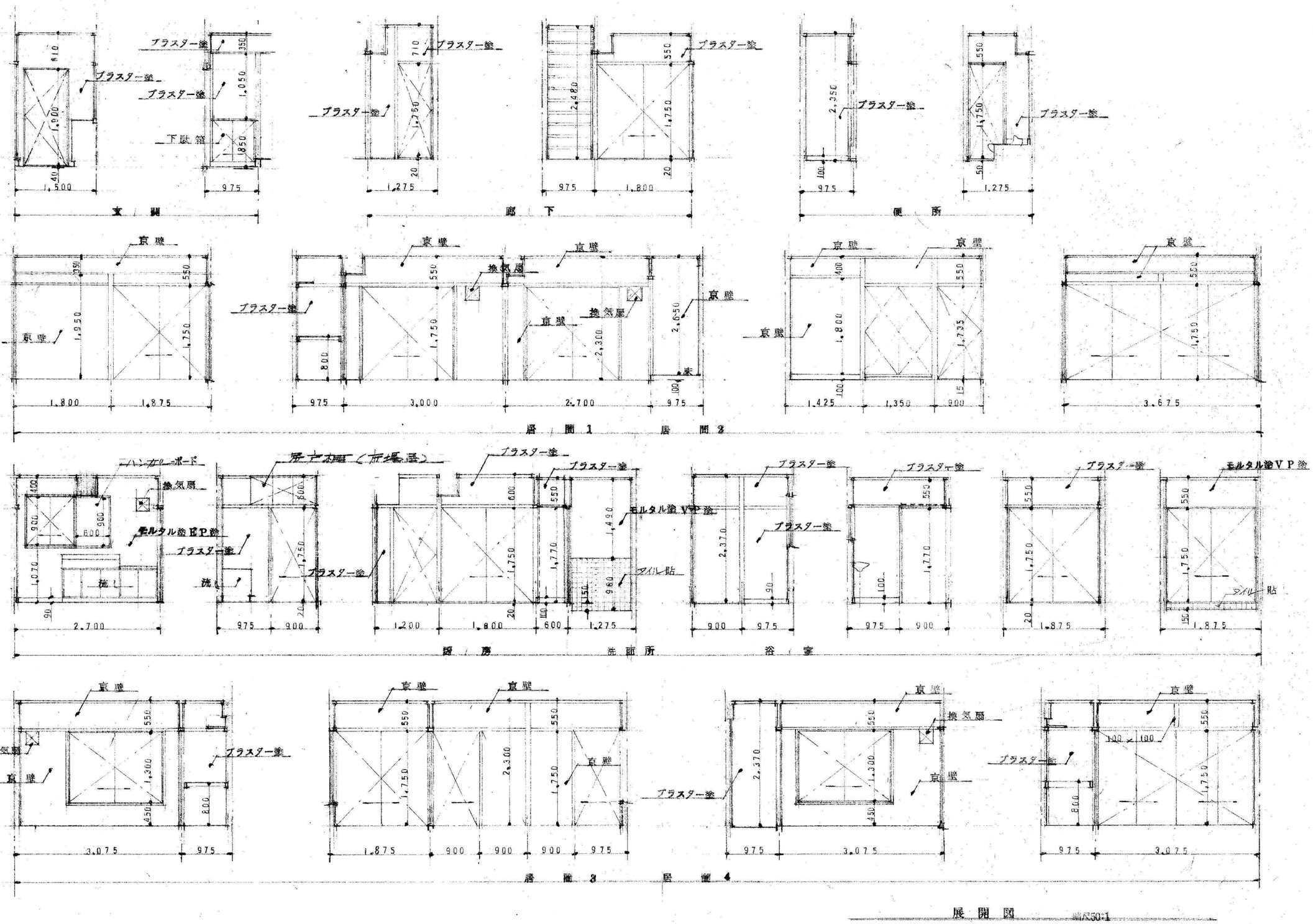
広島市東区牛田早稲田1-22-13
一級建築士事務所登録 21（1）第0232号
一級建築士登録 第188696号　正木　繁康

Checked
一級建築士登録
第243707号
氏名　中畠義行

Drawn

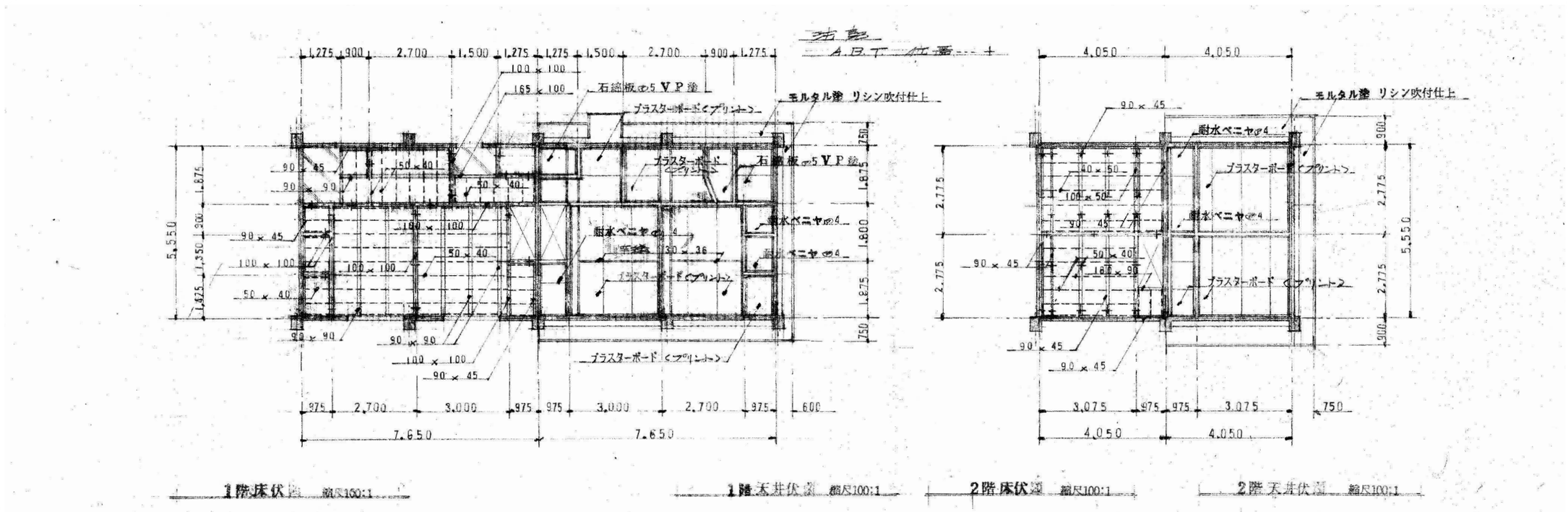
市営宮浦住宅解体工事	設計図	DATE	2022/3/31
	SCALE	JOB	20080
2階平面詳細図	1/30	No. A	011

図画：A2（縮尺：A1→141%、A3→71%）　　印刷日付' 22' 3' 22'



変更日・・・・変更事項(△変更マーク　月 / 日)	NOTE	さくら建築設計 株式会社 SAKURA Architects Co.,ltd.	広島市東区牛田早稲田1-22-13 一級建築士事務所登録 21（1）第0232号 一級建築士登録 第188696号　正木　繁康	Checked 一級建築士登録 第243707号 氏名　中畠義行	Drawn	市営宮浦住宅解体工事	設計図	DATE 2022/3/31
△1 /	凡例						SCALE 1/50	JOB 20080
△2 /						展開図		No. A 012
△3 /								

図面：Ａ２（縮尺：Ａ１→141%、Ａ３→71%）　印刷日付 22' 3' 22'



変更日・・・・変更事項(△変更マーク　月 / 日)	NOTE
△ /	凡例
△ /	
△ /	

さくら建築設計 株式会社
SAKURA Architects Co.,ltd.
広島市東区牛田早稲田1-22-13
一級建築士事務所登録 21 (1) 第0232号
一級建築士登録 第188696号　正木　繁康
Checked 一級建築士登録 第243707号 氏名　中畠義行
Drawn

市営宮浦住宅解体工事	設計図	DATE	2022/3/31
	SCALE	JOB	20080
床伏図・天井伏図	1/100	No. A	013

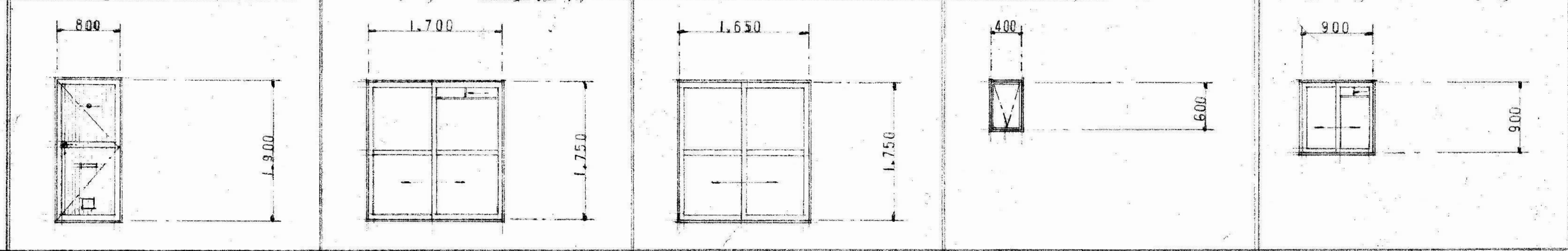
図面：Ａ２（縮尺：Ａ１→141%、Ａ３→71%）　印刷日付 22' 3' 22

建具表　縮尺50:1

注記
一 AD2　AW2　AW3　網戸（可動式）据エの事
二 外部 ヨオ コーキング施工の事

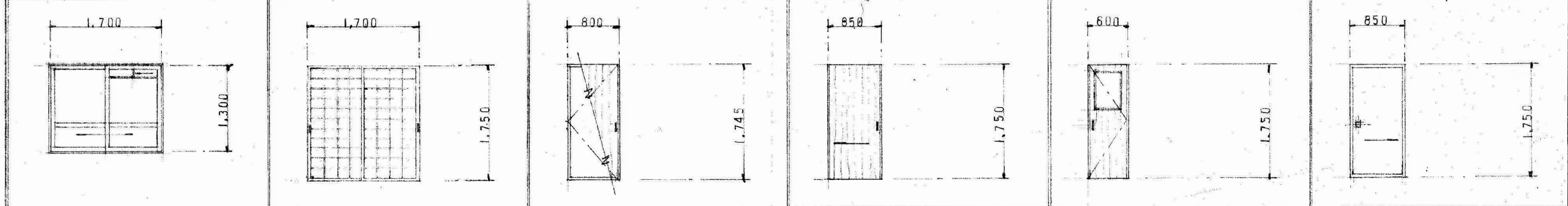
記号 個所	AD1　1	AD2　3	AD3　1	AW1　2	AW2　2
室名	玄関	居間1 居間2 居間3	浴室	便所　洗面所	厨房　浴室
名称	KJB スチールドアー	KJB 1775S アルミサッシ戸	引違アルミサッシ戸	KJB 0406N アルミサッシ窓	KJB 0909S アルミサッシ窓
金物	附属品1式 ドアーチエック	附属品1式	仝右	仝右	仝右
備考	円心鍵, 付把メガネ, 郵便受	硝子 下段型4% 上段透明3%	硝子 型4%	硝子 型4%	仝右
	牛乳受　OP塗	4方アングル 二重水切	仝右	二重水切	4方アングル 二重水切

型状寸法



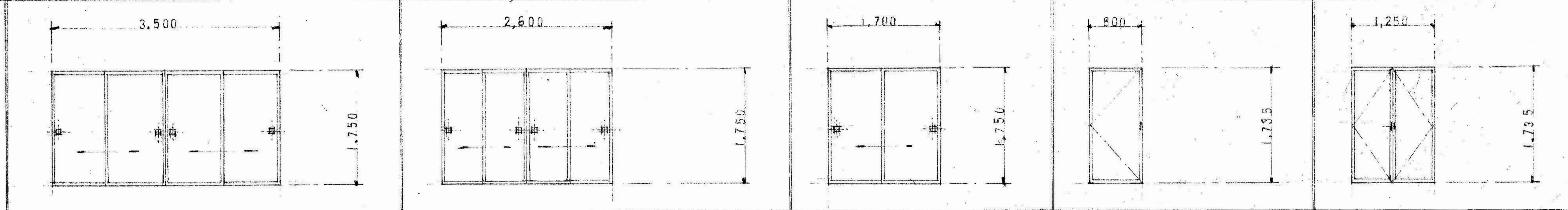
記号 個所	AW3　2	WD1　2	WD2　1	WD3　1	WD4　1	F6　1
室名	居間3　居間4	居間1　居間3	居間2	厨房	便所	居間3
名称	KJB 1713S アルミサッシ窓	引違戸ブスマ	片開戸ブスマ	引込両面フラッシュ戸	片開両面フラッシュ戸	引込フスマ
金物	附属品1式	戸車 引手	双番, 取手, 三角戸バネ	レール戸車, 埋込引手	双番, 取手Pラッチ三角戸バネ	引手
備考	硝子 透明3%	硝子 [illegible]	表面プリント合板（両面）	プリント合板	仝右　硝子	
	4方アングル 二重水切		[illegible]（裏面）	竪框 OS塗	仝右	新鳥の子紙

型状寸法



記号 個所	F1　1	F2（F2'）　2	F3　1	F4　1	F5　1
室名	居間1	居間3（居間4）	居間2	居間1	居間1
名称	4枚引違フスマ	仝右	引違フスマ	片開フスマ	仝右
金物	引手	仝右	仝右	双番, 取手, 三角戸バネ	仝右
備考	新鳥の子	仝右	仝右	仝右	仝右
		F2' は [illegible]			

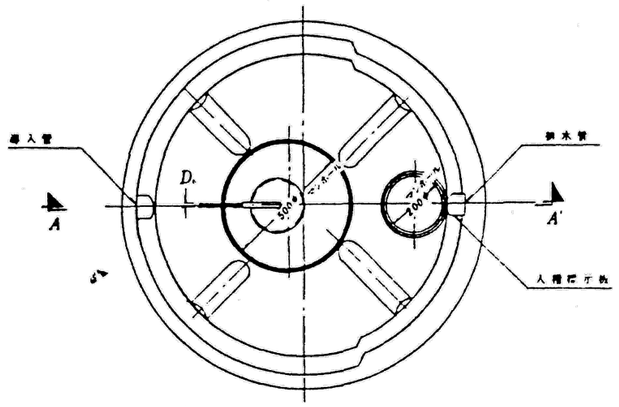
型状寸法



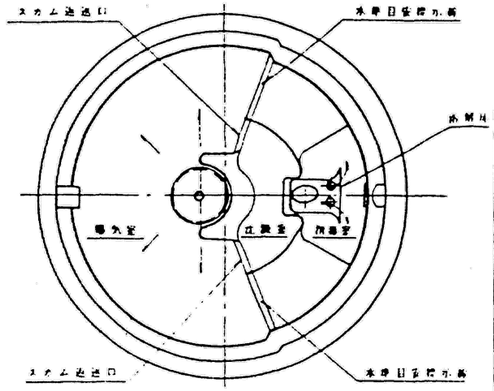
変更日・・・・変更事項（△変更マーク　月 / 日）	NOTE			Checked	Drawn	市営宮浦住宅解体工事	設計図	DATE 2022/3/31
△／	凡例	さくら建築設計 株式会社 SAKURA ArchitectsCo.,ltd.	広島市東区牛田早稲田1-22-13	一級建築士登録			SCALE 1/50	JOB 20080
△／			一級建築士事務所登録 21（1）第0232号	第243707号		建具表		No. A 014
△／			一級建築士登録 第188696号　正木　繁康	氏名　中畠義行				

図面：A2（縮尺：A1→141%、A3→71%）　印刷日付 22' 3' 22'

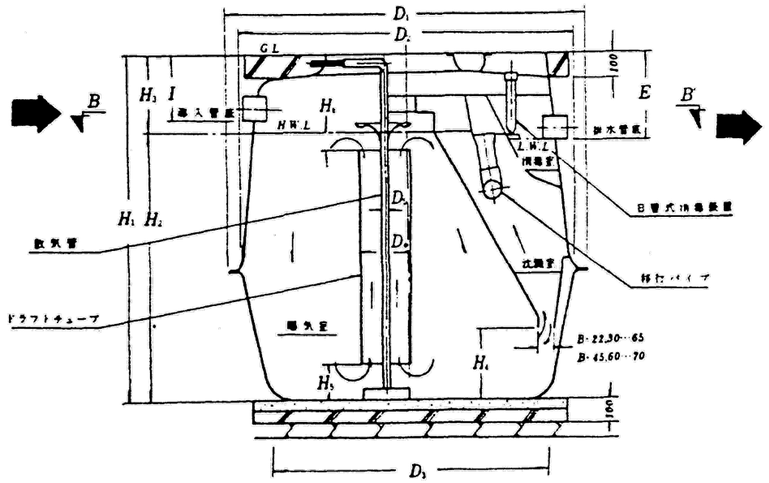
平面図



B～B' 断面図



A～A' 断面図



撤去済

寸法容量表					
型式		B-22型	B-30型	B-45型	B-60型
人槽		22人	30人	45人	60人
寸法 mm	D_1	1,560φ	1,700φ	1,880φ	2,060φ
	D_2	1,440φ	1,560φ	1,740φ	1,920φ
	D_3	1,220φ	1,240φ	1,480φ	1,620φ
	D_4	267φ	267φ	370φ	370φ
	D_5	20φ	20φ	30φ	30φ
	D_6	13φ VP	13φ VP	20φ VP	20φ VP
	E	380	380	400	400
	H_1	1,480	1,580	1,800	1,900
	H_2	1,150	1,250	1,450	1,550
	H_3	330	330	350	350
	H_4	300	300	350	350
	H_5	150	170	170	170
	H_6	80	100	100	100
	I	280	280	300	300
	マンホール数(500φ)	1	1	1	1
	マンホール数(200φ)	1	1	2	2
	導入管径	100φ VU	125φ VU	125φ VU	125φ VU
	排水管径	100φ VU	125φ VU	125φ VU	125φ VU
	蒸剤筒径及数	42φ×2	42φ×2	65φ×1	65φ×1
容量 m³	ばっ気室	1.323	1.644	2.393	3.141
	沈澱室	0.275	0.348	0.479	0.623
	消毒室	0.021	0.027	0.039	0.047
	総容量	1.619	2.019	2.911	3.811

仕様	
名称	材質及仕様
外槽	強化プラスチック（F.R.P.）
槽内部品	F.R.P.及硬質塩化ビニール
マンホール	鋳鉄（黒色防錆塗装）
モーター出力 送風機	B-22,30 100V 50,60サイクル 150W×4P 80l/分(0.12Kg/㎠) B-45,60 100V 50,60サイクル 250W×4P 140l/分(0.15Kg/㎠)

ダイキ浄化槽バッキー

（22人～60人）

建設省告示第1726号第一の二の(一) 長時間曝気方式

ダイキ株式会社	日付	昭和47年4月17日
	図番	16-2-2

変更日・・・・変更事項(△変更マーク　月 / 日)	NOTE
△1 /	凡例
△2 /	
△3 /	

さくら建築設計 株式会社
SAKURA Architects Co.,ltd.

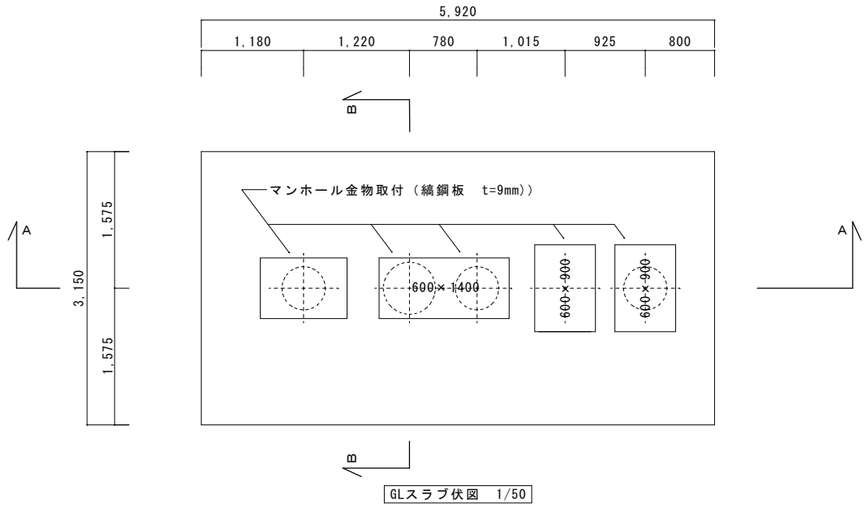
広島市東区牛田早稲田1-22-13
一級建築士事務所登録 21（1）第0232号
一級建築士登録 第188696号　正木　繁康

Checked 一級建築士登録 第243707号 氏名　中畠義行

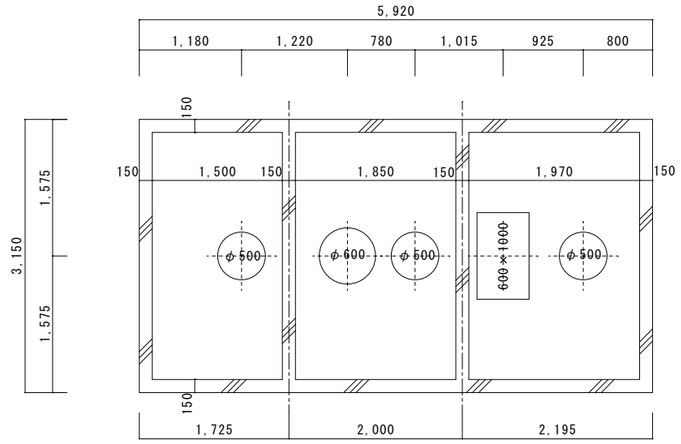
Drawn

市営宮浦住宅解体工事	設計図	DATE	2022/3/31
		SCALE	JOB 20080
浄化槽詳細図（1）	－	No. A	015

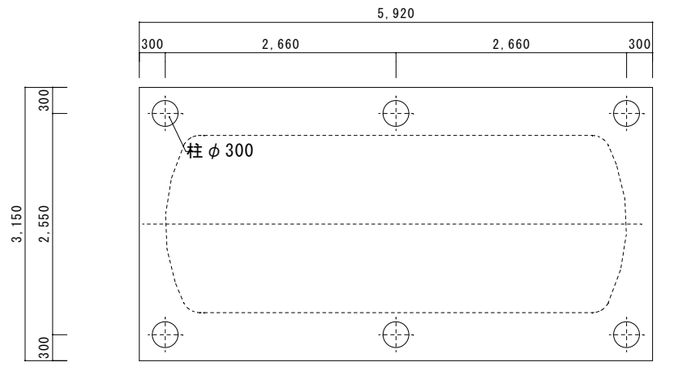
図面：A2（縮尺：A1→141%、A3→71%）　印刷日付 22' 3' 25



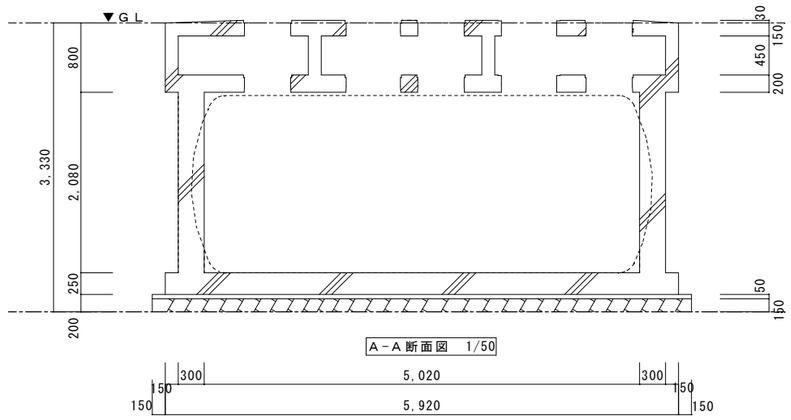
GLスラブ伏図　1/50



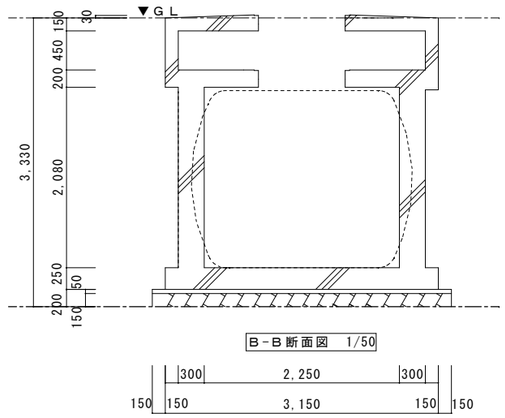
GL-600ｽﾗﾌﾞ伏図　1/50



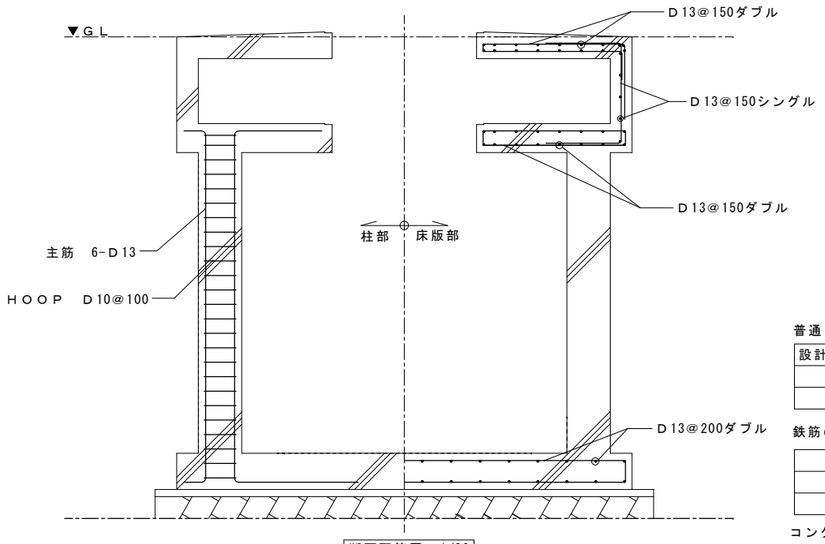
底盤伏図　1/50



A－A断面図　1/50



B－B断面図　1/50



断面配筋図　1/30

普通コンクリートの設計基準強度

設計基準強度FC（N/mm²）	スランプ	施工箇所
21N	15	擁壁・土間・浄化槽躯体
18N	15	捨コンクリート

鉄筋の種類

種類の記号	呼び名
SD295A	D16以下
SD345	D19以下

コンクリート擁壁については出隅、天端共面取仕上とする

変更日・・・・変更事項(△変更マーク　月 / 日)	NOTE
1 /	凡例
2 /	
3 /	

SAKURA ArchitectsCo.,ltd.

さくら建築設計 株式会社

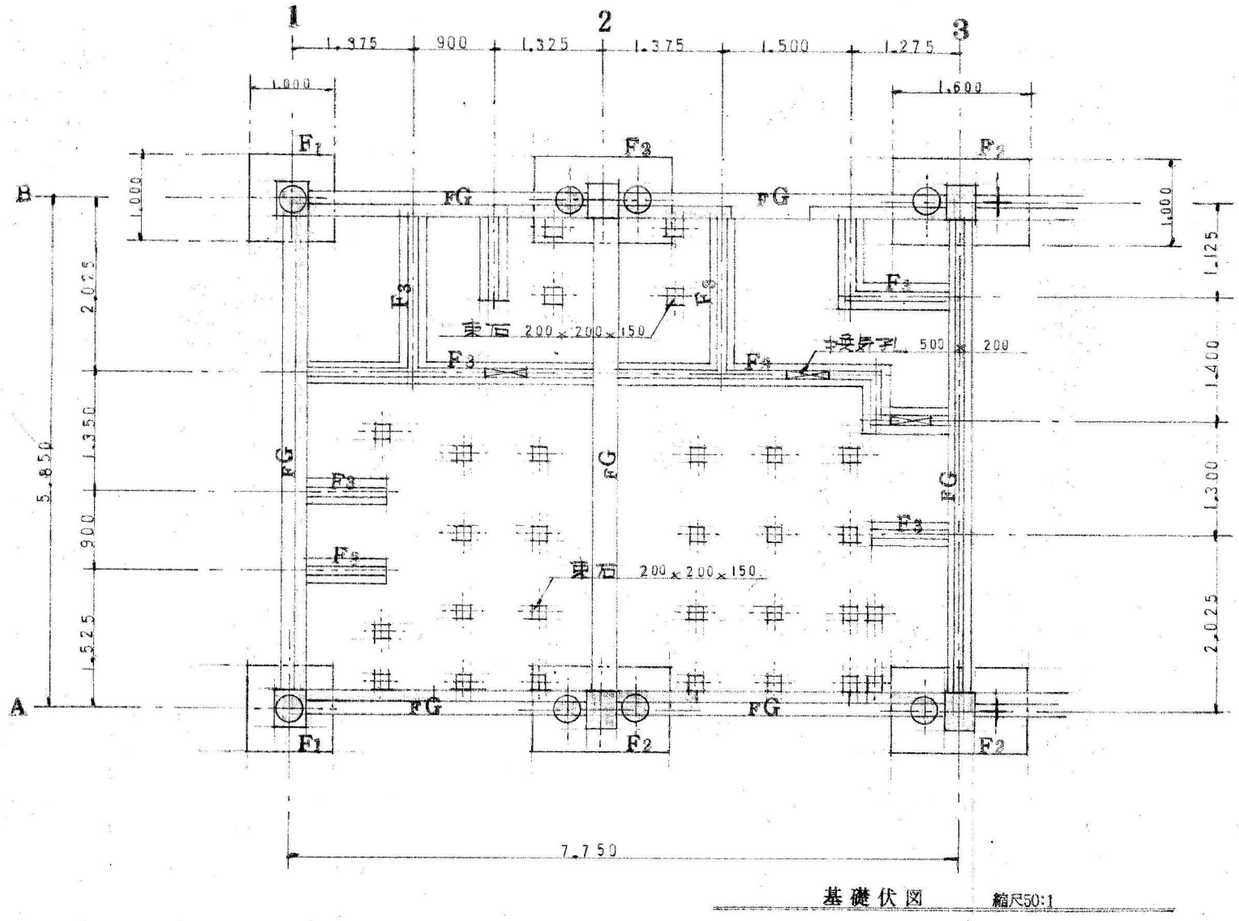
広島市東区牛田早稲田1-22-13
一級建築士事務所登録 21（1）第0232号
一級建築士登録 第188696号　正木　繁康

Checked
一級建築士登録
第243707号
氏名　中畠義行

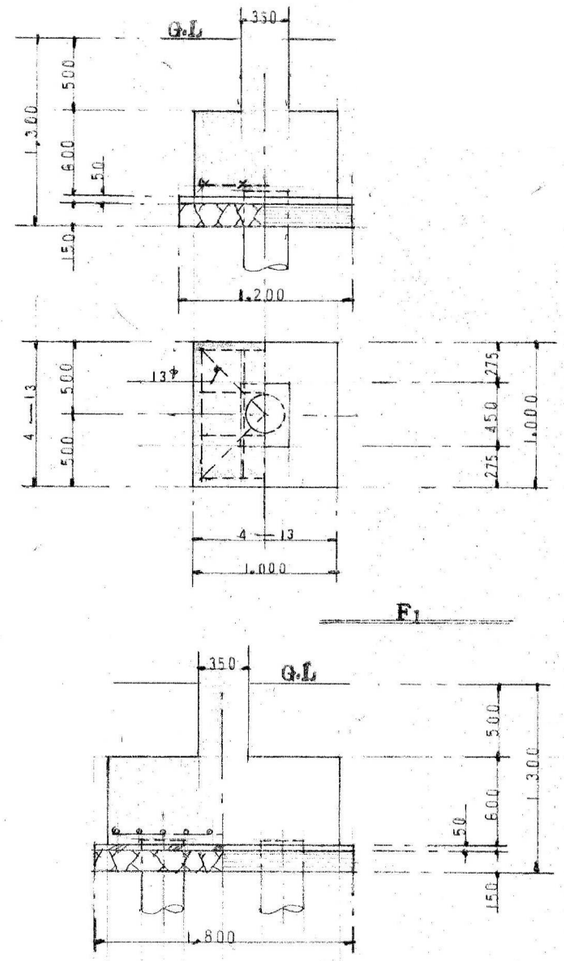
Drawn

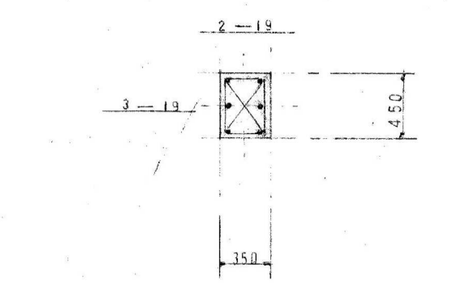
市営宮浦住宅解体工事	設計図	DATE	2022/3/31
	SCALE	JOB	20080
浄化槽詳細図（2）	1/50 1/30	No. A	016

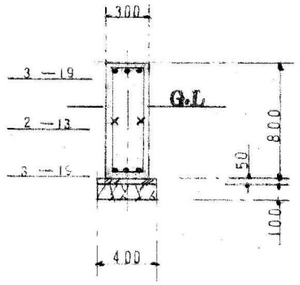
図画：A2（縮尺：A1→141%、A3→71%）　印刷日付' 22' 3' 25

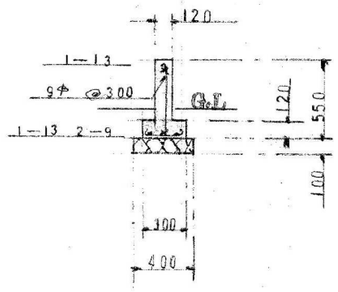


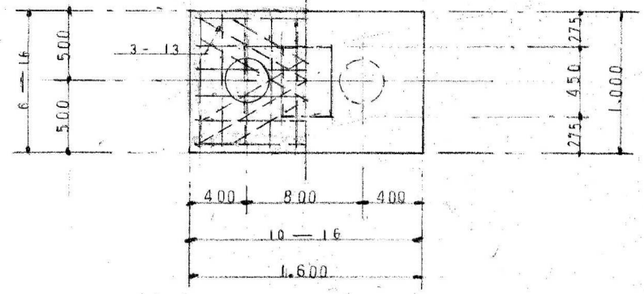
基礎伏図　縮尺50:1









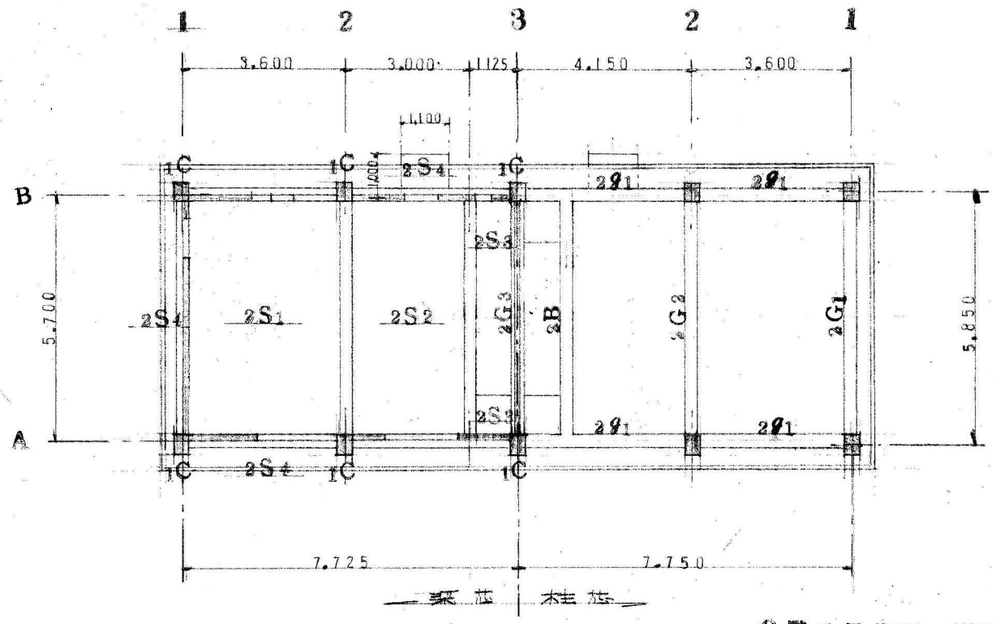


注記
無筋杭 P.C 300φ L=13,000

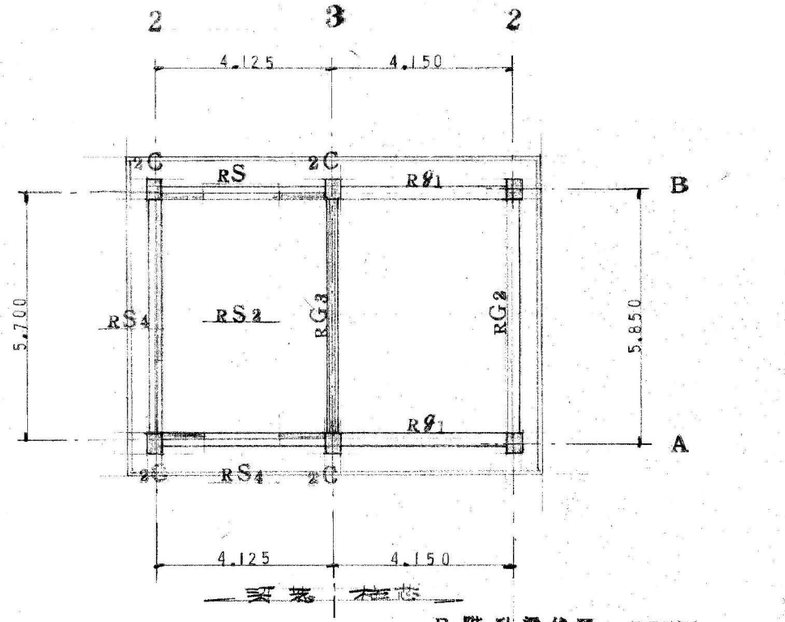
柱 基礎断面配筋図　縮尺50:1

	変更日・・・・変更事項(△変更マーク　月 / 日)	NOTE	SAKURA Architects Co.,ltd. さくら建築設計 株式会社	広島市東区牛田早稲田1-22-13 一級建築士事務所登録 21 (1) 第0232号 一級建築士登録 第188696号　正木　繁康	Checked 一級建築士登録 第243707号 氏名　中畠義行	Drawn	市営宮浦住宅解体工事	設計図	DATE 2022/3/31
	△1 /	凡例						SCALE	JOB 20080
	△2 /						基礎伏図・柱、基礎断面配筋図	1/30 1/50	No. S 001
	△3 /								

図画：A2（縮尺：A1→141%、A3→71%）　印刷日付 %y &m &d



2階梁伏図　縮尺100:1



R階梁伏図　縮尺100:1

梁断面配筋図　縮尺30:1

梁名	Rg1						RG2			RG3			特記
b×D	300×600						300×600			300×600			記入無き事柄は下記による
	外端	中央	内端				外端	中央	内端	外端	中央	内端	スターラップ 9中@200
上筋	2—19	2—19	2—19				2—19	2—19	2—19	2—19	2—19	2—19	
R階		外端二合ヂ						外端二合ヂ		RG2二合ヂ			
下筋	2—19	2—19	2—19				2—19	3—19	2—19	2—19	3—19	2—19	

梁名	2g1			2G1			2G2			2G3			2B		
b×D	300×600			300×600			300×600			150×600			300×600		
	外端	中央	内端	外端	中央	内端	外端	中央	内端	外端	中央	内端	外端	中央	内端
上筋	3—19	2—19	3—19	3—19	2—19	3—19	5—19	2—19	5—19	7—19	3—19	7—19	3—19	2—19	3—19
2階			外端二合ヂ			外端二合ヂ			外端二合ヂ			外端二合ヂ			外端二合ヂ
下筋	2—19	2—19	2—19	2—19	2—19	2—19	2—19	3—19	2—19	3—19	3—19	3—19	2—19	3—19	2—19

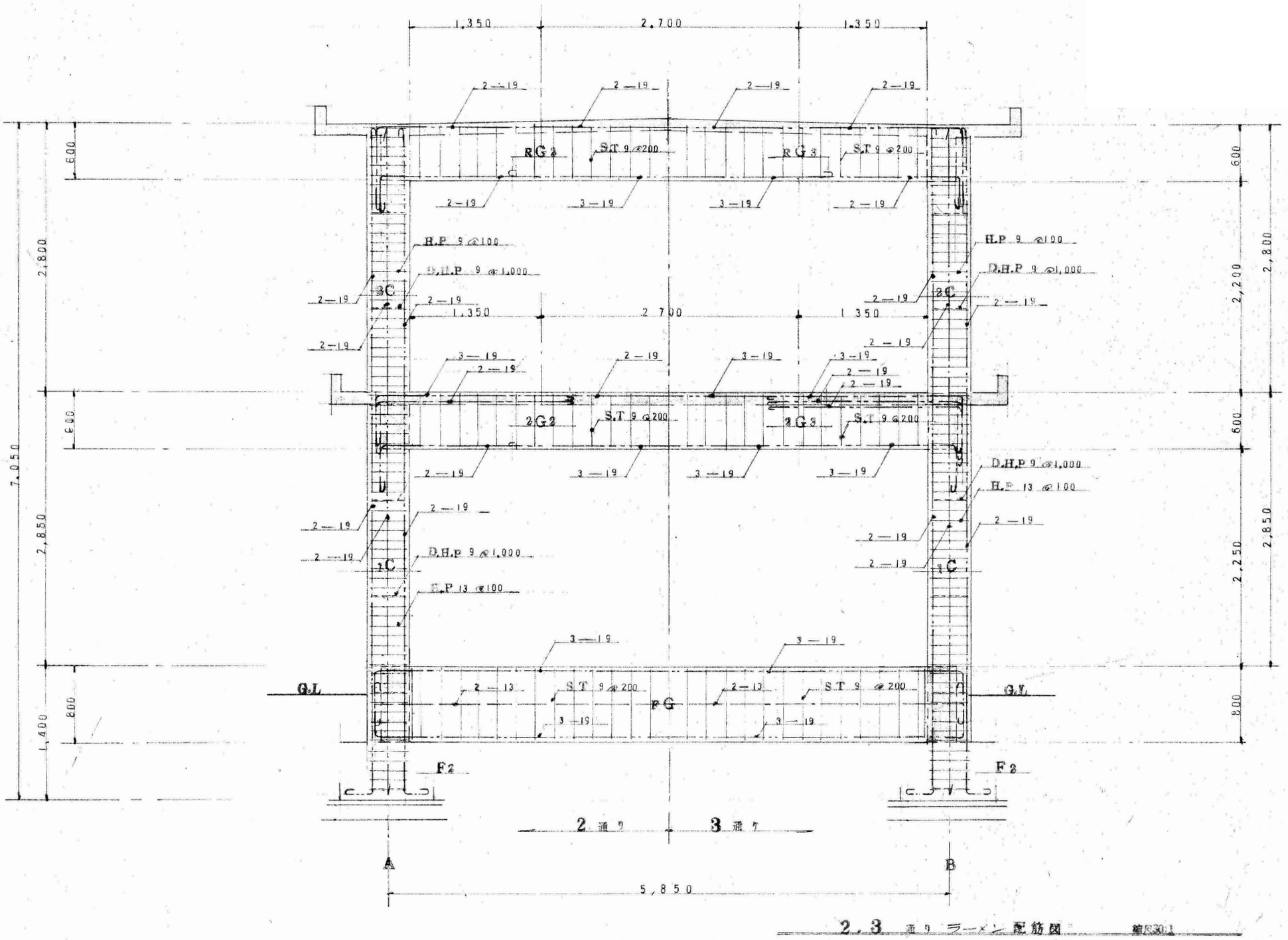
変更日・・・・変更事項(△変更マーク　月 / 日)	NOTE
△ /	凡例
△ /	
△ /	

SAKURA ArchitectsCo.,ltd.

さくら建築設計 株式会社
広島市東区牛田早稲田1-22-13
一級建築士事務所登録 21 (1) 第0232号
一級建築士登録 第188696号　正木　繁康
Checked
一級建築士登録
第243707号
氏名　中畠義行
Drawn

市営宮浦住宅解体工事	設計図	DATE	2022/3/31
	SCALE	JOB	20080
床、梁伏図・梁配筋リスト	1/30 1/100	No. S	002

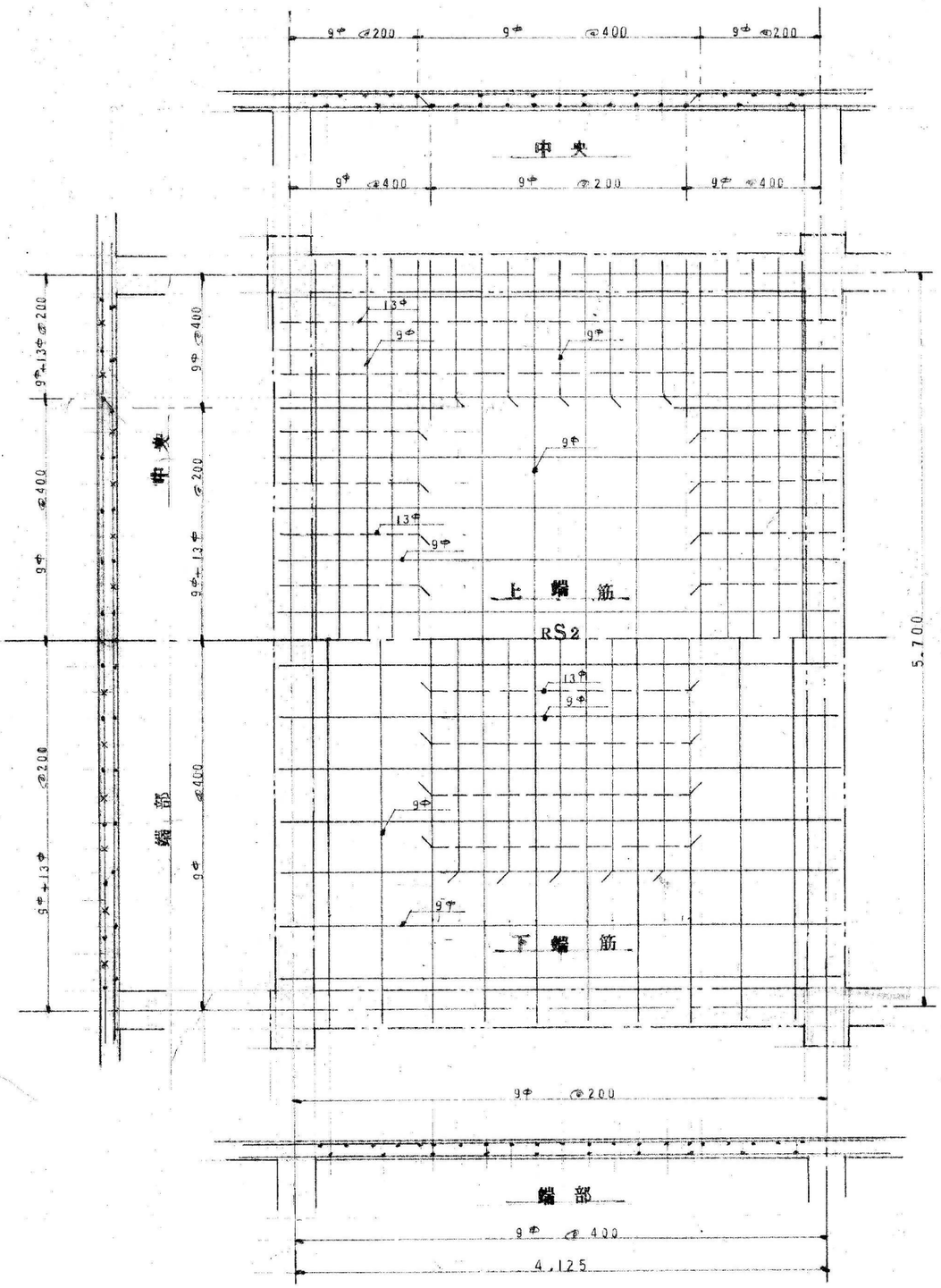
図面：A2（縮尺：A1→141%、A3→71%）　印刷日付 22' 3' 22



2,3 通り ラーメン配筋図 縮尺1:30

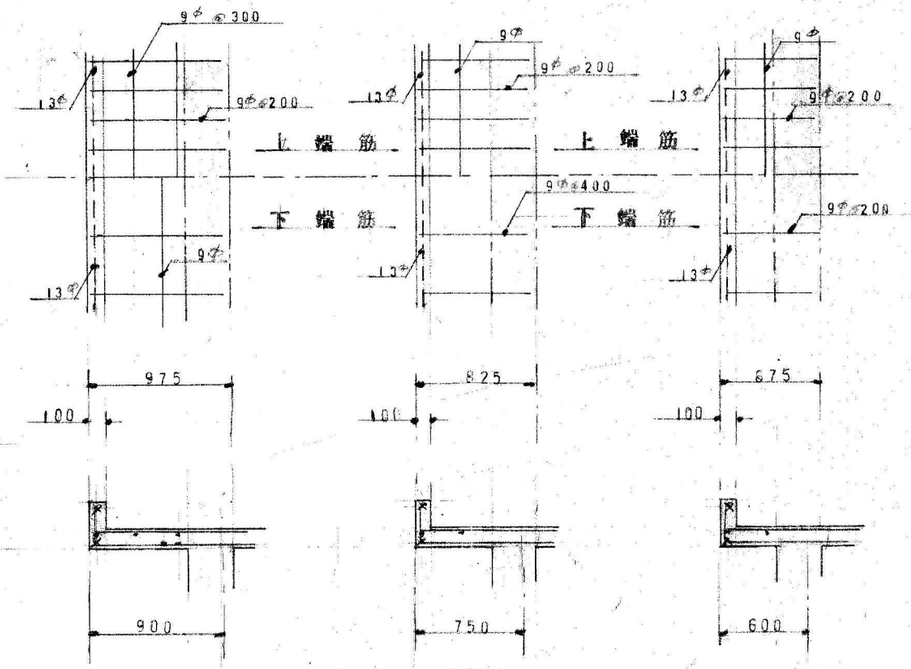
変更日・・・・変更事項(△変更マーク 月 / 日)	NOTE	さくら建築設計 株式会社	広島市東区牛田早稲田1-22-13	Checked	Drawn	市営宮浦住宅解体工事	設計図	DATE 2022/3/31
△1 /	凡例	SAKURA ArchitectsCo.,ltd.	一級建築士事務所登録 21 (1) 第0232号	一級建築士登録 第243707号			SCALE	JOB 20080
△2 /			一級建築士登録 第188696号 正木 繁康	氏名 中畠義行		ラーメン配筋図	1/30	No. S 003
△3 /								

図画：Ａ２（縮尺：Ａ１→141%、Ａ３→71%） 印刷日付 22' 3' 22



床配筋表

記号	厚		主筋 端部	主筋 中央	副筋 端部	副筋 中央
RS2	120	上筋	9φ+13φ @200	9φ @400	9φ @200	9φ @400
		下筋	9φ @400	9φ+13φ @200	9φ @100	9φ @200
2S1	120	上筋	9φ+13φ @200	9φ @400	9φ @200	9φ @400
		下筋	9φ @400	9φ+13φ @200	9φ @400	9φ @200
2S2	120	上筋	9φ+13φ @200	——	9φ @200	——
		下筋	9φ @400	9φ+13φ @200	9φ @400	9φ @200
2S3	120	上筋		9φ+13φ @150		9φ+13φ @150
		下筋		13φ @300		13φ @300
RS4 2S4	120	上筋		9φ @200		9φ @300
		下筋		9φ @400		9φ @600



R，2階 床配筋図 縮尺30:1

変更日・・・・変更事項(△変更マーク 月 / 日)	NOTE	さくら建築設計 株式会社	広島市東区牛田早稲田1-22-13	Checked	Drawn	市営宮浦住宅解体工事	設計図 DATE 2022/3/31
△1 /	凡例	SAKURA Architects Co.,ltd.	一級建築士事務所登録 21（1）第0232号	一級建築士登録 第243707号			SCALE JOB 20080
△2 /			一級建築士登録 第188696号 正木 繁康	氏名 中畠義行		床配筋表・床配筋図	1/30 No. S 004
△3 /							

図面：A2（縮尺：A1→141%、A3→71%） 印刷日付 22' 3' 22

凡例

	解体建物
	建物養生足場：枠組み足場 W600（H=3.4m以上）・防音シート張（防炎1類）
	土留め（浄化槽）：軽量鋼製矢板　Ⅱ型　H＝10.0m　H=5.7m　H=4.5m x 2か所
	工事用仮囲い：万能鋼板塀　H=3.0m　t=1.2mm
	解体後：進入防止柵（木杭末口150＋番線）
	工事用車輌出入口　（ガードフェンス　W＝3.6m　H＝1.8m　白シートW＝3.6m　H=3.0m）
	敷鉄板　t=22　1524 x 3048　4枚
	交通誘導員（仮設材搬出入時、解体材搬出時）　2人
	工事用車両　経路
	隣地境界線（工事範囲）

＊敷鉄板の段差はアスファルトにて調整(W500程度)すること。工事用車両入口を組み換えの際は敷鉄板を移設すること。

＊敷鉄板の仮設に先だち道路使用・占有等の申請を関係機関と協議のうえ行うこと。

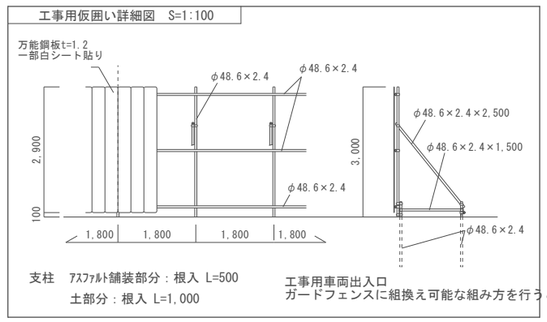
＊騒音振動計及び粉塵計（１ヶ所）を設置すること。

＊工事用出入口は、通常時シートにて管理すること。建物解体時には、車両通行できるよう組み換えを行うこと。使用時はガードフェンスにて管理すること。

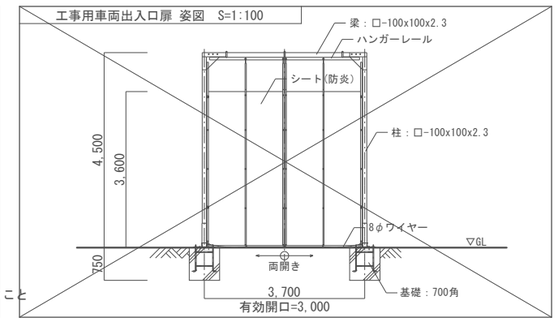
＊解体後、進入防止柵（木杭末口150＋番線）設置。

全体配置図　S=1/300

工事用仮囲い詳細図　S=1:100

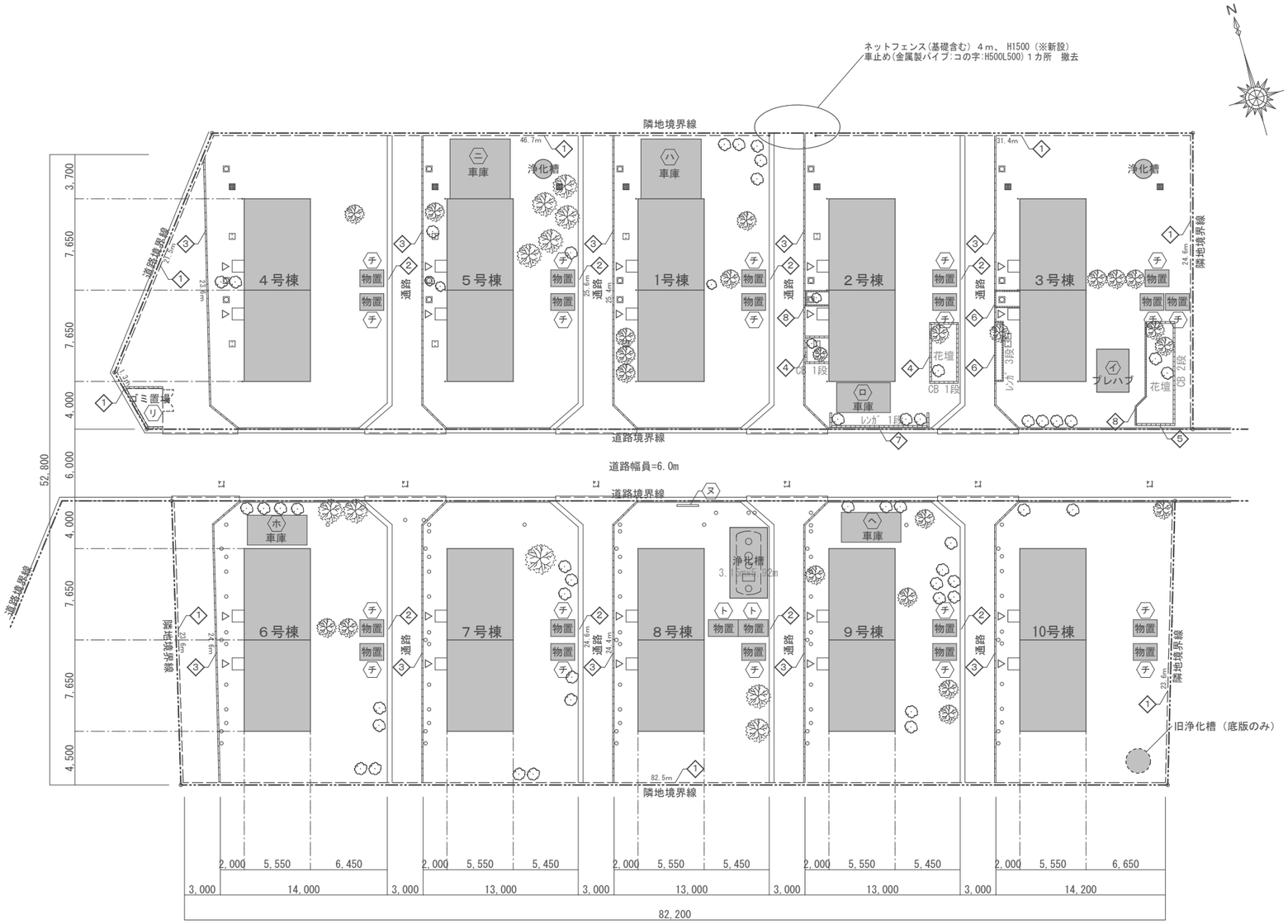


工事用車両出入口扉 姿図　S=1:100



	変更日・・・・変更事項(△変更マーク　月 / 日)	NOTE	さくら建築設計 株式会社 SAKURA Architects Co.,ltd.	広島市東区牛田早稲田1-22-13 一級建築士事務所登録 21（1）第0232号 一級建築士登録 第188696号　正木　繁康	Checked 一級建築士登録 第243707号 氏名　中畠義行	Drawn	市営宮浦住宅解体工事	設計図	DATE 2022/3/31
	△1 /	凡例						SCALE	JOB 20080
	△2 /						仮設計画図	1/300	No. K 001
	△3 /								

図画：Ａ２（縮尺：Ａ１→141%、Ａ３→71%）



全体配置図　S=1/300

撤去工作物　凡例

記号	名　称	数量（箇所）
イ	プレハブ（2.7mx3.6m）	1
ロ	車庫（木組、スレート屋根 2.5mx5.0mxH2.5m）	1
ハ	車庫（木組、ﾎﾟﾘｶｰﾎﾞﾈｰﾄ屋根 3.5mx5.0mxH2.5m）	1
ニ	車庫（木組、ﾎﾟﾘｶｰﾎﾞﾈｰﾄ屋根 3.5mx5.0mxH2.5m）	1
ホ	車庫（ｱﾙﾐ製、ﾎﾟﾘｶｰﾎﾞﾈｰﾄ屋根 2.5mx5.0mxH2.5m）	1
ヘ	車庫（ﾊﾟｲﾌﾟ組、ﾋﾞﾆｰﾙﾊｳｽ 2.5mx5.0mxH2.0m）	1
ト	スチール物置	2
チ	スチール物置	20
リ	ゴミ置場（スレート屋根、CB4段＋ネット壁 H2.4m）	1
ヌ	案内板	1

撤去擁壁・縁石・側溝　凡例

記号	名　称	数量	単位
1	ＲＣ擁壁 W150（存置）＋ネットフェンス H1500（存置）	255.2	m
2	Ｌ字側溝　W450	200.8	m
3	縁石　100/110×155×600	247.4	m
4	ＣＢ　１段	15.6	m
5	ＣＢ　２段積	14.4	m
6	レンガ　３段積	16.2	m
6	レンガ　１段	10.4	m
7	円柱型花壇ブロック	14.5	m

変更日・・・・変更事項（△変更マーク　月 / 日）	NOTE
1 /	凡例
2 /	
3 /	

SAKURA ArchitectsCo.,ltd.
さくら建築設計 株式会社

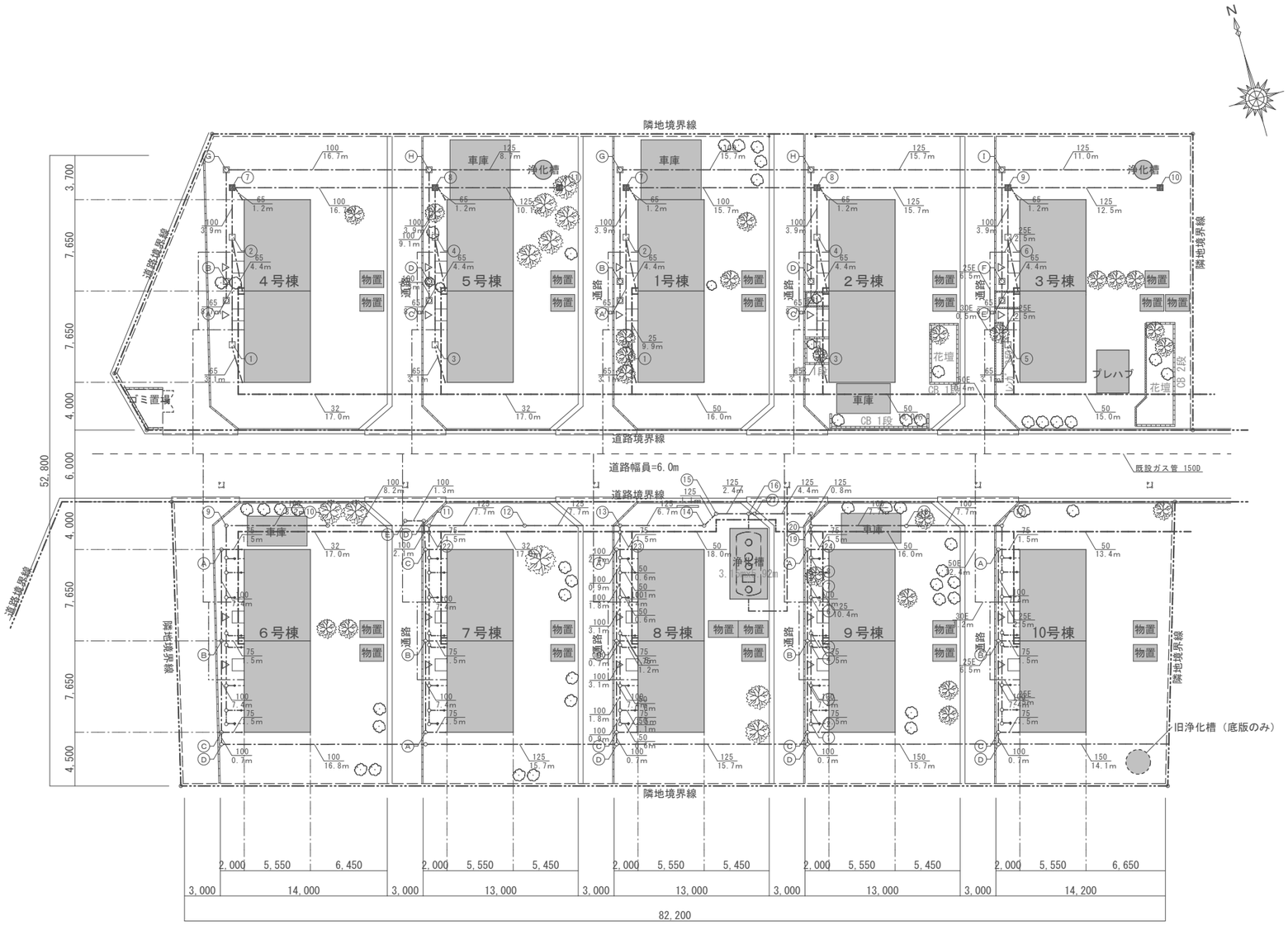
広島市東区牛田早稲田1-22-13
一級建築士事務所登録 21（1）第0232号
一級建築士登録 第188696号　正木　繁康

Checked
一級建築士登録
第243707号
氏名　中畠義行

Drawn

市営宮浦住宅解体工事	設計図	DATE	2022/3/31
		SCALE	JOB 20080
外構撤去図－１（工作物）	1/300	No.	G 001

図画：Ａ２（縮尺：Ａ１→141%、Ａ３→71%）



全体配置図　S=1/300

撤去雨水桝　凡例

棟	記号		名　称	数量（箇所）
1～5	①	▫	350×350　ＲＣ蓋	2
	②	▫	350×350　ＲＣ蓋	2
	③	▫	350×350　ＲＣ蓋	2
	④	▫	350×350　ＲＣ蓋	2
	⑤	▫	400×400　ＲＣ蓋	1
	⑥	▫	450×450　ＲＣ蓋	1
	⑦	▩	400×400　縞鋼板t6蓋	2
	⑧	▩	400×400　縞鋼板t6蓋	2
	⑨	▩	400×400　縞鋼板t6蓋	1
	⑩	▩	400×400　縞鋼板t6蓋	1
6～10	Ⓐ	○	アロン桝 200φ　硬質塩ビ製丸蓋	5
	Ⓑ	○	アロン桝 200φ　硬質塩ビ製丸蓋	5
	Ⓒ	○	アロン桝 200φ　硬質塩ビ製丸蓋	5
	Ⓓ	○	アロン桝 200φ　鋳鉄製丸蓋	5
	Ⓔ	○	アロン桝 200φ　鋳鉄製丸蓋	1

撤去埋設管　凡例

記号	名　称	数量（m）
150	埋設硬質塩ビ管　150Φ	29.8
125	埋設硬質塩ビ管　125Φ	69.7
100	埋設硬質塩ビ管　100Φ	133.2
75	埋設硬質塩ビ管　75Φ	22.5
65	埋設硬質塩ビ管　65Φ	87.0

変更日・・・・変更事項（△変更マーク　月 / 日）	NOTE
△1 /	凡例
△2 /	
△3 /	

さくら建築設計 株式会社
SAKURA Architects Co.,ltd.
広島市東区牛田早稲田1-22-13
一級建築士事務所登録 21（1）第0232号
一級建築士登録 第188696号　正木　繁康
Checked
一級建築士登録
第243707号
氏名　中畠義行
Drawn

市営宮浦住宅解体工事	設計図	DATE	2022/3/31
		SCALE	JOB 20080
外構撤去図－２（雨水排水）	1/300	No.	G 002

図画：Ａ２（縮尺：Ａ１→141%、Ａ３→71%）

凡例

	アスファルト舗装（表層t50　路盤t150）撤去
	土間コンクリートの撤去
	土の撤去（草、根共）、整地

＊解体後、敷地整地敷き均し（砂利(C-25)60mm共）。

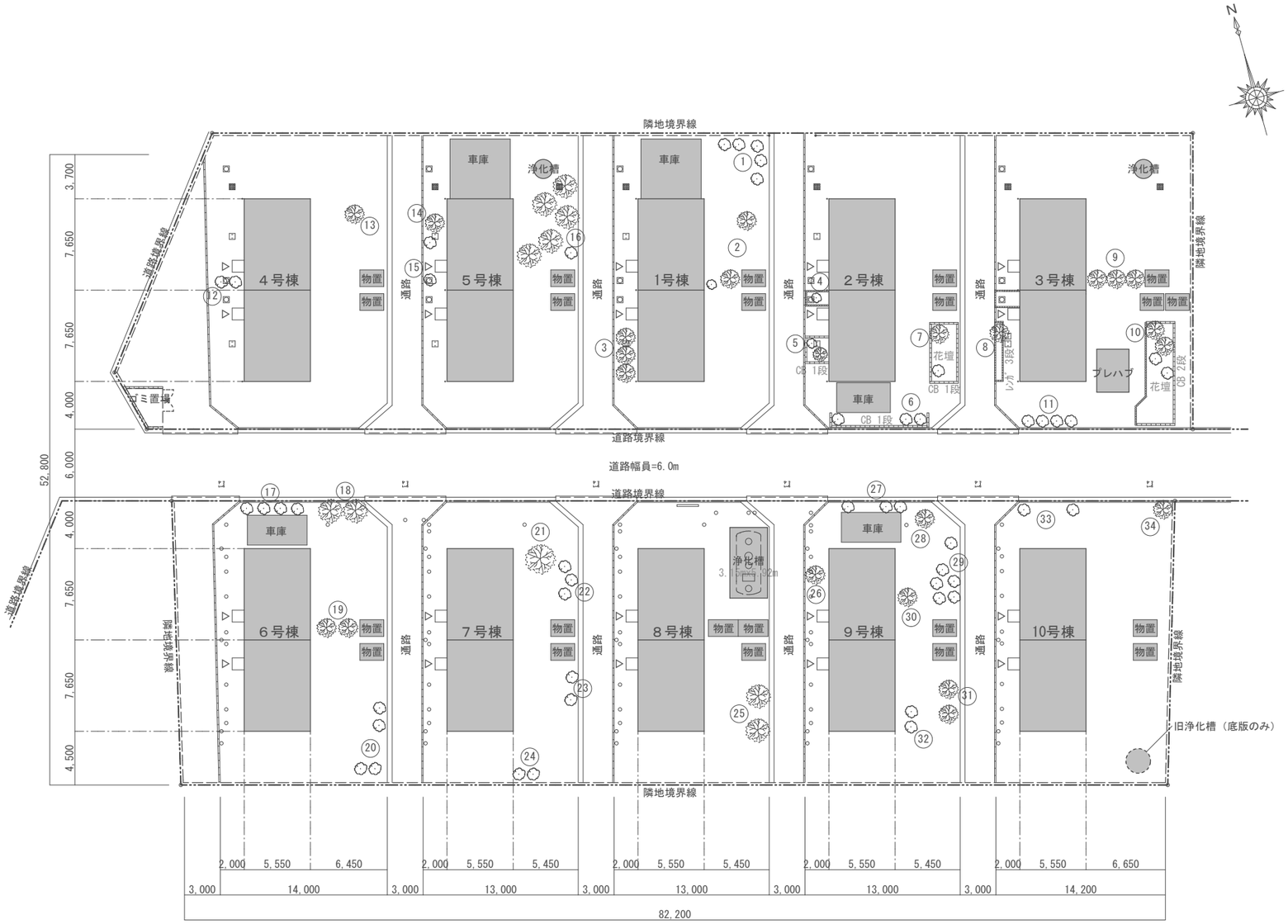
全体配置図　S=1/300

変更日・・・・変更事項(△変更マーク　月 / 日)	NOTE
△1 /	凡例
△2 /	
△3 /	

さくら建築設計 株式会社
SAKURA ArchitectsCo.,ltd.
広島市東区牛田早稲田1-22-13
一級建築士事務所登録 21（1）第0232号
一級建築士登録 第188696号　正木　繁康
Checked 一級建築士登録 第243707号 氏名　中畠義行
Drawn

市営宮浦住宅解体工事	設計図	DATE	2022/3/31
	SCALE	JOB	20080
外構撤去図－３（路盤）	1/300	No. G	003

図画：Ａ２（縮尺：Ａ１→141%、Ａ３→71%）



全体配置図　S=1/300

撤去樹木リスト（伐根共）

棟	符号	樹高 H（m）	枝巾 W（m）	幹周 C（cm）	本
1号	①	1.50	1.00	10	5
	②	3.00	2.00	20	1
	③	4.00	2.00	25	3
2号	④	1.50	1.00	10	1
	⑤	2.50	1.50	20	1
	⑥	1.50	1.00	10	3
	⑦	2.50	1.50	15	1
3号	⑧	3.00	2.00	20	1
	⑨	1.50	1.00	10	3
	⑩	2.50	1.50	10	2
	⑪	1.00	0.50	10	4
4号	⑫	1.50	1.50	10	1
	⑬	2.50	2.00	10	1
5号	⑭	2.00	1.50	15	1
	⑮	1.50	1.00	10	2
	⑯	2.50	1.50	20	5
6号	⑰	1.50	1.00	10	4
	⑱	2.00	1.50	10	2
	⑲	2.00	1.00	10	2
	⑳	1.00	1.00	10	4
7号	㉑	7.00	3.00	35	1
	㉒	1.50	1.00	10	3
	㉓	1.00	0.50	10	2
	㉔	1.50	1.00	10	2
8号	㉕	2.00	1.50	10	2
9号	㉖	3.00	1.50	10	1
	㉗	1.00	1.00	10	3
	㉘	2.00	1.50	10	1
	㉙	1.00	1.00	10	6
	㉚	3.00	1.50	15	1
	㉛	2.00	1.50	15	2
	㉜	1.00	1.00	10	2
10号	㉝	1.50	0.50	10	2
	㉞	2.50	2.00	15	1

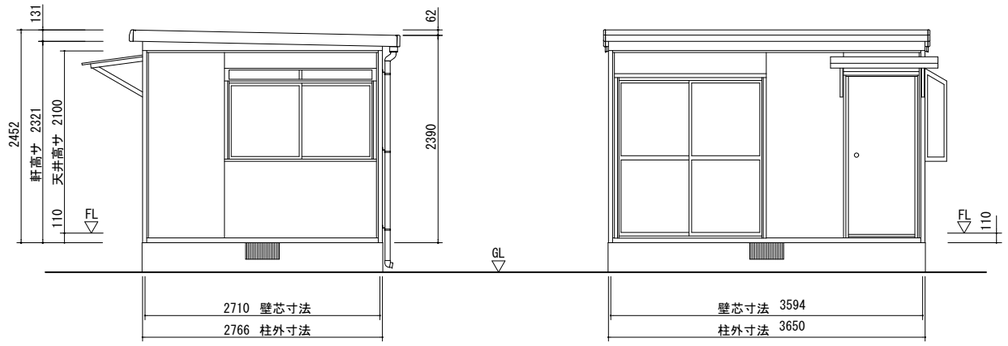
変更日・・・・変更事項（△変更マーク　月 / 日）
NOTE
凡例

SAKURA ArchitectsCo.,ltd.
さくら建築設計 株式会社
広島市東区牛田早稲田1-22-13
一級建築士事務所登録 21（1）第0232号
一級建築士登録 第188696号　正木　繁康
Checked 一級建築士登録 第243707号 氏名　中畠義行
Drawn

市営宮浦住宅解体工事　設計図
樹木撤去図
DATE 2022/3/31
SCALE 1/300
JOB 20080
No. G 004

図画：Ａ２（縮尺：Ａ１→141%、Ａ３→71%）

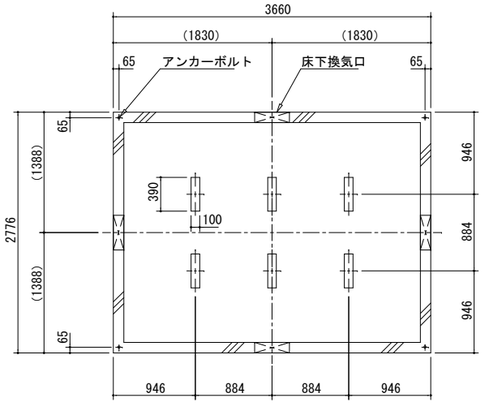
(イ) プレハブ（１ヶ所） 1:50



側面立面図　　正面立面図

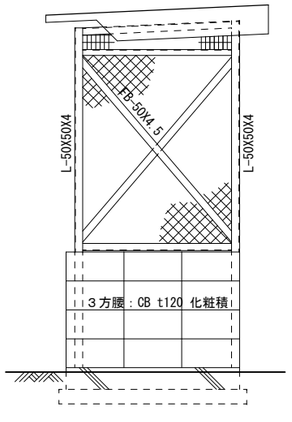
構造耐力上主要な部分以外の部材

部材表	形状	板厚	使用材料
屋根	ヨドルーフ88 4mm発泡ポリエチレン貼り	0.5mm	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 OGLCC
下枠	77 x 55	1.0mm	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 OGLCC
大引	55 x 60	1.2mm	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 OGLCC
根太	43 x 30	―	南洋材（アピトン）
床	―	12mm	パーティクルボード
壁（内壁）	―	32mm	繊維板
壁（芯材）	―		発泡ポリウレタンフォーム
壁（外壁）	―		塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板（エンボス）
壁（間柱）	⊂ ― 44 x 27	1.2mm	JIS G3321 溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 SGLCC
鼻隠し・トイ	―	0.6mm	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 OGLCC
鼻隠しコーナー	―	―	〈 ASA樹脂 〉
天井	―	16.5mm	プリント合板 ⑦ 2.5mm 補強材 ⑦ 14mm
竪トイ	60C	―	塩ビ樹脂
壁（表面）	―	30mm	塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板（エンボス）
フラッシュドア（芯材）			ペーパーハニカム
壁（裏面）			塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板（印刷鋼板）
掃出し	―	―	アルミサッシ
小窓	―	―	アルミサッシ

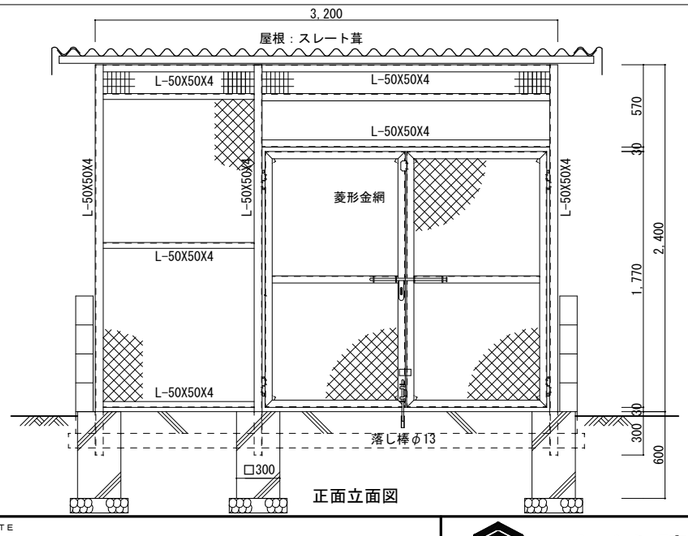


(前)
基礎図

(リ) ゴミ置き場（1ヶ所） 1:30



側面立面図

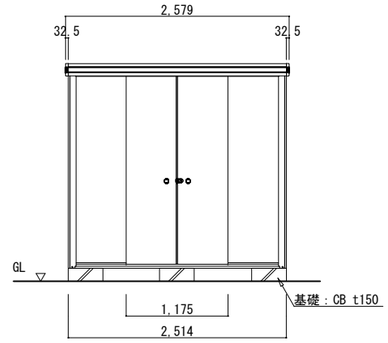


正面立面図

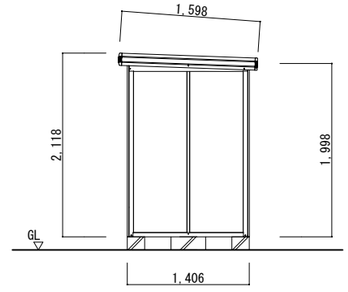
(ト) スチール物置（2ヶ所） 1:50

【主要部材仕様表】

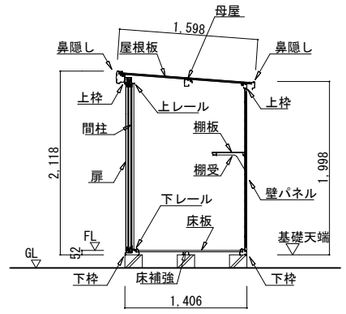
部材名	厚さ(mm)	材質
屋根パネル	0.4	カラーガルバリウム鋼板
母屋	1.2	カラーガルバリウム鋼板
鼻隠し	0.5	カラーガルバリウム鋼板
上レール	1.2	カラーガルバリウム鋼板
下レール	0.8	アルミニウム合金押出形材
柱	0.8	カラーガルバリウム鋼板
壁パネル	0.5	カラーガルバリウム鋼板
袖壁	0.5	カラーガルバリウム鋼板
間柱	1.0	カラーガルバリウム鋼板
床板	0.6	カラーガルバリウム鋼板
床補強	1.2	カラーガルバリウム鋼板
扉	0.6	カラーガルバリウム鋼板
棚板	0.5	カラーガルバリウム鋼板



正面立面図



側面立面図

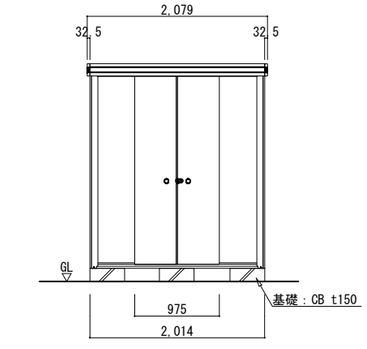


矩計図

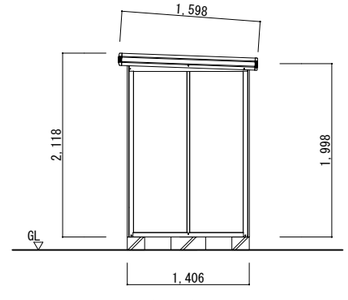
(チ) スチール物置（20ヶ所） 1:50

【主要部材仕様表】

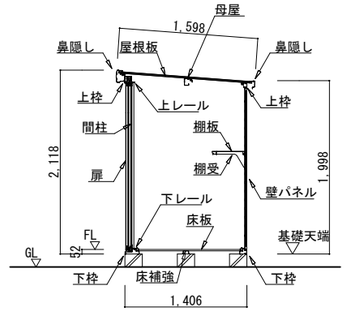
部材名	厚さ(mm)	材質
屋根パネル	0.4	カラーガルバリウム鋼板
母屋	1.2	カラーガルバリウム鋼板
鼻隠し	0.5	カラーガルバリウム鋼板
上レール	1.2	カラーガルバリウム鋼板
下レール	0.8	アルミニウム合金押出形材
柱	0.8	カラーガルバリウム鋼板
壁パネル	0.5	カラーガルバリウム鋼板
袖壁	0.5	カラーガルバリウム鋼板
間柱	1.0	カラーガルバリウム鋼板
床板	0.6	カラーガルバリウム鋼板
床補強	1.2	カラーガルバリウム鋼板
扉	0.6	カラーガルバリウム鋼板
棚板	0.5	カラーガルバリウム鋼板



正面立面図



側面立面図



矩計図

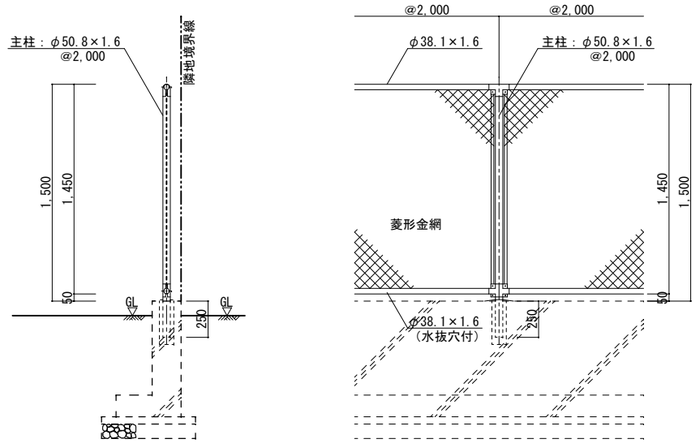
変更日・・・・変更事項(△変更マーク　月 / 日)	NOTE
1 /	凡例
2 /	
3 /	

さくら建築設計 株式会社
SAKURA Architects Co.,ltd.
広島市東区牛田早稲田1-22-13
一級建築士事務所登録 21（1）第0232号
一級建築士登録 第188696号　正木　繁康
Checked 一級建築士登録 第243707号 氏名　中畠義行
Drawn

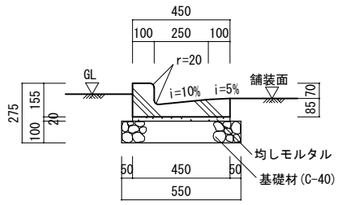
市営宮浦住宅解体工事	設計図	DATE	2022/3/31
	SCALE	JOB	20080
外構撤去詳細図（１）	1/50 1/30	No.	G　005

図面：Ａ２（縮尺：Ａ１→141%、Ａ３→71%）　印刷日付 22' 3' 22'

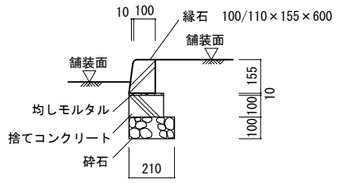
① ＲＣ擁壁　W150（存置）＋ネットフェンス　H1500　1:30



② Ｌ字側溝　W450　1:20



③ 縁石　100/110×155×600　1:20



変更日・・・・変更事項(△変更マーク　月 / 日)	NOTE
△1 /	凡例
△2 /	
△3 /	

SAKURA ArchitectsCo.,ltd.

さくら建築設計 株式会社

広島市東区牛田早稲田1-22-13
一級建築士事務所登録 21（1）第0232号
一級建築士登録 第188696号　正木　繁康

Checked
一級建築士登録
第243707号
氏名　中畠義行

Drawn

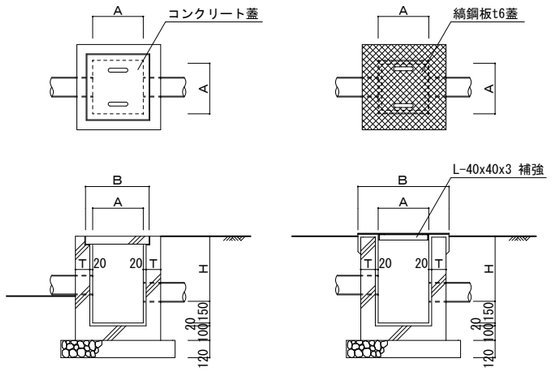
市営宮浦住宅解体工事　設計図

外構撤去詳細図（２）

DATE 2022/3/31
SCALE 1/30 1/20
JOB 20080
No. G 006

図面：Ａ２（縮尺：Ａ１→141%、Ａ３→71%）　印刷日付 22' 3' 22

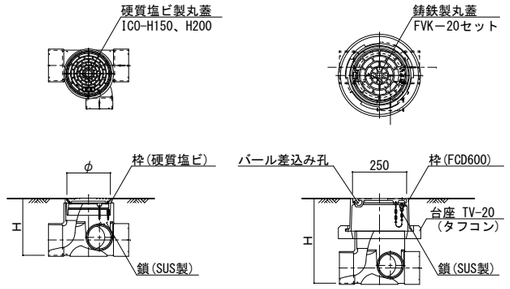
① ～ ⑩　コンクリート雨水桝　1:30



雨水桝寸法表

記号	A x A	H	T	B	備考
①	350	300	100	450	⊡ RC蓋
②	350	400	100	450	⊡ RC蓋
③	350	300	100	450	⊡ RC蓋
④	350	400	100	450	⊡ RC蓋
⑤	400	300	100	500	⊡ RC蓋
⑥	450	400	100	550	⊡ RC蓋
⑦	400	450	100	600	▩ 縞鋼板t6蓋
⑧	400	600	100	600	▩ 縞鋼板t6蓋
⑨	400	750	100	600	▩ 縞鋼板t6蓋
⑩	400	880	100	600	▩ 縞鋼板t6蓋

Ⓐ ～ Ⓔ　アロン桝　1:20



雨水桝（アロン桝）寸法表

番号	桝型番	蓋型番	管底深さ H
Ⓐ	AM100－200　AM　90L	ICO－H200	220
Ⓑ	AM100－200　AM　90L	ICO－H200	300
Ⓒ	AM100－200　AM　90L	ICO－H200	380
Ⓓ	AM100－200　AM　90L	FVK－20セット	600
Ⓔ	SD－N125－200　SD－N　VT	FVK－20セット	

変更日・・・・変更事項(△変更マーク　月 / 日)	NOTE
△1 ／	凡例
△2 ／	
△3 ／	

さくら建築設計 株式会社
SAKURA Architects Co.,ltd.
広島市東区牛田早稲田1-22-13
一級建築士事務所登録 21（1）第0232号
一級建築士登録 第188696号　正木　繁康
Checked 一級建築士登録 第243707号 氏名　中畠義行
Drawn

市営宮浦住宅解体工事	設計図	DATE 2022/3/31
	SCALE	JOB 20080
外構撤去詳細図（３）	1/30 1/20	No. G 007

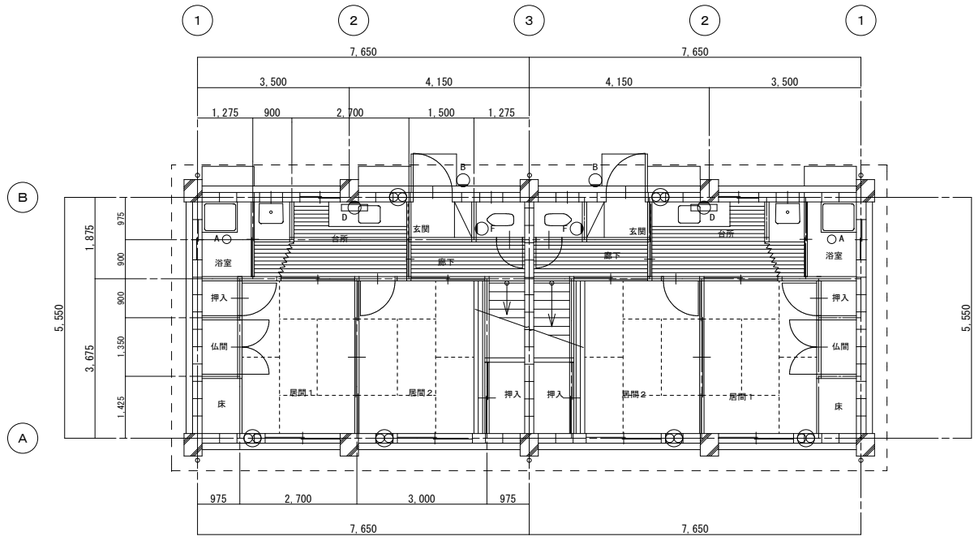
図画：Ａ２（縮尺：Ａ１→141%、Ａ３→71%）　印刷日付 22' 3' 22

配置図　S=1/300

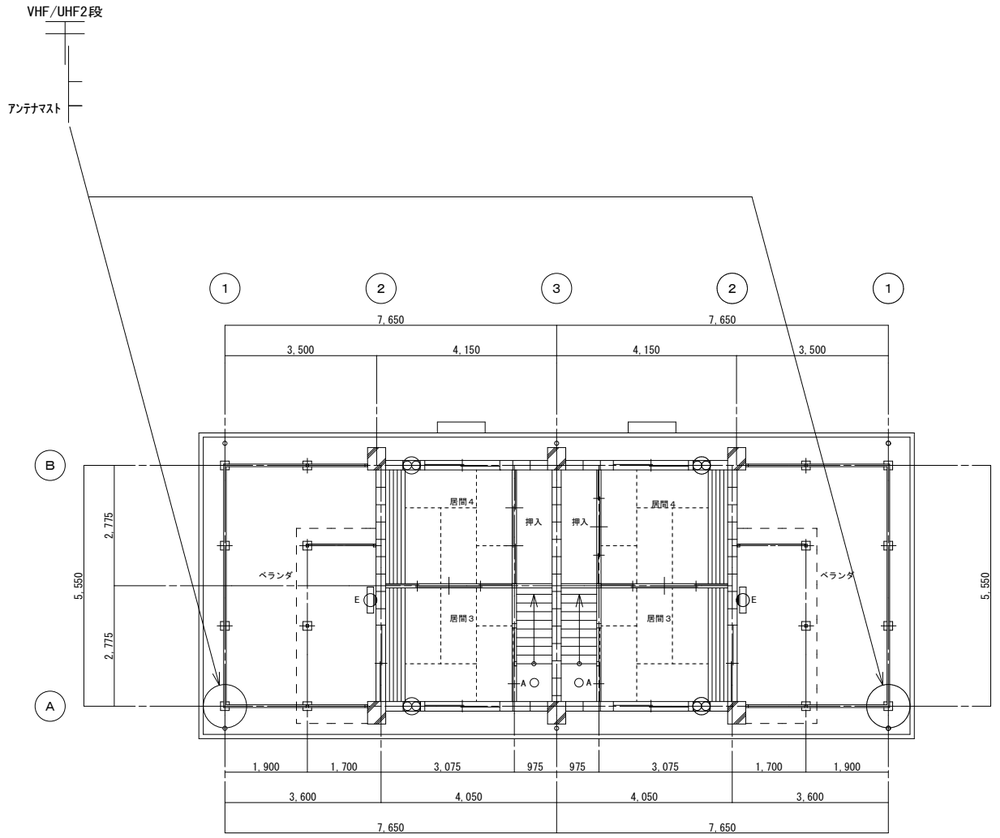
鋼管柱(5.5m)60φ
防犯灯(LED6.3W)
基礎(400□×600H)共

		NOTE	さくら建築設計 株式会社 SAKURA Architects Co.,ltd.	広島市東区牛田早稲田1-22-13 一級建築士事務所登録 21（1）第0232号 一級建築士登録 第188696号　正木　繁康	Checked 一級建築士登録 第243707号 氏名　中畠義行	Drawn	市営宮浦住宅解体工事	設計図 DATE 2022/3/31
		凡例						SCALE 1/300 JOB 20080
							電気設備　配置図(撤去)	No. E 001

図画：Ａ２（縮尺：Ａ１→141%、Ａ３→71%）



1階平面図　S=1/100

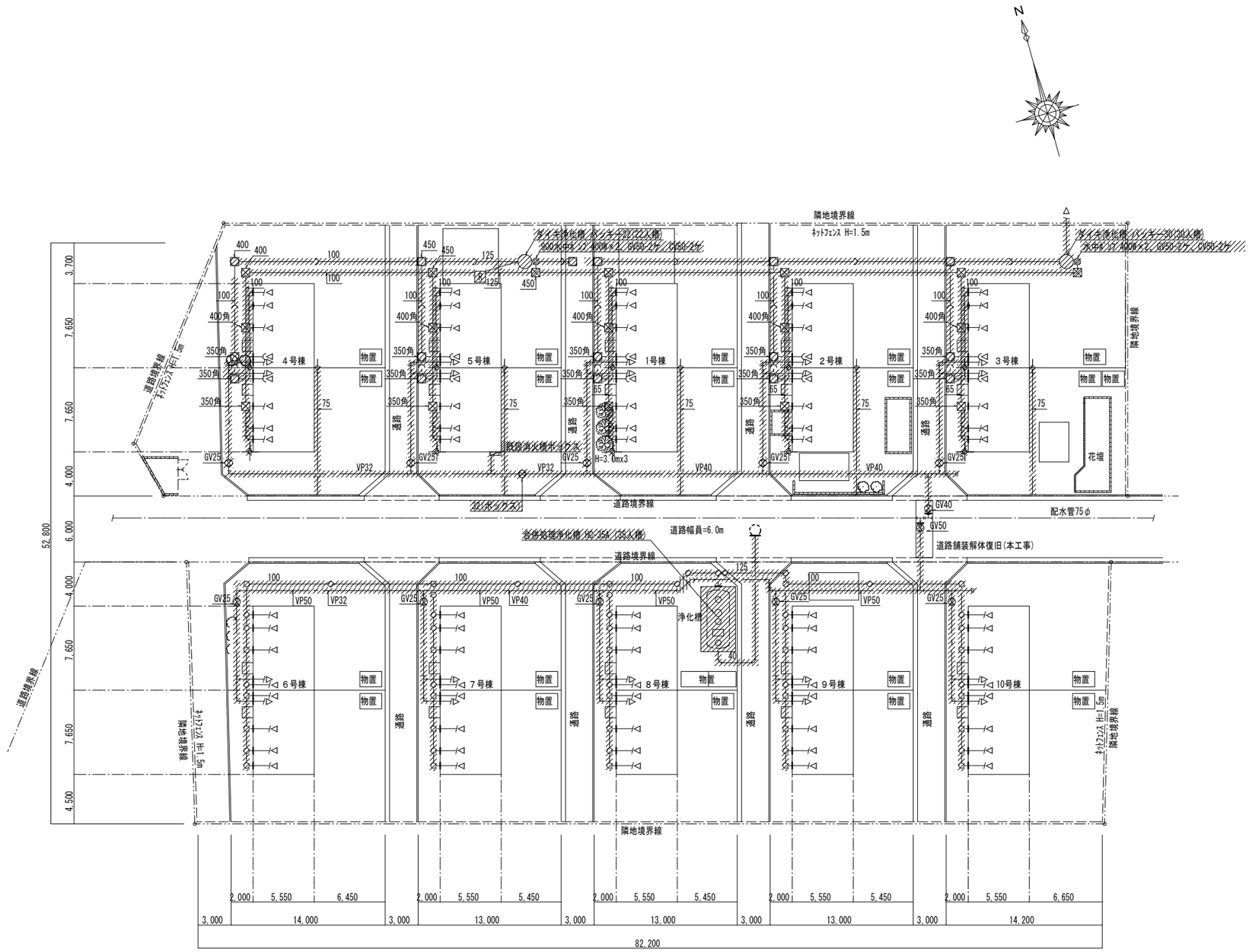


2階平面図　S=1/100

○A	天井直付照明(ｺｯﾌﾟ型,防水型)IL60W×1
◐B	直付ﾌﾞﾗｹｯﾄ(ｺｯﾌﾟ型,防水型)IL10W×1
⊏◯⊐D	直付蛍光灯(流元灯)FL20W×1
⊏◯⊐E	直付ﾌﾞﾗｹｯﾄ(ｶﾊﾞｰ付,防水型)FL20W×1
◐F	両面ﾊﾞﾙﾍﾞｯﾄIL40W×1
⊗	壁付換気扇(15cm)

	変更日・・・・変更事項(△変更マーク　月 / 日)	NOTE	さくら建築設計 株式会社 SAKURA ArchitectsCo.,ltd.	広島市東区牛田早稲田1-22-13 一級建築士事務所登録 21 (1) 第0232号 一級建築士登録 第188696号　正木　繁康	Checked 一級建築士登録 第243707号 氏名　中畠義行	Drawn	市営宮浦住宅解体工事 設計図	DATE 2022/3/31
	△1 /	凡例						SCALE 1/100 JOB 20080
	△2 /						電気設備　各戸平面図(撤去)	No. E 002
	△3 /							

図画：Ａ２（縮尺：Ａ１→141%、Ａ３→71%）



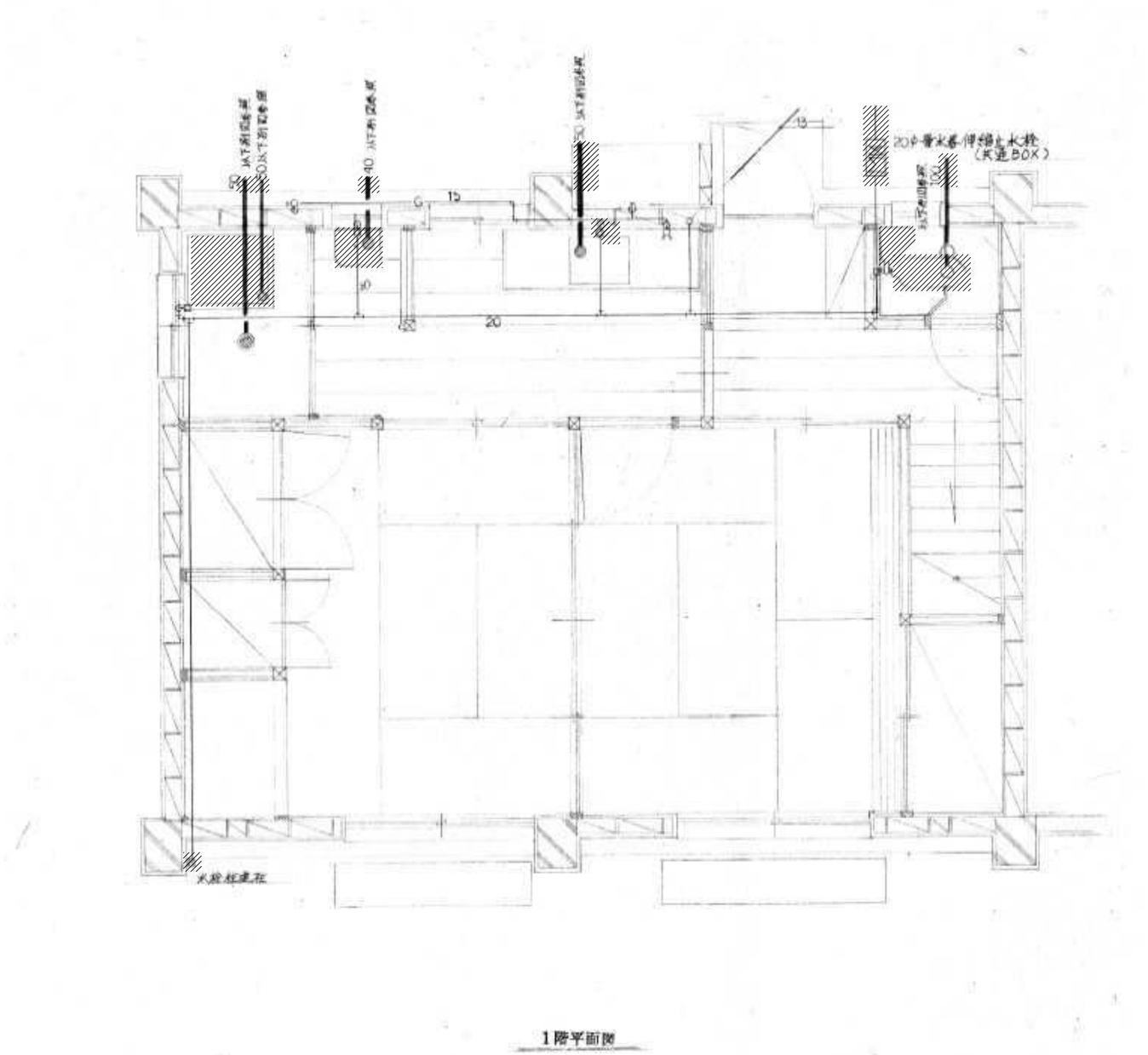
配置図　　S=1/300

凡例・特記事項

1. 図中の機器・器具・配管は既設を示す。
2. ——┼—— 既設管切断又は切離し箇所を示す。（必要に応じてキャップ止めとする）
3. ////////// 撤去を示す。
4. ×××××××× 土中放棄を示す。
5. ガス管の撤去末端処理は広島ガス（株）指定業者によること。また、廃止手続きは受注者にて行うこと。
   給水引込管撤去に伴う、公道舗装解体復旧は本工事とする。

	NOTE	SAKURA Architects Co.,ltd. さくら建築設計 株式会社	広島市東区牛田早稲田1-22-13 一級建築士事務所登録 21（1）第0232号 一級建築士登録 第188696号　正木　繁康	Checked 一級建築士登録 第243707号 氏名　中畠義行	Drawn	市営宮浦住宅解体工事	設計図	DATE 2022/3/31
	凡例						SCALE	JOB 20080
						衛生設備 配置図(撤去)	1/300	No. M-001

図画：Ａ２（縮尺：Ａ１→141%、Ａ３→71%）



1階平面図

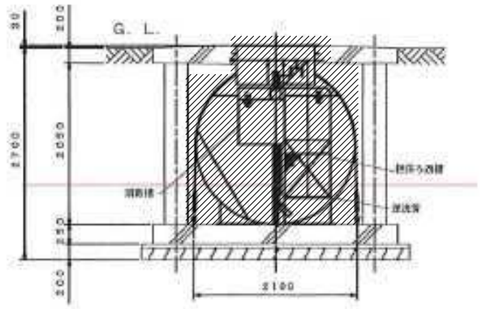
宮浦住宅　撤去品リスト（1～10棟）		
浴槽（FRP製）	MN -42　フタ付	20
洋風大便器	C375　S670（タンク）TS116	20
手洗器	L50D　T205Y　T4A　T22S	20
自在水栓	T30ARY13	40
給水栓	T23A13	20
ホーム水栓	T200Y13	20
量水器	20A	20
伸縮止水栓	20A	20
ルームエアコン	壁掛型　冷房能力　2.2KW相当	18
（室内機）	800L×240D×300H　10kg	
（室外機）	720L×270D×560H　30kg	
	冷媒　R22　550g	

凡例・特記事項

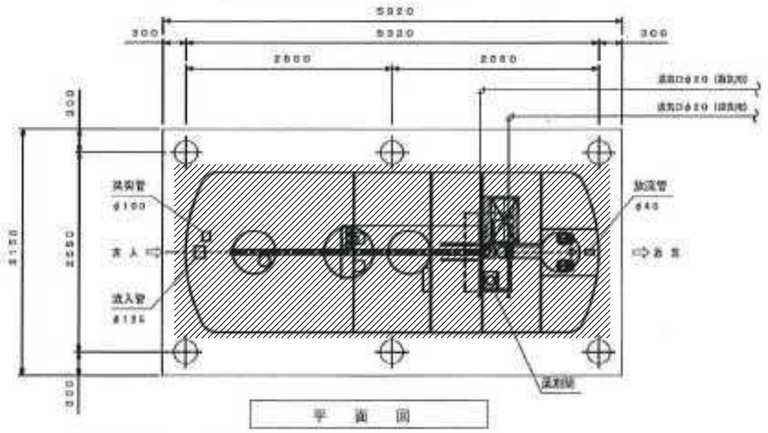
1．図中の機器・器具・配管は既設を示す。
2．既設管切断又は切離し箇所を示す。（必要に応じてキャップ止めとする）
3．撤去を示す。
4．土中放棄を示す。
5．ガス管の撤去末端処理は広島ガス（株）指定業者によること。また、廃止手続きは受注者にて行うこと。

NOTE	さくら建築設計株式会社	広島市東区牛田早稲田1-22-13 一級建築士事務所登録 21（1）第0232号 一級建築士登録 第188696号　正木　繁康	Checked 一級建築士登録 第243707号 氏名　中畠義行	Drawn	市営宮浦住宅解体工事	設計図	DATE	2022/3/31
凡例						SCALE	JOB	20080
					衛生設備 各戸平面図(撤去)	1/30	No.	M-002

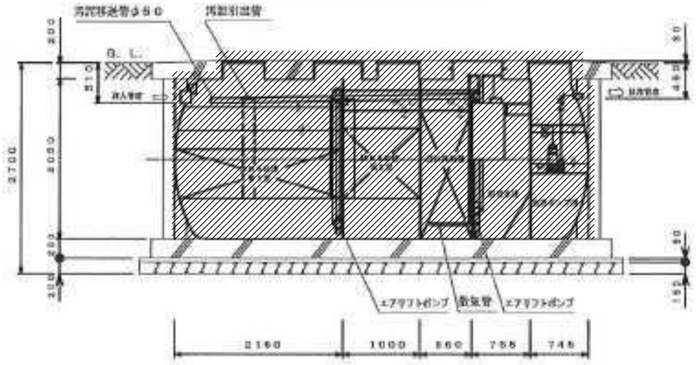
図画：A２（縮尺：A１→141%、A３→71%）



B－B断面図



平　面　図



A－A断面図
(注：カサ上げ　100mm)

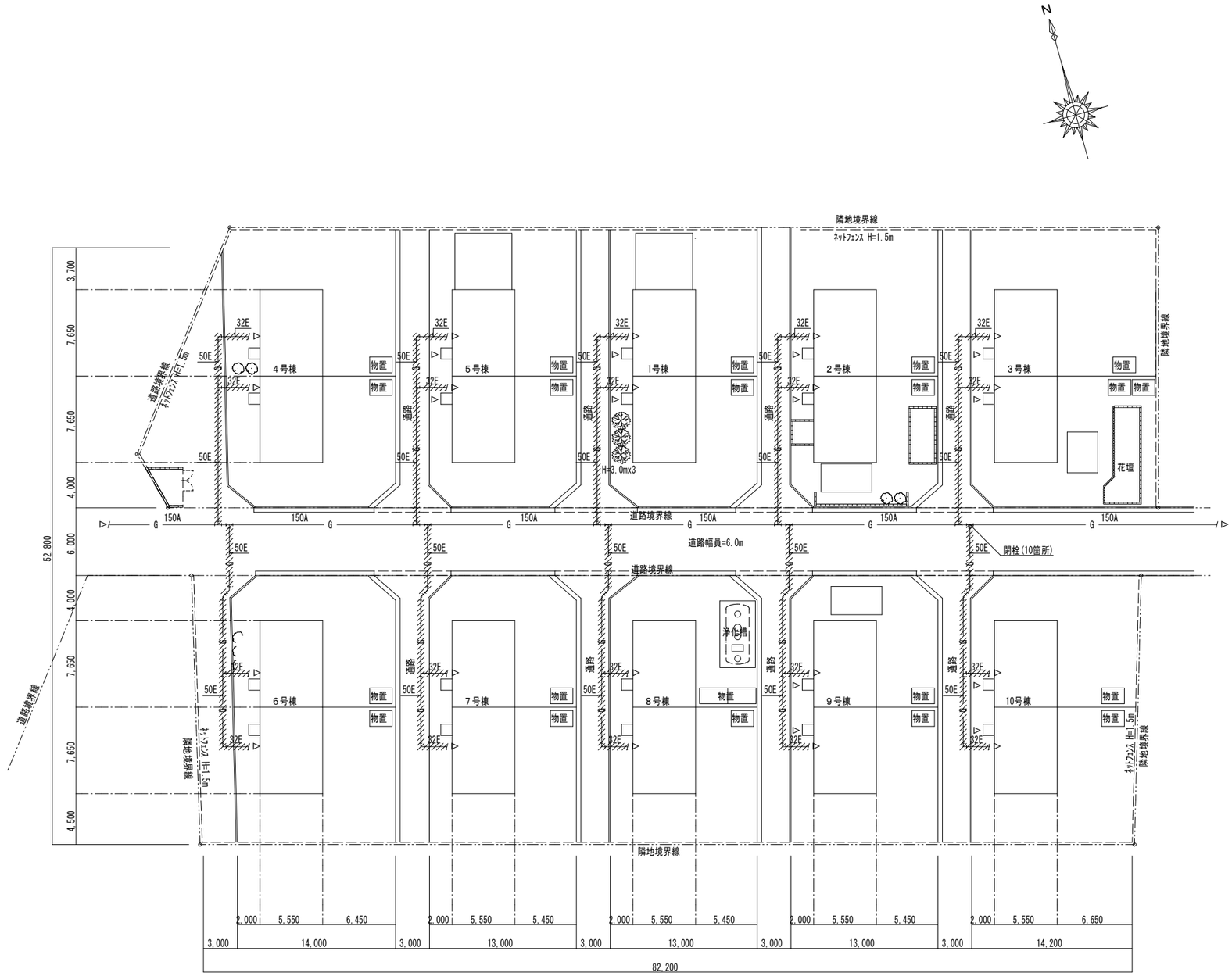
仕　　様	
種類　／　型式	合併処理／HC－35A（D）
処　理　方　法	ピークカット流量調整型嫌気ろ床浄化流動ろ過複合方式
処理対象人員	35　人
一人当り汚水量	0．2　m³／人・日
計画汚水量	7．0　m³／日
流入水BOD濃度	200　mg／L
放流水BOD濃度	20　mg／L
除　去　率	90　%以上
有　効　容　量　　m³	
嫌気ろ床槽第1室	5．695
嫌気ろ床槽第2室	2．830
担体流動槽	1．868
担体ろ過槽	0．253
処理水槽	1．371
消　毒　槽	0．105
放流ポンプ槽	0．506
流量調整部	1．070
電　気　機　器　仕　様	
送　風　機	200L/分×0．03Mpa（0．2kg/cm²） 100／200V．300／300W．2台
放流ポンプ	80L/分×4m×0．15kW×2台 フロートスイッチ付（内蔵）

注）・本図は総重量（車両＋積載重量）20トン以下の施工図です。
・マンホールはレジコン製とする
・本図は浄化槽本体の詳細図であり別紙浄化槽構造図に記載ある図面はそちらを優先する

凡例・特記事項
1．　撤去・搬出処分を示す。
（汚泥抜き取り、清掃含む）
（コンクリート躯体撤去は建築解体工事。）

NOTE	さくら建築設計株式会社	広島市東区牛田早稲田1-22-13 一級建築士事務所登録 21（1）第0232号 一級建築士登録 第188696号　正木　繁康	Checked 一級建築士登録 第243707号 氏名　中畠義行	Drawn	市営宮浦住宅解体工事	設計図	DATE	2022/3/31
凡例						SCALE	JOB	20080
					衛生設備 浄化槽図(撤去)	1/100	No.	M-003

図画：A２（縮尺：A１→141%、A３→71%）



配置図　　S=1/300

管 種 凡 例

図示記号	名　称	仕　様
G OOS	ガス管	配管用炭素鋼鋼管（白）
G OOE	ガス管(土中埋設)	ガス用ポリエチレン管

凡例・特記事項

1．図中の機器・器具・配管は既設を示す。
2．――//――　既設管切断又は切離し箇所を示す。（必要に応じてキャップ止めとする）
3．//////////　撤去を示す。
4．××××××××　土中放棄を示す。
5．ガス管の撤去末端処理は広島ガス（株）指定業者によること。また、廃止手続きは受注者にて行うこと。

NOTE	
凡例	

SAKURA Architects Co.,ltd.

さくら建築設計 株式会社

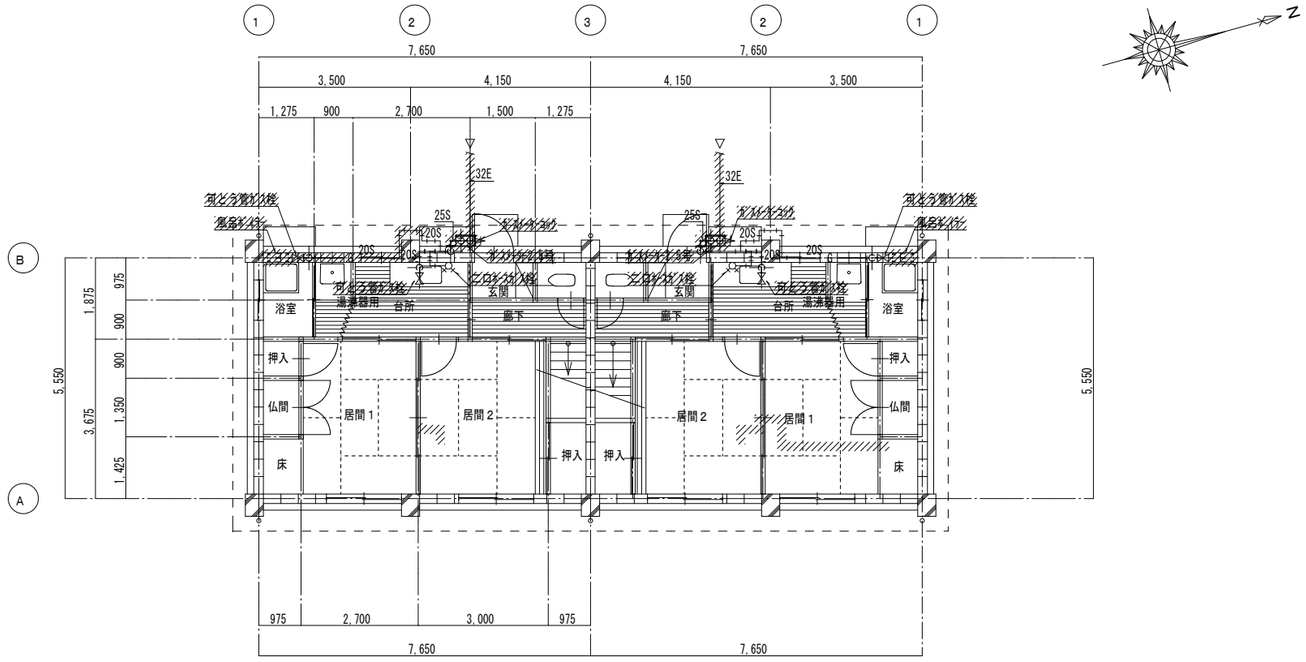
広島市東区牛田早稲田1-22-13
一級建築士事務所登録 21（1）第0232号
一級建築士登録 第188696号　正木　繁康

Checked
一級建築士登録
第243707号
氏名　中畠義行

Drawn

市営宮浦住宅解体工事	設計図	DATE	2022/3/31
		SCALE	JOB 20080
ガス設備　配置図(撤去)	1/300	No.	M-004

図面：Ａ２（縮尺：Ａ１→141%、Ａ３→71%）



1階平面図(標準タイプ)　S=1/100

撤去機器リスト(×10棟)	
可とう管ｶﾞｽ栓15A	4
ニロホースｶﾞｽ栓	2
風呂ﾎﾞｲﾗｰ	2
ｶﾞｽﾒｰﾀｰｺｯｸ	2
ｶﾞｽﾒｰﾀｰ2.5号	2

凡例・特記事項

1. 図中の機器・器具・配管は既設を示す。
2. ——//—— 既設管切断又は切離し箇所を示す。(必要に応じてキャップ止めとする)
3. ////////// 撤去を示す。
4. ×××××××× 土中放棄を示す。

NOTE
凡例

SAKURA Architects Co.,ltd.
さくら建築設計 株式会社
広島市東区牛田早稲田1-22-13
一級建築士事務所登録 21 (1) 第0232号
一級建築士登録 第188696号　正木　繁康
Checked 一級建築士登録 第243707号 氏名　中畠義行
Drawn

市営宮浦住宅解体工事	設計図	DATE	2022/3/31
		SCALE	JOB 20080
ガス設備　各戸平面図(撤去)	1/100	No.	M-005

図画：Ａ２（縮尺：Ａ１→141%、Ａ３→71%）

参　考　数　量　書

工　事　名　称　　元宮浦住宅解体工事

工　事　場　所　　三原市宮浦五丁目

［工　事　概　要］

用途、構造、面積	市営住宅、鉄筋コンクリート造２階建て、床面積１,298．7㎡（計10棟）
工　事　範　囲	解体工事一式
別 途 発 注 工 事	無　し
工　　期	契約締結日の翌日　～　令和8年2月26日
一　般　事　項	

《 工事予算内訳 》　　合　計　金　額

〈内　　訳〉

区　　分	金　　額	概　　要
設　計　金　額		
消　費　税　額		
合　計　金　額		

工事費内訳

名　　称	数　　量	単位	金　　額	備　　考
直接工事費				
建築工事	1	式		
計				
共通費				
共通仮設費	1	式		
現場管理費	1	式		
一般管理費等	1	式		
計				
工事価格	1	式		
消費税等相当額	1	式		消費税率 10 %
工事費	1	式		

工事種別内訳

名　　称	数　　量	単位	金　　額	備　　考
解体工事	1	式		
計				

解体工事　種目別内訳

名　　称	数　　量	単位	金　　額	備　　考
1号棟解体（改良住宅）	1	式		
2号棟解体（改良住宅）	1	式		
3号棟解体（改良住宅）	1	式		
4号棟解体（公営住宅）	1	式		
5号棟解体（公営住宅）	1	式		
6号棟解体（公営住宅）	1	式		
7号棟解体（公営住宅）	1	式		
8号棟解体（公営住宅）	1	式		
9号棟解体（公営住宅）	1	式		
10号棟解体（公営住宅）	1	式		
計				

解体工事　科目別内訳

1号棟解体（改良住宅）

名　　称	数　　量	単位	金　　額	備　　考
直接仮設	1	式		
住宅棟解体撤去	1	式		
屋外解体撤去	1	式		
電気設備解体撤去	1	式		
機械設備解体撤去	1	式		
発生材処理	1	式		
整地	1	式		
計				

解体工事　科目別内訳

2号棟解体（改良住宅）

名　　称	数　　量	単位	金　　額	備　　考
直接仮設	1	式		
住宅棟解体撤去	1	式		
屋外解体撤去	1	式		
電気設備解体撤去	1	式		
機械設備解体撤去	1	式		
発生材処理	1	式		
整地	1	式		
計				

解体工事　科目別内訳

3号棟解体（改良住宅）

名　　称	数　　量	単位	金　　額	備　　考
直接仮設	1	式		
住宅棟解体撤去	1	式		
屋外解体撤去	1	式		
電気設備解体撤去	1	式		
機械設備解体撤去	1	式		
発生材処理	1	式		
整地	1	式		
計				

解体工事　科目別内訳

4号棟解体（公営住宅）

名　　称	数　　量	単位	金　　額	備　　考
直接仮設	1	式		
住宅棟解体撤去	1	式		
屋外解体撤去	1	式		
電気設備解体撤去	1	式		
機械設備解体撤去	1	式		
発生材処理	1	式		
整地	1	式		
計				

解体工事　科目別内訳

5号棟解体（公営住宅）

名　　称	数　　量	単位	金　　額	備　　考
直接仮設	1	式		
住宅棟解体撤去	1	式		
屋外解体撤去	1	式		
電気設備解体撤去	1	式		
機械設備解体撤去	1	式		
発生材処理	1	式		
整地	1	式		
計				

解体工事　科目別内訳

6号棟解体（公営住宅）

名　　称	数　　量	単位	金　　額	備　　考
直接仮設	1	式		
住宅棟解体撤去	1	式		
屋外解体撤去	1	式		
電気設備解体撤去	1	式		
機械設備解体撤去	1	式		
発生材処理	1	式		
整地	1	式		
計				

解体工事　科目別内訳

7号棟解体（公営住宅）

名　　称	数　　量	単位	金　　額	備　　考
直接仮設	1	式		
住宅棟解体撤去	1	式		
屋外解体撤去	1	式		
電気設備解体撤去	1	式		
機械設備解体撤去	1	式		
発生材処理	1	式		
整地	1	式		
計				

解体工事　科目別内訳

8号棟解体（公営住宅）

名　　称	数　　量	単位	金　　額	備　　考
直接仮設	1	式		
住宅棟解体撤去	1	式		
屋外解体撤去	1	式		
電気設備解体撤去	1	式		
機械設備解体撤去	1	式		
発生材処理	1	式		
整地	1	式		
計				

解体工事　科目別内訳

9号棟解体（公営住宅）

名　　称	数　　量	単位	金　　額	備　　考
直接仮設	1	式		
住宅棟解体撤去	1	式		
屋外解体撤去	1	式		
電気設備解体撤去	1	式		
機械設備解体撤去	1	式		
発生材処理	1	式		
整地	1	式		
計				

解体工事　科目別内訳

10号棟解体（公営住宅）

名　　称	数　　量	単位	金　　額	備　　考
直接仮設	1	式		
住宅棟解体撤去	1	式		
屋外解体撤去	1	式		
電気設備解体撤去	1	式		
機械設備解体撤去	1	式		
発生材処理	1	式		
整地	1	式		
計				

解体工事　中科目別内訳

1号棟解体（改良住宅）

科目名称	中科目名称	数量	単位	金額	備考
直接仮設		1	式		
計					
住宅棟解体撤去		1	式		
計					
屋外解体撤去		1	式		
計					
電気設備解体撤去	電灯設備	1	式		
電気設備解体撤去	弱電設備	1	式		
電気設備解体撤去	外構	1	式		
計					
機械設備解体撤去	衛生設備撤去	1	式		
機械設備解体撤去	ガス設備撤去	1	式		
計					
発生材処理	発生材運搬	1	式		
発生材処理	発生材処分	1	式		

解体工事　中科目別内訳

1号棟解体（改良住宅）

科目名称	中科目名称	数量	単位	金額	備考
計					
整地		1	式		
計					

解体工事　中科目別内訳

2号棟解体（改良住宅）

科目名称	中科目名称	数量	単位	金額	備考
直接仮設		1	式		
計					
住宅棟解体撤去		1	式		
計					
屋外解体撤去		1	式		
計					
電気設備解体撤去	電灯設備	1	式		
電気設備解体撤去	弱電設備	1	式		
計					
機械設備解体撤去	衛生設備撤去	1	式		
機械設備解体撤去	ガス設備撤去	1	式		
計					
発生材処理	発生材運搬	1	式		
発生材処理	発生材処分	1	式		
計					

解体工事　中科目別内訳

2号棟解体（改良住宅）

科目名称	中科目名称	数量	単位	金額	備考
整地		1	式		
計					

解体工事　中科目別内訳

3号棟解体（改良住宅）

科目名称	中科目名称	数量	単位	金額	備考
直接仮設		1	式		
計					
住宅棟解体撤去		1	式		
計					
屋外解体撤去		1	式		
計					
電気設備解体撤去	電灯設備	1	式		
電気設備解体撤去	弱電設備	1	式		
電気設備解体撤去	外構	1	式		
計					
機械設備解体撤去	衛生設備撤去	1	式		
機械設備解体撤去	ガス設備撤去	1	式		
機械設備解体撤去	浄化槽撤去	1	式		
計					
発生材処理	発生材運搬	1	式		

解体工事　中科目別内訳

3号棟解体（改良住宅）

科目名称	中科目名称	数量	単位	金額	備考
発生材処理	発生材処分	1	式		
計					
整地		1	式		
計					

解体工事　中科目別内訳

4号棟解体（公営住宅）

科目名称	中科目名称	数量	単位	金額	備考
直接仮設		1	式		
計					
住宅棟解体撤去		1	式		
計					
屋外解体撤去		1	式		
計					
電気設備解体撤去	電灯設備	1	式		
電気設備解体撤去	弱電設備	1	式		
電気設備解体撤去	外構	1	式		
計					
機械設備解体撤去	衛生設備撤去	1	式		
機械設備解体撤去	ガス設備撤去	1	式		
計					
発生材処理	発生材運搬	1	式		
発生材処理	発生材処分	1	式		

解体工事　中科目別内訳

4号棟解体（公営住宅）

科目名称	中科目名称	数量	単位	金額	備考
計					
整地		1	式		
計					

解体工事　中科目別内訳

5号棟解体（公営住宅）

科目名称	中科目名称	数量	単位	金額	備考
直接仮設		1	式		
計					
住宅棟解体撤去		1	式		
計					
屋外解体撤去		1	式		
計					
電気設備解体撤去	電灯設備	1	式		
電気設備解体撤去	弱電設備	1	式		
計					
機械設備解体撤去	衛生設備撤去	1	式		
機械設備解体撤去	ガス設備撤去	1	式		
機械設備解体撤去	浄化槽撤去	1	式		
計					
発生材処理	発生材運搬	1	式		
発生材処理	発生材処分	1	式		

解体工事　中科目別内訳

5号棟解体（公営住宅）

科目名称	中科目名称	数量	単位	金額	備考
計					
整地		1	式		
計					

解体工事　中科目別内訳

6号棟解体（公営住宅）

科目名称	中科目名称	数量	単位	金額	備考
直接仮設		1	式		
計					
住宅棟解体撤去		1	式		
計					
屋外解体撤去		1	式		
計					
電気設備解体撤去	電灯設備	1	式		
電気設備解体撤去	弱電設備	1	式		
計					
機械設備解体撤去	衛生設備撤去	1	式		
機械設備解体撤去	ガス設備撤去	1	式		
計					
発生材処理	発生材運搬	1	式		
発生材処理	発生材処分	1	式		
計					

解体工事　中科目別内訳

6号棟解体（公営住宅）

科目名称	中科目名称	数量	単位	金額	備考
整地		1	式		
計					

解体工事　中科目別内訳

7号棟解体（公営住宅）

科目名称	中科目名称	数量	単位	金額	備考
直接仮設		1	式		
計					
住宅棟解体撤去		1	式		
計					
屋外解体撤去		1	式		
計					
電気設備解体撤去	電灯設備	1	式		
電気設備解体撤去	弱電設備	1	式		
電気設備解体撤去	外構	1	式		
計					
機械設備解体撤去	衛生設備撤去	1	式		
機械設備解体撤去	ガス設備撤去	1	式		
計					
発生材処理	発生材運搬	1	式		
発生材処理	発生材処分	1	式		

解体工事　中科目別内訳

7号棟解体（公営住宅）

科目名称	中科目名称	数量	単位	金額	備考
計					
整地		1	式		
計					

解体工事　中科目別内訳

8号棟解体（公営住宅）

科目名称	中科目名称	数量	単位	金額	備考
直接仮設		1	式		
計					
住宅棟解体撤去		1	式		
計					
屋外解体撤去		1	式		
計					
電気設備解体撤去	電灯設備	1	式		
電気設備解体撤去	弱電設備	1	式		
計					
機械設備解体撤去	衛生設備撤去	1	式		
機械設備解体撤去	ガス設備撤去	1	式		
機械設備解体撤去	浄化槽撤去	1	式		
計					
発生材処理	発生材運搬	1	式		
発生材処理	発生材処分	1	式		

解体工事　中科目別内訳

8号棟解体（公営住宅）

科目名称	中科目名称	数量	単位	金額	備考
計					
整地		1	式		
計					

解体工事　中科目別内訳

9号棟解体（公営住宅）

科目名称	中科目名称	数量	単位	金額	備考
直接仮設		1	式		
計					
住宅棟解体撤去		1	式		
計					
屋外解体撤去		1	式		
計					
電気設備解体撤去	電灯設備	1	式		
電気設備解体撤去	弱電設備	1	式		
電気設備解体撤去	外構	1	式		
計					
機械設備解体撤去	衛生設備撤去	1	式		
機械設備解体撤去	ガス設備撤去	1	式		
計					
発生材処理	発生材運搬	1	式		
発生材処理	発生材処分	1	式		

解体工事　中科目別内訳

9号棟解体（公営住宅）

科目名称	中科目名称	数量	単位	金額	備考
計					
整地		1	式		
計					

解体工事　中科目別内訳

10号棟解体（公営住宅）

科目名称	中科目名称	数量	単位	金額	備考
直接仮設		1	式		
計					
住宅棟解体撤去		1	式		
計					
屋外解体撤去		1	式		
計					
電気設備解体撤去	電灯設備	1	式		
電気設備解体撤去	弱電設備	1	式		
計					
機械設備解体撤去	衛生設備撤去	1	式		
機械設備解体撤去	ガス設備撤去	1	式		
計					
発生材処理	発生材運搬	1	式		
発生材処理	発生材処分	1	式		
計					

解体工事　中科目別内訳

10号棟解体（公営住宅）

科目名称	中科目名称	数量	単位	金額	備考
整地		1	式		
計					

解体工事　細目別内訳

1号棟解体（改良住宅）　　直接仮設

名　　称	摘　　要	数　　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
(外部足場)						
枠組本足場 (手すり先行方式)	建枠 600×1700　　布枠500×1枚 12m未満 掛払い 賃料 修理費含む	107	㎡			
安全手すり (手すり先行方式)	枠組本足場用 掛払い 賃料 修理費含む	50.3	m			
(内部足場)						
内部足場	階高4.0m以下 脚立足場	8.5	㎡			
(災害防止)						
防音ｼｰﾄ張り	修理費含む	107	㎡			
(仮設材運搬)						
仮設材運搬 (枠組本足場) (手すり先行方式)	建枠幅600	107	㎡			
仮設材運搬 (安全てすり)	枠組本足場用(手すり先行方式)	50.3	m			
仮設材運搬 (内部仕上足場 脚立足場)	2階建	8.5	㎡			
仮設材運搬 (ｼｰﾄ・ﾈｯﾄ類)		107	㎡			
仮設材運搬 (敷鉄板)		9.2	㎡			
計						

解体工事　細目別内訳

1号棟解体（改良住宅）　　住宅棟解体撤去

名　　称	摘　　要	数　　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
既存杭引抜き費	ｵｰｶﾞｰｹｰｼﾝｸﾞ工法 PC杭　Φ300　L=13.0m（16本） 機械組立解体費共　機械運搬共 (杭集積まで)	1	式			
杭穴埋戻材	再生切込砕石材	14.7	m3			
杭材小割	PC杭　Φ300　L=13.0m	16	本			
機械解体	鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ　　地中部分	30.9	m3			
機械解体	鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ　　地上部分	48.6	m3			
機械解体	床ｺﾝｸﾘｰﾄ 15cm以下	1.8	m3			
機械解体	ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ 地上部分	19	m3			
機械解体	無筋ｺﾝｸﾘｰﾄ　　基礎	1.8	m3			
鉄筋切断	集積共	90.7	m3			
砂利地業撤去	集積共	7.5	m3			
物干上屋解体	人力･機械併用	17.8	㎡			
ｱｽﾍﾞｽﾄ成形板撤去	物干腰壁 石綿板 t=5.0 集積共	2.9	㎡			
ｱｽﾍﾞｽﾄ成形板撤去	天井石綿板 t=5 集積共	8.5	㎡			
内部造作材解体撤去	共同住宅	130	㎡			

解体工事　細目別内訳

1号棟解体（改良住宅）		住宅棟解体撤去				
名　　称	摘　　要	数　　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
とりこわし機械運搬 (ﾍﾞｰｽﾏｼﾝ,ﾊﾞｯｸﾎｳ)	排出ｶﾞｽ対策型 油圧式ｸﾛｰﾗ型0.5m3	1	往復			
計						

解体工事　細目別内訳

1号棟解体（改良住宅）		屋外解体撤去				
名　　称	摘　　要	数　　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
木造車庫上屋解体	人力･機械併用	17.5	㎡			
物置撤去	2.014m×1.406m	2	棟			
ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装撤去	50mm	65.1	㎡			
舗装路盤材撤去	集積共	9.8	m3			
縁石撤去	100/110×155×600	25.4	m			
L型側溝撤去	W=450	25.6	m			
ｺﾝｸﾘｰﾄ雨水桝撤去	内寸350角　H=350　t=100 ｺﾝｸﾘｰﾄ蓋	2	か所			
ｺﾝｸﾘｰﾄ雨水桝撤去	内寸400角　H=450　t=100 縞鋼板蓋	1	か所			
埋設雨水排水管撤去	VP　φ65	17.4	m			
埋設雨水排水管撤去	VP　φ100	19.6	m			
伐採抜根	幹周15cm未満　　人力	5	本			
伐採抜根	幹周15～25cm未満 人力	2	本			
伐採抜根	幹周25～40cm未満 機械併用	3	本			
計						

解体工事　細目別内訳

1号棟解体（改良住宅）	電気設備解体撤去			電灯設備		
名　　称	摘　　要	数　　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
照明器具　A 撤去	天井直付(ｺｯﾌﾟ型・防水型) IL60W×1	4	個			
照明器具　B 撤去	直付ﾌﾞﾗｹｯﾄ(ｶﾊﾞｰ付・防水型) FL10W×1	2	個			
照明器具　D 撤去	直付(流元灯) FL20W×1	2	個			
照明器具　E 撤去	直付ﾌﾞﾗｹｯﾄ(ｶﾊﾞｰ付・防水型) FL20W×1	2	個			
照明器具　F 撤去	両面ﾊﾞﾙﾍﾞｯﾄ IL40W×1	2	個			
壁付換気扇 撤去	15cm	10	個			
計						

解体工事　細目別内訳

1号棟解体（改良住宅）	電気設備解体撤去			弱電設備		
名　　称	摘　　要	数　　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
TVｱﾝﾃﾅ 撤去	2段	2	組			
ｱﾝﾃﾅﾏｽﾄ 撤去	側面型	2	基			
計						

解体工事　細目別内訳

1号棟解体（改良住宅）	電気設備解体撤去			外構		
名　　称	摘　　要	数　　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
構内配電線路設備						
鋼管柱 撤去	(5.5m)60φ	1	本			
鋼管柱基礎 撤去	400×400×600 掘方埋戻し・山砂含む	1	基			
照明器具 撤去	防犯灯(LED6.3W)	1	個			
計						

解体工事　細目別内訳

1号棟解体（改良住宅）	機械設備解体撤去			衛生設備撤去		
名　　称	摘　　要	数　　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
機器・器具撤去						
(衛生器具類)						
和風便器撤去	再使用しない ﾛｰﾀﾝｸ　紙巻器共	2	組			
洗面器撤去	再使用しない	2	組			
浴槽撤去	再使用しない 800×700×650H	2	台			
自在水栓撤去	再使用しない 単水栓　13A	4	個			
横水栓撤去	再使用しない 単水栓　13A	2	個			
ﾎｰﾑ水栓撤去	再使用しない 単水栓　13A	2	個			
小計						
配管撤去						
(給水管撤去)						
給水・硬質塩化 ﾋﾞﾆﾙ管撤去(VP)	再使用しない 地中配管　30A	16	m			
給水・硬質塩化 ﾋﾞﾆﾙ管撤去(VP)	再使用しない 地中配管　25A	9	m			
給水・硬質塩化 ﾋﾞﾆﾙ管撤去(VP)	再使用しない 地中配管　20A	2	m			
(排水管撤去)						

解体工事　細目別内訳

1号棟解体（改良住宅）	機械設備解体撤去				衛生設備撤去	
名　　称	摘　　要	数　　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
排水・硬質塩化ﾋﾞﾆﾙ管撤去(VP)	再使用しない 地中配管　100A	49	m			
排水・硬質塩化ﾋﾞﾆﾙ管撤去(VP)	再使用しない 地中配管　75A	19	m			
排水・硬質塩化ﾋﾞﾆﾙ管撤去(VP)	再使用しない 地中配管　65A	7	m			
排水・硬質塩化ﾋﾞﾆﾙ管撤去(VP)	再使用しない 地中配管　50A	11	m			
排水・硬質塩化ﾋﾞﾆﾙ管撤去(VP)	再使用しない 地中配管　40A	2	m			
配管切断		1	式			
土工事	配管撤去用	1	式			
小計						
配管付属品撤去						
量水器撤去	再使用しない 20A	2	個			
伸縮止水栓撤去	再使用しない 20A	2	個			
ｹﾞｰﾄﾊﾞﾙﾌﾞ撤去	再使用しない 25A	1	個			
量水器ﾎﾞｯｸｽ撤去	再使用しない 20A	2	個			
ﾊﾞﾙﾌﾞﾎﾞｯｸｽ撤去	再使用しない	1	個			
ｲﾝﾊﾞｰﾄ桝撤去	再使用しない ｺﾝｸﾘｰﾄ桝　350×350　蓋共	2	組			

解体工事　細目別内訳

1号棟解体（改良住宅）	機械設備解体撤去				衛生設備撤去	
名　　称	摘　　要	数　　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
ｲﾝﾊﾞｰﾄ桝撤去	再使用しない ｺﾝｸﾘｰﾄ桝　400×400　蓋共	1	組			
ため桝撤去	再使用しない ｺﾝｸﾘｰﾄ桝　350×350　蓋共	1	組			
ため桝撤去	再使用しない ｺﾝｸﾘｰﾄ桝　400×400　蓋共	1	組			
土工事	桝撤去用	1	式			
小計						
計						

解体工事　細目別内訳

1号棟解体（改良住宅）	機械設備解体撤去				ガス設備撤去	
名　　称	摘　　要	数　　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
機器・器具・配管撤去						
内管工事		1	式			
器具工事		1	式			
計						

解体工事　細目別内訳

1号棟解体（改良住宅）	発生材処理				発生材運搬	
名　　称	摘　　要	数　　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
ｺﾝｸﾘｰﾄ類集積、積込み	機 械	137	m3			
内装材 積込み	機 械	26.5	m3			
ｱｽﾍﾞｽﾄ含有材積込	人力	0.1	m3			
建設発生土運搬	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ　10t積級 ﾊﾞｯｸﾎｳ0.45m3 土砂 DID区間有り 12.0km以下	19.4	m3			
とりこわし 発生材運搬	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ　10t積級 ﾊﾞｯｸﾎｳ0.45m3 無筋ｺﾝｸﾘｰﾄ類 DID区間有り　5.5km以下	3.3	m3			
とりこわし 発生材運搬	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ　10t積級 ﾊﾞｯｸﾎｳ0.45m3 無筋ｺﾝｸﾘｰﾄ類 DID区間有り　7.0km以下	91.5	m3			
とりこわし 発生材運搬	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ　10t積級 ﾊﾞｯｸﾎｳ0.45m3 無筋ｺﾝｸﾘｰﾄ類 DID区間有り　5.5km以下	17.4	m3			
とりこわし 発生材運搬	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ　10t積級 ﾊﾞｯｸﾎｳ0.45m3 無筋ｺﾝｸﾘｰﾄ類 DID区間有り　5.5km以下	19.1	m3			
とりこわし 発生材運搬	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ　10t積級 ﾊﾞｯｸﾎｳ0.45m3 無筋ｺﾝｸﾘｰﾄ類 DID区間有り 17.5km以下	5.7	m3			
とりこわし 発生材運搬	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ　2t積級 ﾊﾞｯｸﾎｳ0.13m3 無筋ｺﾝｸﾘｰﾄ類 DID区間有り 24.0km以下	0.5	m3			
とりこわし 発生材運搬	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ　4t積級 ﾊﾞｯｸﾎｳ0.28m3 石こうﾎﾞｰﾄﾞ類 DID区間有り 27.0km以下	2.6	m3			
とりこわし 発生材運搬	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ　10t積級 ﾊﾞｯｸﾎｳ0.45m3 木材類 DID区間有り　9.0km以下	10.5	m3			
とりこわし 発生材運搬	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ　10t積級 ﾊﾞｯｸﾎｳ0.45m3 木材類 DID区間有り 17.5km以下	5.6	m3			
とりこわし 発生材運搬	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ　2t積級 ﾊﾞｯｸﾎｳ0.13m3 石こうﾎﾞｰﾄﾞ類 DID区間有り 24.0km以下	0.8	m3			
とりこわし 発生材運搬	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ　2t積級 人力積込　石こうﾎﾞｰﾄﾞ類 DID区間有り 23.0km以下	0.1	m3			

解体工事　細目別内訳

1号棟解体（改良住宅）	発生材処理			発生材運搬		
名　　称	摘　　要	数　　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
とりこわし 発生材運搬	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ　10t積級 ﾊﾞｯｸﾎｳ0.45m3 － DID区間有り 17.5km以下	1	台			
計						

解体工事　細目別内訳

1号棟解体（改良住宅）	発生材処理			発生材処分		
名　　称	摘　　要	数　　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
建設発生土 （砂利）	10t車	19.4	m3			
ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装材	10t車	7.2	t			
鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ	10t車	220	t			
無筋ｺﾝｸﾘｰﾄ	10t車	36.5	t			
ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ	10t車	28.7	t			
がれき類	10t車	5.7	m3			
ｶﾞﾗｽ・陶磁器類	2t車	0.5	m3			
廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類	4t車	2.6	m3			
建設発生木材	10t車	10.5	m3			

解体工事　細目別内訳

1号棟解体（改良住宅）	発生材処理			発生材処分		
名　　称	摘　　要	数　　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
木くず	10t車	5.6	m3			
廃石膏ﾎﾞｰﾄﾞ	10t車	0.8	m3			
蛍光管 (FL20W以下)		6	本			
ｱｽﾍﾞｽﾄ成形板	2t車	0.1	m3			
(有価鋼材処分)						
ｽｸﾗｯﾌﾟ	ﾍﾋﾞｰ　H2	6	t			
ｽｸﾗｯﾌﾟ	ﾍﾋﾞｰ　H3	0.9	t			
ｽｸﾗｯﾌﾟ	ﾍﾋﾞｰ　H4	0.4	t			
ｽｸﾗｯﾌﾟ	ｱﾙﾐくずﾞ　込みｶﾞﾗ	237	kg			
(産業廃棄物税)						
産業廃棄物税		11.4	t			
計						

解体工事　細目別内訳

1号棟解体（改良住宅）	整地					
名　　称	摘　　要	数　　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
埋戻し(A種)	-　　山砂の類	10	m3			
整地	機械　敷き均し 真砂土　厚100㎜	88	㎡			
計						

解体工事　細目別内訳

2号棟解体（改良住宅）　　直接仮設

名　　称	摘　　要	数　　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
(外部足場)						
枠組本足場 (手すり先行方式)	建枠 600×1700　　布枠500×1枚 12m未満 掛払い 賃料 修理費含む	107	㎡			
安全手すり (手すり先行方式)	枠組本足場用 掛払い 賃料 修理費含む	50.3	m			
(内 部足場)						
内部足場	階高4.0m以下 脚立足場	8.5	㎡			
(災害防止)						
防音ｼｰﾄ張り	修理費含む	107	㎡			
(仮設材運搬)						
仮設材運搬 (枠組本足場) (手すり先行方式)	建枠幅600	107	㎡			
仮設材運搬 (安全てすり)	枠組本足場用(手すり先行方式)	50.3	m			
仮設材運搬 (内部仕上足場 脚立足場)	2階建	8.5	㎡			
仮設材運搬 (ｼｰﾄ・ﾈｯﾄ類)		107	㎡			
計						

解体工事　細目別内訳

2号棟解体（改良住宅）　　住宅棟解体撤去

名　　称	摘　　要	数　　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
既存杭引抜き費	ｵｰｶﾞｰｹｰｼﾝｸﾞ工法 PC杭　Φ300　L=13.0m（16本） 機械組立解体費共　機械運搬共 (杭集積まで)	1	式			
杭穴埋戻材	再生切込砕石材	14.7	m3			
杭材小割	PC杭　Φ300　L=13.0m	16	本			
機械解体	鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ　　地中部分	30.9	m3			
機械解体	鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ　　地上部分	48.6	m3			
機械解体	床ｺﾝｸﾘｰﾄ 15cm以下	1.8	m3			
機械解体	ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ 地上部分	19	m3			
機械解体	無筋ｺﾝｸﾘｰﾄ　　基礎	1.8	m3			
鉄筋切断	集積共	90.7	m3			
砂利地業撤去	集積共	7.5	m3			
物干上屋解体	人力･機械併用	17.8	㎡			
ｱｽﾍﾞｽﾄ成形板撤去	物干腰壁 石綿板 t=5.0 集積共	2.9	㎡			
ｱｽﾍﾞｽﾄ成形板撤去	天井石綿板 t=5 集積共	8.5	㎡			
内部造作材解体撤去	共同住宅	130	㎡			

解体工事　細目別内訳

2号棟解体（改良住宅）		住宅棟解体撤去				
名　　称	摘　　要	数　　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
とりこわし機械運搬 (ﾍﾞｰｽﾏｼﾝ,ﾊﾞｯｸﾎｳ)	排出ｶﾞｽ対策型 油圧式ｸﾛｰﾗ型0.5m3	1	往復			
計						

解体工事　細目別内訳

2号棟解体（改良住宅）		屋外解体撤去				
名　　称	摘　　要	数　　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
木造車庫上屋解体	人力･機械併用	12.5	㎡			
ｱｽﾍﾞｽﾄ成形板撤去	車庫屋根小波ｽﾚｰﾄ撤去	14	㎡			
ﾈｯﾄﾌｪﾝｽ撤去	H=1.2m　基礎共	1	m			
物置撤去	2.014m×1.406m	3	棟			
ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装撤去	50mm	65.1	㎡			
舗装路盤材撤去	集積共	9.8	m3			
縁石撤去	100/110×155×600	25.4	m			
L型側溝撤去	W=450	25.6	m			
ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ1段撤去	厚100	20.4	m			
円柱型花壇ﾌﾞﾛｯｸ撤去	100Φ　H=200	5	m			
ﾚﾝｶﾞ1段積み撤去		10.4	m			
ｺﾝｸﾘｰﾄ雨水桝撤去	内寸350角　H=350　t=100 ｺﾝｸﾘｰﾄ蓋	2	か所			
ｺﾝｸﾘｰﾄ雨水桝撤去	内寸400角　H=600　t=100 縞鋼板蓋	1	か所			
埋設雨水排水管撤去	VP　φ65	17.4	m			
埋設雨水排水管撤去	VP　φ100	3.9	m			

解体工事　細目別内訳

2号棟解体（改良住宅）		屋外解体撤去				
名　　称	摘　　要	数　　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
埋設雨水排水管 撤去	VP　φ125	15.7	m			
伐採抜根	幹周15cm未満　　人力	4	本			
伐採抜根	幹周15～25cm未満　人力	2	本			
計						

解体工事　細目別内訳

2号棟解体（改良住宅）		電気設備解体撤去			電灯設備	
名　　称	摘　　要	数　　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
照明器具　A 撤去	天井直付(ｺｯﾌﾟ型・防水型) IL60W×1	4	個			
照明器具　B 撤去	直付ﾌﾞﾗｹｯﾄ(ｶﾊﾞｰ付・防水型) FL10W×1	2	個			
照明器具　D 撤去	直付(流元灯) FL20W×1	2	個			
照明器具　E 撤去	直付ﾌﾞﾗｹｯﾄ(ｶﾊﾞｰ付・防水型) FL20W×1	2	個			
照明器具　F 撤去	両面ﾊﾞﾙﾍﾞｯﾄ IL40W×1	2	個			
壁付換気扇 撤去	15cm	10	個			
計						

解体工事　細目別内訳

2号棟解体（改良住宅）	電気設備解体撤去			弱電設備		
名　　称	摘　　要	数　　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
TVｱﾝﾃﾅ 撤去	2段	2	組			
ｱﾝﾃﾅﾏｽﾄ 撤去	側面型	2	基			
計						

解体工事　細目別内訳

2号棟解体（改良住宅）	機械設備解体撤去			衛生設備撤去		
名　　称	摘　　要	数　　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
機器・器具撤去						
(衛生器具類)						
和風便器撤去	再使用しない ﾛｰﾀﾝｸ　紙巻器共	2	組			
洗面器撤去	再使用しない	2	組			
浴槽撤去	再使用しない 800×700×650H	2	台			
自在水栓撤去	再使用しない 単水栓　13A	4	個			
横水栓撤去	再使用しない 単水栓　13A	2	個			
ﾎｰﾑ水栓撤去	再使用しない 単水栓　13A	2	個			
小計						
配管撤去						
(給水管撤去)						
給水・硬質塩化 ﾋﾞﾆﾙ管撤去(VP)	再使用しない 地中配管　40A	15	m			
給水・硬質塩化 ﾋﾞﾆﾙ管撤去(VP)	再使用しない 地中配管　25A	9	m			
給水・硬質塩化 ﾋﾞﾆﾙ管撤去(VP)	再使用しない 地中配管　20A	2	m			
(排水管撤去)						

解体工事　細目別内訳

2号棟解体（改良住宅）	機械設備解体撤去				衛生設備撤去	
名　　称	摘　　要	数　　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
排水・硬質塩化ﾋﾞﾆﾙ管撤去(VP)	再使用しない 地中配管　100A	49	m			
排水・硬質塩化ﾋﾞﾆﾙ管撤去(VP)	再使用しない 地中配管　75A	19	m			
排水・硬質塩化ﾋﾞﾆﾙ管撤去(VP)	再使用しない 地中配管　65A	7	m			
排水・硬質塩化ﾋﾞﾆﾙ管撤去(VP)	再使用しない 地中配管　50A	12	m			
排水・硬質塩化ﾋﾞﾆﾙ管撤去(VP)	再使用しない 地中配管　40A	3	m			
配管切断		1	式			
土工事	配管撤去用	1	式			
小計						
配管付属品撤去						
量水器撤去	再使用しない 20A	2	個			
伸縮止水栓撤去	再使用しない 20A	2	個			
ｹﾞｰﾄﾊﾞﾙﾌﾞ撤去	再使用しない 25A	1	個			
量水器ﾎﾞｯｸｽ撤去	再使用しない 20A	2	個			
ﾊﾞﾙﾌﾞﾎﾞｯｸｽ撤去	再使用しない	1	個			
ｲﾝﾊﾞｰﾄ桝撤去	再使用しない ｺﾝｸﾘｰﾄ桝　350×350　蓋共	2	組			

解体工事　細目別内訳

2号棟解体（改良住宅）	機械設備解体撤去				衛生設備撤去	
名　　称	摘　　要	数　　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
ｲﾝﾊﾞｰﾄ桝撤去	再使用しない ｺﾝｸﾘｰﾄ桝　450×450　蓋共	1	組			
ため桝撤去	再使用しない ｺﾝｸﾘｰﾄ桝　350×350　蓋共	1	組			
ため桝撤去	再使用しない ｺﾝｸﾘｰﾄ桝　400×400　蓋共	1	組			
土工事	桝撤去用	1	式			
小計						
計						

解体工事　細目別内訳

2号棟解体（改良住宅）	機械設備解体撤去			ガス設備撤去		
名　　称	摘　　要	数　　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
機器・器具・配管撤去						
内管工事		1	式			
器具工事		1	式			
計						

解体工事　細目別内訳

2号棟解体（改良住宅）	発生材処理			発生材運搬		
名　　称	摘　　要	数　　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
ｺﾝｸﾘｰﾄ類集積、積込み	機 械	137	m3			
内装材 積込み	機 械	26.4	m3			
ｱｽﾍﾞｽﾄ含有材積込	人力	0.2	m3			
建設発生土運搬	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ　10t積級 ﾊﾞｯｸﾎｳ0.45m3 土砂 DID区間有り 12.0km以下	19.4	m3			
とりこわし 発生材運搬	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ　10t積級 ﾊﾞｯｸﾎｳ0.45m3 無筋ｺﾝｸﾘｰﾄ類 DID区間有り　5.5km以下	3.3	m3			
とりこわし 発生材運搬	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ　10t積級 ﾊﾞｯｸﾎｳ0.45m3 無筋ｺﾝｸﾘｰﾄ類 DID区間有り　7.0km以下	91.5	m3			
とりこわし 発生材運搬	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ　10t積級 ﾊﾞｯｸﾎｳ0.45m3 無筋ｺﾝｸﾘｰﾄ類 DID区間有り　5.5km以下	17.4	m3			
とりこわし 発生材運搬	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ　10t積級 ﾊﾞｯｸﾎｳ0.45m3 無筋ｺﾝｸﾘｰﾄ類 DID区間有り　5.5km以下	19.6	m3			
とりこわし 発生材運搬	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ　10t積級 ﾊﾞｯｸﾎｳ0.45m3 無筋ｺﾝｸﾘｰﾄ類 DID区間有り 17.5km以下	5.7	m3			
とりこわし 発生材運搬	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ　2t積級 ﾊﾞｯｸﾎｳ0.13m3 無筋ｺﾝｸﾘｰﾄ類 DID区間有り 24.0km以下	0.5	m3			
とりこわし 発生材運搬	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ　4t積級 ﾊﾞｯｸﾎｳ0.28m3 石こうﾎﾞｰﾄﾞ類 DID区間有り 27.0km以下	2.6	m3			
とりこわし 発生材運搬	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ　10t積級 ﾊﾞｯｸﾎｳ0.45m3 木材類 DID区間有り　9.0km以下	10.4	m3			
とりこわし 発生材運搬	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ　10t積級 ﾊﾞｯｸﾎｳ0.45m3 木材類 DID区間有り 17.5km以下	5.5	m3			
とりこわし 発生材運搬	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ　2t積級 ﾊﾞｯｸﾎｳ0.13m3 石こうﾎﾞｰﾄﾞ類 DID区間有り 24.0km以下	0.8	m3			
とりこわし 発生材運搬	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ　2t積級 人力積込　石こうﾎﾞｰﾄﾞ類 DID区間有り 23.0km以下	0.2	m3			

解体工事　細目別内訳

2号棟解体（改良住宅）	発生材処理			発生材運搬		
名　　称	摘　　要	数　　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
とりこわし 発生材運搬	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ　10t積級 ﾊﾞｯｸﾎｳ0.45m3 － DID区間有り 17.5km以下	1	台			
計						

解体工事　細目別内訳

2号棟解体（改良住宅）	発生材処理			発生材処分		
名　　称	摘　　要	数　　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
建設発生土 （砂利）	10t車	19.4	m3			
ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装材	10t車	7.2	t			
鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ	10t車	220	t			
無筋ｺﾝｸﾘｰﾄ	10t車	36.5	t			
ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ	10t車	29.3	t			
がれき類	10t車	5.7	m3			
ｶﾞﾗｽ・陶磁器類	2t車	0.5	m3			
廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類	4t車	2.6	m3			
建設発生木材	10t車	10.4	m3			

解体工事　細目別内訳

2号棟解体（改良住宅）		発生材処理			発生材処分	
名　　称	摘　　要	数　　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
木くず	10t車	5.5	m3			
廃石膏ﾎﾞｰﾄﾞ	2t車	0.8	m3			
蛍光管 (FL20W以下)		6	本			
ｱｽﾍﾞｽﾄ成形板	2t車	0.2	m3			
(有価鋼材処分)						
ｽｸﾗｯﾌﾟ	ﾍﾋﾞｰ　H2	6	t			
ｽｸﾗｯﾌﾟ	ﾍﾋﾞｰ　H3	0.8	t			
ｽｸﾗｯﾌﾟ	ﾍﾋﾞｰ　H4	0.4	t			
ｽｸﾗｯﾌﾟ	ｱﾙﾐくず　込みｶﾞﾗ	237	kg			
(産業廃棄物税)						
産業廃棄物税		11.5	t			
計						

解体工事　細目別内訳

2号棟解体（改良住宅）		整地				
名　　称	摘　　要	数　　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
埋戻し(A種)	-　　山砂の類	10	m3			
整地	機械　敷き均し 真砂土　厚100㎜	88	㎡			
ﾈｯﾄﾌｪﾝｽ	H=1500　PC基礎:180×180　H=450共 朝日ｽﾁｰﾙ工業 ﾕﾆﾌｪﾝｽA型同等品以上	4	m			
計						

解体工事　細目別内訳

3号棟解体（改良住宅）		直接仮設				
名　　称	摘　　要	数　　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
(外部足場)						
枠組本足場 (手すり先行方式)	建枠 600×1700　　布枠500×1枚 12m未満 掛払い 賃料 修理費含む	107	㎡			
安全手すり (手すり先行方式)	枠組本足場用 掛払い 賃料 修理費含む	50.3	m			
(内 部足場)						
内部足場	階高4.0m以下 脚立足場	8.5	㎡			
(災害防止)						
防音ｼｰﾄ張り	修理費含む	107	㎡			
(仮設材運搬)						
仮設材運搬 (枠組本足場) (手すり先行方式)	建枠幅600	107	㎡			
仮設材運搬 (安全てすり)	枠組本足場用(手すり先行方式)	50.3	m			
仮設材運搬 (内部仕上足場 脚立足場)	2階建	8.5	㎡			
仮設材運搬 (ｼｰﾄ・ﾈｯﾄ類)		107	㎡			
仮設材運搬 (敷鉄板)		9.2	㎡			
計						

解体工事　細目別内訳

3号棟解体（改良住宅）		住宅棟解体撤去				
名　　称	摘　　要	数　　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
既存杭引抜き費	ｵｰｶﾞｰｹｰｼﾝｸﾞ工法 PC杭　Φ300　L=13.0m（16本） 機械組立解体費共　機械運搬共 (杭集積まで)	1	式			
杭穴埋戻材	再生切込砕石材	14.7	m3			
杭材小割	PC杭　Φ300　L=13.0m	16	本			
機械解体	鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ　　地中部分	30.9	m3			
機械解体	鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ　　地上部分	48.6	m3			
機械解体	床ｺﾝｸﾘｰﾄ 15cm以下	1.8	m3			
機械解体	ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ 地上部分	19	m3			
機械解体	無筋ｺﾝｸﾘｰﾄ　　基礎	1.8	m3			
鉄筋切断	集積共	90.7	m3			
砂利地業撤去	集積共	7.5	m3			
物干上屋解体	人力･機械併用	17.8	㎡			
ｱｽﾍﾞｽﾄ成形板撤去	物干腰壁 石綿板 t=5.0 集積共	2.9	㎡			
ｱｽﾍﾞｽﾄ成形板撤去	天井石綿板 t=5 集積共	8.5	㎡			
内部造作材解体撤去	共同住宅	130	㎡			

解体工事　細目別内訳

3号棟解体（改良住宅）		住宅棟解体撤去				
名　　称	摘　　要	数　　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
とりこわし機械運搬 (ﾍﾞｰｽﾏｼﾝ,ﾊﾞｯｸﾎｳ)	排出ｶﾞｽ対策型 油圧式ｸﾛｰﾗ型0.5m3	1	往復			
計						

解体工事　細目別内訳

3号棟解体（改良住宅）		屋外解体撤去				
名　　称	摘　　要	数　　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
ﾌﾟﾚﾊﾌﾞ上屋撤去	2.71m×3.594m	1	か所			
ﾌﾟﾚﾊﾌﾞ基礎撤去		1	m3			
物置撤去	2.014m×1.406m	3	棟			
ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装撤去	50mm	65.1	㎡			
舗装路盤材撤去	集積共	9.8	m3			
縁石撤去	100/110×155×600	25.4	m			
L型側溝撤去	W=450	25.6	m			
ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ2段撤去	厚100	14	m			
円柱型花壇ﾌﾞﾛｯｸ撤去	100Φ　H=200	11	m			
ﾚﾝｶﾞ3段積撤去		16.6	m			
ｺﾝｸﾘｰﾄ雨水桝撤去	内寸400角　H=300　t=100 ｺﾝｸﾘｰﾄ蓋	1	か所			
ｺﾝｸﾘｰﾄ雨水桝撤去	内寸450角　H=400　t=100 ｺﾝｸﾘｰﾄ蓋	1	か所			
ｺﾝｸﾘｰﾄ雨水桝撤去	内寸400角　H=815　t=100 縞鋼板蓋	2	か所			
埋設雨水排水管撤去	VP　φ65	17.4	m			
埋設雨水排水管撤去	VP　φ100	3.9	m			

解体工事　細目別内訳

3号棟解体（改良住宅）		屋外解体撤去				
名　　称	摘　　要	数　　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
埋設雨水排水管 撤去	VP　φ125	12.5	m			
浄化槽底板撤去	軽量鋼製矢板Ⅱ型 自立山留め　ﾊﾟｲﾌﾟﾛﾊｼﾏ共	1	か所			
伐採抜根	幹周15cm未満　　人力	9	本			
伐採抜根	幹周15～25cm未満　人力	1	本			
計						

解体工事　細目別内訳

3号棟解体（改良住宅）		電気設備解体撤去			電灯設備	
名　　称	摘　　要	数　　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
照明器具　A 撤去	天井直付(ｺｯﾌﾟ型・防水型) IL60W×1	4	個			
照明器具　B 撤去	直付ﾌﾞﾗｹｯﾄ(ｶﾊﾞｰ付・防水型) FL10W×1	2	個			
照明器具　D 撤去	直付(流元灯) FL20W×1	2	個			
照明器具　E 撤去	直付ﾌﾞﾗｹｯﾄ(ｶﾊﾞｰ付・防水型) FL20W×1	2	個			
照明器具　F 撤去	両面ﾊﾞﾙﾍﾞｯﾄ IL40W×1	2	個			
壁付換気扇 撤去	15cm	10	個			
計						

解体工事　細目別内訳

3号棟解体（改良住宅）	電気設備解体撤去				弱電設備	
名　　称	摘　　要	数　　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
TVｱﾝﾃﾅ 撤去	2段	2	組			
ｱﾝﾃﾅﾏｽﾄ 撤去	側面型	2	基			
計						

解体工事　細目別内訳

3号棟解体（改良住宅）	電気設備解体撤去				外構	
名　　称	摘　　要	数　　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
構内配電線路設備						
鋼管柱 撤去	(5.5m)60φ	1	本			
鋼管柱基礎 撤去	400×400×600 掘方埋戻し・山砂含む	1	基			
照明器具 撤去	防犯灯(LED6.3W)	1	個			
計						

解体工事　細目別内訳

3号棟解体（改良住宅）	機械設備解体撤去			衛生設備撤去		
名　　称	摘　　要	数　　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
機器・器具撤去						
(衛生器具類)						
和風便器撤去	再使用しない ﾛｰﾀﾝｸ　紙巻器共	2	組			
洗面器撤去	再使用しない	2	組			
浴槽撤去	再使用しない 800×700×650H	2	台			
自在水栓撤去	再使用しない 単水栓　13A	4	個			
横水栓撤去	再使用しない 単水栓　13A	2	個			
ﾎｰﾑ水栓撤去	再使用しない 単水栓　13A	2	個			
小計						
配管撤去						
(給水管撤去)						
給水・硬質塩化 ﾋﾞﾆﾙ管撤去(VP)	再使用しない 地中配管　40A	3	m			
給水・硬質塩化 ﾋﾞﾆﾙ管撤去(VP)	再使用しない 地中配管　25A	9	m			
給水・硬質塩化 ﾋﾞﾆﾙ管撤去(VP)	再使用しない 地中配管　20A	2	m			
(排水管撤去)						

解体工事　細目別内訳

3号棟解体（改良住宅）	機械設備解体撤去			衛生設備撤去		
名　　称	摘　　要	数　　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
排水・硬質塩化 ﾋﾞﾆﾙ管撤去(VP)	再使用しない 地中配管　125A	3	m			
排水・硬質塩化 ﾋﾞﾆﾙ管撤去(VP)	再使用しない 地中配管　100A	40	m			
排水・硬質塩化 ﾋﾞﾆﾙ管撤去(VP)	再使用しない 地中配管　75A	19	m			
排水・硬質塩化 ﾋﾞﾆﾙ管撤去(VP)	再使用しない 地中配管　65A	7	m			
排水・硬質塩化 ﾋﾞﾆﾙ管撤去(VP)	再使用しない 地中配管　50A	12	m			
排水・硬質塩化 ﾋﾞﾆﾙ管撤去(VP)	再使用しない 地中配管　40A	3	m			
配管切断		1	式			
土工事	配管撤去用	1	式			
小計						
配管付属品撤去						
量水器撤去	再使用しない 20A	2	個			
伸縮止水栓撤去	再使用しない 20A	2	個			
ｹﾞｰﾄﾊﾞﾙﾌﾞ撤去	再使用しない 25A	1	個			
量水器ﾎﾞｯｸｽ 撤去	再使用しない 20A	2	個			
ﾊﾞﾙﾌﾞﾎﾞｯｸｽ 撤去	再使用しない	1	個			

解体工事　細目別内訳

3号棟解体（改良住宅）		機械設備解体撤去			衛生設備撤去	
名　　称	摘　　要	数　　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
ｲﾝﾊﾞｰﾄ桝撤去	再使用しない ｺﾝｸﾘｰﾄ桝　350×350　蓋共	2	組			
ｲﾝﾊﾞｰﾄ桝撤去	再使用しない ｺﾝｸﾘｰﾄ桝　450×450　蓋共	1	組			
ため桝撤去	再使用しない ｺﾝｸﾘｰﾄ桝　350×350　蓋共	1	組			
ため桝撤去	再使用しない ｺﾝｸﾘｰﾄ桝　400×400　蓋共	1	組			
土工事	桝撤去用	1	式			
小計						
計						

解体工事　細目別内訳

3号棟解体（改良住宅）		機械設備解体撤去			ガス設備撤去	
名　　称	摘　　要	数　　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
機器・器具・配管撤去						
内管工事		1	式			
器具工事		1	式			
計						

解体工事　細目別内訳

3号棟解体（改良住宅）	機械設備解体撤去			浄化槽撤去		
名　　称	摘　　要	数　　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
浄化槽解体		1	式			
産業廃棄物処理		1	式			
計						

解体工事　細目別内訳

3号棟解体（改良住宅）	発生材処理			発生材運搬		
名　　称	摘　　要	数　　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
ｺﾝｸﾘｰﾄ類 集積、積込み	機 械	145	m3			
内装材 積込み	機 械	29.4	m3			
ｱｽﾍﾞｽﾄ含有材積込	人力	0.1	m3			
建設発生土運搬	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ　10t積級 ﾊﾞｯｸﾎｳ0.45m3 土砂 DID区間有り 12.0km以下	19.5	m3			
とりこわし 発生材運搬	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ　10t積級 ﾊﾞｯｸﾎｳ0.45m3 無筋ｺﾝｸﾘｰﾄ類 DID区間有り　5.5km以下	3.4	m3			
とりこわし 発生材運搬	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ　10t積級 ﾊﾞｯｸﾎｳ0.45m3 無筋ｺﾝｸﾘｰﾄ類 DID区間有り　7.0km以下	92.7	m3			
とりこわし 発生材運搬	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ　10t積級 ﾊﾞｯｸﾎｳ0.45m3 無筋ｺﾝｸﾘｰﾄ類 DID区間有り　5.5km以下	18.1	m3			
とりこわし 発生材運搬	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ　10t積級 ﾊﾞｯｸﾎｳ0.45m3 無筋ｺﾝｸﾘｰﾄ類 DID区間有り　5.5km以下	19.8	m3			
とりこわし 発生材運搬	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ　10t積級 ﾊﾞｯｸﾎｳ0.45m3 無筋ｺﾝｸﾘｰﾄ類 DID区間有り 17.5km以下	10.8	m3			
とりこわし 発生材運搬	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ　2t積級 ﾊﾞｯｸﾎｳ0.13m3 無筋ｺﾝｸﾘｰﾄ類 DID区間有り 24.0km以下	0.5	m3			
とりこわし 発生材運搬	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ　4t積級 ﾊﾞｯｸﾎｳ0.28m3 石こうﾎﾞｰﾄﾞ類 DID区間有り 27.0km以下	2.5	m3			
とりこわし 発生材運搬	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ　10t積級 ﾊﾞｯｸﾎｳ0.45m3 木材類 DID区間有り　9.0km以下	10	m3			
とりこわし 発生材運搬	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ　10t積級 ﾊﾞｯｸﾎｳ0.45m3 木材類 DID区間有り 17.5km以下	5.8	m3			
とりこわし 発生材運搬	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ　2t積級 ﾊﾞｯｸﾎｳ0.13m3 石こうﾎﾞｰﾄﾞ類 DID区間有り 24.0km以下	0.8	m3			
とりこわし 発生材運搬	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ　2t積級 人力積込　　石こうﾎﾞｰﾄﾞ類 DID区間有り 23.0km以下	0.1	m3			

解体工事　細目別内訳

3号棟解体（改良住宅）	発生材処理				発生材運搬	
名　　称	摘　　要	数　　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
とりこわし 発生材運搬	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ　10t積級 ﾊﾞｯｸﾎｳ0.45m3 － DID区間有り 17.5km以下	1	台			
計						

解体工事　細目別内訳

3号棟解体（改良住宅）	発生材処理				発生材処分	
名　　称	摘　　要	数　　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
建設発生土 （砂利）	10t車	19.5	m3			
ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装材	10t車	7.5	t			
鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ	10t車	220	t			
無筋ｺﾝｸﾘｰﾄ	10t車	38.1	t			
ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ	10t車	29.7	t			
がれき類	10t車	10.8	m3			
ｶﾞﾗｽ・陶磁器類	2t車	0.5	m3			
廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類	4t車	2.5	m3			
建設発生木材	10t車	10	m3			

解体工事　細目別内訳

3号棟解体（改良住宅）		発生材処理			発生材処分	
名　　称	摘　　要	数　　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
木くず	10t車	5.8	m3			
廃石膏ﾎﾞｰﾄﾞ	2t車	0.8	m3			
蛍光管 (FL20W以下)		6	本			
ｱｽﾍﾞｽﾄ成形板	2t車	0.1	m3			
(有価鋼材処分)						
ｽｸﾗｯﾌﾟ	ﾍﾋﾞｰ　H2	6	t			
ｽｸﾗｯﾌﾟ	ﾍﾋﾞｰ　H3	1.1	t			
ｽｸﾗｯﾌﾟ	ﾍﾋﾞｰ　H4	0.5	t			
ｽｸﾗｯﾌﾟ	ｱﾙﾐくずﾞ　込みｶﾞﾗ	237	kg			
(産業廃棄物税)						
産業廃棄物税		15.4	t			
計						

解体工事　細目別内訳

3号棟解体（改良住宅）		整地				
名　　称	摘　　要	数　　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
埋戻し(A種)	-　　山砂の類	10	m3			
整地	機械　敷き均し 真砂土　厚100㎜	88	㎡			
計						

解体工事　細目別内訳

4号棟解体（公営住宅）　　直接仮設

名　　称	摘　　要	数　　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
(外部足場)						
枠組本足場 (手すり先行方式)	建枠 600×1700　　布枠500×1枚 12m未満 掛払い 賃料 修理費含む	107	㎡			
安全手すり (手すり先行方式)	枠組本足場用 掛払い 賃料 修理費含む	50.3	m			
(内 部足場)						
内部足場	階高4.0m以下 脚立足場	8.5	㎡			
(災害防止)						
防音ｼｰﾄ張り	修理費含む	107	㎡			
(仮設材運搬)						
仮設材運搬 (枠組本足場) (手すり先行方式)	建枠幅600	107	㎡			
仮設材運搬 (安全てすり)	枠組本足場用(手すり先行方式)	50.3	m			
仮設材運搬 (内部仕上足場 脚立足場)	2階建	8.5	㎡			
仮設材運搬 (ｼｰﾄ・ﾈｯﾄ類)		107	㎡			
計						

解体工事　細目別内訳

4号棟解体（公営住宅）　　住宅棟解体撤去

名　　称	摘　　要	数　　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
既存杭引抜き費	ｵｰｶﾞｰｹｰｼﾝｸﾞ工法 PC杭　Φ300　L=13.0m（16本） 機械組立解体費共　機械運搬共 (杭集積まで)	1	式			
杭穴埋戻材	再生切込砕石材	14.7	m3			
杭材小割	PC杭　Φ300　L=13.0m	16	本			
機械解体	鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ　　地中部分	30.9	m3			
機械解体	鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ　　地上部分	48.6	m3			
機械解体	床ｺﾝｸﾘｰﾄ 15cm以下	1.8	m3			
機械解体	ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ 地上部分	19	m3			
機械解体	無筋ｺﾝｸﾘｰﾄ　　基礎	1.8	m3			
鉄筋切断	集積共	90.7	m3			
砂利地業撤去	集積共	7.5	m3			
物干上屋解体	人力･機械併用	17.8	㎡			
ｱｽﾍﾞｽﾄ成形板撤去	物干腰壁 石綿板 t=5.0 集積共	2.9	㎡			
ｱｽﾍﾞｽﾄ成形板撤去	天井石綿板 t=5 集積共	8.5	㎡			
内部造作材解体撤去	共同住宅	130	㎡			

解体工事　細目別内訳

4号棟解体（公営住宅）		住宅棟解体撤去				
名　　称	摘　　要	数　　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
とりこわし機械運搬 (ﾍﾞｰｽﾏｼﾝ,ﾊﾞｯｸﾎｳ)	排出ｶﾞｽ対策型 油圧式ｸﾛｰﾗ型0.5m3	1	往復			
計						

解体工事　細目別内訳

4号棟解体（公営住宅）		屋外解体撤去				
名　　称	摘　　要	数　　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
ｺﾞﾐ置場上屋撤去	(1.24～3.1m×3.22m　H=2.4m)	1	か所			
ｺﾞﾐ置場屋根 ｱｽﾍﾞｽﾄ成形板撤去	小波ｽﾚｰﾄ	10.6	㎡			
ｺﾞﾐ置場腰壁ﾌﾞﾛｯｸ 撤去		0.8	m3			
ｺﾞﾐ置場 土間ｺﾝｸﾘｰﾄ撤去		1.2	m3			
ｺﾞﾐ置場土間 砂利地業撤去	集積共	1	m3			
ｺﾞﾐ置場 基礎ｺﾝｸﾘｰﾄ撤去		0.5	m3			
物置撤去	2.014m×1.406m	2	棟			
ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装撤去	50mm	93.2	㎡			
舗装路盤材撤去	集積共	14	m3			
縁石撤去	100/110×155×600	23.6	m			
ｺﾝｸﾘｰﾄ雨水桝撤去	内寸350角　H=350　t=100 ｺﾝｸﾘｰﾄ蓋	2	か所			
ｺﾝｸﾘｰﾄ雨水桝撤去	内寸400角　H=450　t=100 縞鋼板蓋	1	か所			
埋設雨水排水管 撤去	VP　φ65	17.4	m			
埋設雨水排水管 撤去	VP　φ100	20.6	m			
伐採抜根	幹周15cm未満　　人力	2	本			

解体工事　細目別内訳

4号棟解体（公営住宅）		屋外解体撤去				
名　　称	摘　　要	数　　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
計						

解体工事　細目別内訳

4号棟解体（公営住宅）		電気設備解体撤去			電灯設備	
名　　称	摘　　要	数　　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
照明器具　A 撤去	天井直付(ｺｯﾌﾟ型・防水型) IL60W×1	4	個			
照明器具　B 撤去	直付ﾌﾞﾗｹｯﾄ(ｶﾊﾞｰ付・防水型) FL10W×1	2	個			
照明器具　D 撤去	直付(流元灯) FL20W×1	2	個			
照明器具　E 撤去	直付ﾌﾞﾗｹｯﾄ(ｶﾊﾞｰ付・防水型) FL20W×1	2	個			
照明器具　F 撤去	両面ﾊﾞﾙﾍﾞｯﾄ IL40W×1	2	個			
壁付換気扇 撤去	15cm	10	個			
計						

解体工事　細目別内訳

4号棟解体（公営住宅）	電気設備解体撤去				弱電設備	
名　　称	摘　　要	数　　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
TVｱﾝﾃﾅ 撤去	2段	2	組			
ｱﾝﾃﾅﾏｽﾄ 撤去	側面型	2	基			
計						

解体工事　細目別内訳

4号棟解体（公営住宅）	電気設備解体撤去				外構	
名　　称	摘　　要	数　　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
構内配電線路設備						
鋼管柱 撤去	(5.5m)60φ	1	本			
鋼管柱基礎 撤去	400×400×600 掘方埋戻し・山砂含む	1	基			
照明器具 撤去	防犯灯(LED6.3W)	1	個			
計						

解体工事　細目別内訳

4号棟解体（公営住宅）		機械設備解体撤去			衛生設備撤去	
名　　称	摘　　要	数　　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
機器・器具撤去						
(衛生器具類)						
和風便器撤去	再使用しない ﾛｰﾀﾝｸ　紙巻器共	2	組			
洗面器撤去	再使用しない	2	組			
浴槽撤去	再使用しない 800×700×650H	2	台			
自在水栓撤去	再使用しない 単水栓　13A	4	個			
横水栓撤去	再使用しない 単水栓　13A	2	個			
ﾎｰﾑ水栓撤去	再使用しない 単水栓　13A	2	個			
小計						
配管撤去						
(給水管撤去)						
給水・硬質塩化 ﾋﾞﾆﾙ管撤去(VP)	再使用しない 地中配管　30A	17	m			
給水・硬質塩化 ﾋﾞﾆﾙ管撤去(VP)	再使用しない 地中配管　25A	9	m			
給水・硬質塩化 ﾋﾞﾆﾙ管撤去(VP)	再使用しない 地中配管　20A	2	m			
(排水管撤去)						

解体工事　細目別内訳

4号棟解体（公営住宅）		機械設備解体撤去			衛生設備撤去	
名　　称	摘　　要	数　　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
排水・硬質塩化 ﾋﾞﾆﾙ管撤去(VP)	再使用しない 地中配管　100A	51	m			
排水・硬質塩化 ﾋﾞﾆﾙ管撤去(VP)	再使用しない 地中配管　75A	19	m			
排水・硬質塩化 ﾋﾞﾆﾙ管撤去(VP)	再使用しない 地中配管　65A	7	m			
排水・硬質塩化 ﾋﾞﾆﾙ管撤去(VP)	再使用しない 地中配管　50A	15	m			
排水・硬質塩化 ﾋﾞﾆﾙ管撤去(VP)	再使用しない 地中配管　40A	3	m			
配管切断		1	式			
土工事	配管撤去用	1	式			
小計						
配管付属品撤去						
量水器撤去	再使用しない 20A	2	個			
伸縮止水栓撤去	再使用しない 20A	2	個			
ｹﾞｰﾄﾊﾞﾙﾌﾞ撤去	再使用しない 25A	1	個			
量水器ﾎﾞｯｸｽ 撤去	再使用しない 20A	2	個			
ﾊﾞﾙﾌﾞﾎﾞｯｸｽ 撤去	再使用しない	1	個			
ｲﾝﾊﾞｰﾄ桝撤去	再使用しない ｺﾝｸﾘｰﾄ桝　350×350　蓋共	2	組			

解体工事　細目別内訳

4号棟解体（公営住宅）		機械設備解体撤去			衛生設備撤去	
名　　称	摘　　要	数　　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
ｲﾝﾊﾞｰﾄ桝撤去	再使用しない ｺﾝｸﾘｰﾄ桝　400×400　蓋共	1	組			
ため桝撤去	再使用しない ｺﾝｸﾘｰﾄ桝　350×350　蓋共	1	組			
ため桝撤去	再使用しない ｺﾝｸﾘｰﾄ桝　400×400　蓋共	1	組			
土工事	桝撤去用	1	式			
小計						
計						

解体工事　細目別内訳

4号棟解体（公営住宅）		機械設備解体撤去			ガス設備撤去	
名　　称	摘　　要	数　　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
機器・器具・配管撤去						
内管工事		1	式			
器具工事		1	式			
計						

解体工事　細目別内訳

4号棟解体（公営住宅）		発生材処理			発生材運搬	
名　　称	摘　　要	数　　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
ｺﾝｸﾘｰﾄ類 集積、積込み	機 械	139	m3			
内装材 積込み	機 械	27.4	m3			
ｱｽﾍﾞｽﾄ含有材積込	人力	0.1	m3			
建設発生土運搬	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ　10t積級 ﾊﾞｯｸﾎｳ0.45m3 土砂 DID区間有り 12.0km以下	23.2	m3			
とりこわし 発生材運搬	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ　10t積級 ﾊﾞｯｸﾎｳ0.45m3 無筋ｺﾝｸﾘｰﾄ類 DID区間有り　5.5km以下	4.7	m3			
とりこわし 発生材運搬	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ　10t積級 ﾊﾞｯｸﾎｳ0.45m3 無筋ｺﾝｸﾘｰﾄ類 DID区間有り　7.0km以下	91.5	m3			
とりこわし 発生材運搬	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ　10t積級 ﾊﾞｯｸﾎｳ0.45m3 無筋ｺﾝｸﾘｰﾄ類 DID区間有り　5.5km以下	17.6	m3			
とりこわし 発生材運搬	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ　10t積級 ﾊﾞｯｸﾎｳ0.45m3 無筋ｺﾝｸﾘｰﾄ類 DID区間有り　5.5km以下	20	m3			
とりこわし 発生材運搬	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ　10t積級 ﾊﾞｯｸﾎｳ0.45m3 無筋ｺﾝｸﾘｰﾄ類 DID区間有り 17.5km以下	5.7	m3			
とりこわし 発生材運搬	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ　2t積級 ﾊﾞｯｸﾎｳ0.13m3 無筋ｺﾝｸﾘｰﾄ類 DID区間有り 24.0km以下	0.5	m3			
とりこわし 発生材運搬	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ　4t積級 ﾊﾞｯｸﾎｳ0.28m3 石こうﾎﾞｰﾄﾞ類 DID区間有り 27.0km以下	2.5	m3			
とりこわし 発生材運搬	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ　10t積級 ﾊﾞｯｸﾎｳ0.45m3 木材類 DID区間有り　9.0km以下	10	m3			
とりこわし 発生材運搬	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ　10t積級 ﾊﾞｯｸﾎｳ0.45m3 木材類 DID区間有り 17.5km以下	5.3	m3			
とりこわし 発生材運搬	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ　2t積級 ﾊﾞｯｸﾎｳ0.13m3 石こうﾎﾞｰﾄﾞ類 DID区間有り 24.0km以下	0.8	m3			
とりこわし 発生材運搬	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ　2t積級 人力積込　　石こうﾎﾞｰﾄﾞ類 DID区間有り 23.0km以下	0.1	m3			

解体工事　細目別内訳

4号棟解体（公営住宅）		発生材処理			発生材運搬	
名　　称	摘　　要	数　　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
とりこわし 発生材運搬	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ　10t積級 ﾊﾞｯｸﾎｳ0.45m3 － DID区間有り 17.5km以下	1	台			
計						

解体工事　細目別内訳

4号棟解体（公営住宅）		発生材処理			発生材処分	
名　　称	摘　　要	数　　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
建設発生土 (砂利)	10t車	23.2	m3			
ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装材	10t車	10.3	t			
鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ	10t車	220	t			
無筋ｺﾝｸﾘｰﾄ	10t車	37	t			
ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ	10t車	29.9	t			
がれき類	10t車	5.7	m3			
ｶﾞﾗｽ・陶磁器類	2t車	0.5	m3			
廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類	4t車	2.5	m3			
建設発生木材	10t車	10	m3			

解体工事　細目別内訳

4号棟解体（公営住宅）		発生材処理			発生材処分	
名　　称	摘　　要	数　　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
木くず	10t車	5.3	m3			
廃石膏ﾎﾞｰﾄﾞ	2t車	0.8	m3			
蛍光管 (FL20W以下)		6	本			
ｱｽﾍﾞｽﾄ成形板	2t車	0.1	m3			
(有価鋼材処分)						
ｽｸﾗｯﾌﾟ	ﾍﾋﾞｰ　H2	6.3	t			
ｽｸﾗｯﾌﾟ	ﾍﾋﾞｰ　H3	1.2	t			
ｽｸﾗｯﾌﾟ	ﾍﾋﾞｰ　H4	0.4	t			
ｽｸﾗｯﾌﾟ	ｱﾙﾐくず　込みｶﾞﾗ	237	kg			
(産業廃棄物税)						
産業廃棄物税		11.2	t			
計						

解体工事　細目別内訳

4号棟解体（公営住宅）		整地				
名　　称	摘　　要	数　　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
埋戻し(A種)	- 山砂の類	10	m3			
整地	機械　敷き均し 真砂土　厚100mm	88	㎡			
計						

解体工事　細目別内訳

5号棟解体（公営住宅）		直接仮設				
名　　称	摘　　要	数　　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
(外部足場)						
枠組本足場 (手すり先行方式)	建枠 600×1700　布枠500×1枚 12m未満 掛払い 賃料 修理費含む	107	㎡			
安全手すり (手すり先行方式)	枠組本足場用 掛払い 賃料 修理費含む	50.3	m			
(内 部足場)						
内部足場	階高4.0m以下 脚立足場	8.5	㎡			
(災害防止)						
防音ｼｰﾄ張り	修理費含む	107	㎡			
(仮設材運搬)						
仮設材運搬 (枠組本足場) (手すり先行方式)	建枠幅600	107	㎡			
仮設材運搬 (安全てすり)	枠組本足場用(手すり先行方式)	50.3	m			
仮設材運搬 (内部仕上足場 脚立足場)	2階建	8.5	㎡			
仮設材運搬 (ｼｰﾄ･ﾈｯﾄ類)		107	㎡			
計						

解体工事　細目別内訳

5号棟解体（公営住宅）		住宅棟解体撤去				
名　　称	摘　　要	数　　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
既存杭引抜き費	ｵｰｶﾞｰｹｰｼﾝｸﾞ工法 PC杭　Φ300　L=13.0m（16本） 機械組立解体費共　機械運搬共 （杭集積まで）	1	式			
杭穴埋戻材	再生切込砕石材	14.7	m3			
杭材小割	PC杭　Φ300　L=13.0m	16	本			
機械解体	鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ　　地中部分	30.9	m3			
機械解体	鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ　　地上部分	48.6	m3			
機械解体	床ｺﾝｸﾘｰﾄ 15cm以下	1.8	m3			
機械解体	ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ 地上部分	19	m3			
機械解体	無筋ｺﾝｸﾘｰﾄ　　基礎	1.8	m3			
鉄筋切断	集積共	90.7	m3			
砂利地業撤去	集積共	7.5	m3			
物干上屋解体	人力･機械併用	17.8	㎡			
ｱｽﾍﾞｽﾄ成形板撤去	物干腰壁 石綿板 t=5.0 集積共	2.9	㎡			
ｱｽﾍﾞｽﾄ成形板撤去	天井石綿板 t=5 集積共	8.5	㎡			
内部造作材解体撤去	共同住宅	130	㎡			

解体工事　細目別内訳

5号棟解体（公営住宅）		住宅棟解体撤去				
名　　称	摘　　要	数　　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
とりこわし機械運搬 (ﾍﾞｰｽﾏｼﾝ,ﾊﾞｯｸﾎｳ)	排出ｶﾞｽ対策型 油圧式ｸﾛｰﾗ型0.5m3	1	往復			
計						

解体工事　細目別内訳

5号棟解体（公営住宅）		屋外解体撤去				
名　　称	摘　　要	数　　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
木造車庫上屋解体	人力･機械併用	17.5	㎡			
物置撤去	2.014m×1.406m	3	棟			
ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装撤去	50mm	65.1	㎡			
舗装路盤材撤去	集積共	9.8	m3			
縁石撤去	100/110×155×600	25.4	m			
L型側溝撤去	W=450	25.6	m			
ｺﾝｸﾘｰﾄ雨水桝撤去	内寸350角　H=350　t=100 ｺﾝｸﾘｰﾄ蓋	2	か所			
ｺﾝｸﾘｰﾄ雨水桝撤去	内寸400角　H=600　t=100 縞鋼板蓋	1	か所			
埋設雨水排水管 撤去	VP　φ65	17.4	m			
埋設雨水排水管 撤去	VP　φ100	3.9	m			
埋設雨水排水管 撤去	VP　φ125	10.1	m			
浄化槽底板撤去	軽量鋼製矢板Ⅱ型 自立山留め　ﾊﾞｲﾌﾞﾛﾊﾝﾏ共	1	か所			
伐採抜根	幹周15cm未満　　人力	2	本			
伐採抜根	幹周15～25cm未満　人力	6	本			
計						

解体工事　細目別内訳

5号棟解体（公営住宅）		電気設備解体撤去			電灯設備	
名　　称	摘　　要	数　　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
照明器具　A 撤去	天井直付(ｺｯﾌﾟ型・防水型) IL60W×1	4	個			
照明器具　B 撤去	直付ﾌﾞﾗｹｯﾄ(ｶﾊﾞｰ付・防水型) FL10W×1	2	個			
照明器具　D 撤去	直付(流元灯) FL20W×1	2	個			
照明器具　E 撤去	直付ﾌﾞﾗｹｯﾄ(ｶﾊﾞｰ付・防水型) FL20W×1	2	個			
照明器具　F 撤去	両面ﾊﾞﾙﾍﾞｯﾄ IL40W×1	2	個			
壁付換気扇 撤去	15cm	10	個			
計						

解体工事　細目別内訳

5号棟解体（公営住宅）	電気設備解体撤去				弱電設備	
名　　称	摘　　要	数　　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
TVｱﾝﾃﾅ 撤去	2段	2	組			
ｱﾝﾃﾅﾏｽﾄ 撤去	側面型	2	基			
計						

解体工事　細目別内訳

5号棟解体（公営住宅）	機械設備解体撤去				衛生設備撤去	
名　　称	摘　　要	数　　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
機器・器具撤去						
(衛生器具類)						
和風便器撤去	再使用しない ﾛｰﾀﾝｸ　紙巻器共	2	組			
洗面器撤去	再使用しない	2	組			
浴槽撤去	再使用しない 800×700×650H	2	台			
自在水栓撤去	再使用しない 単水栓　13A	4	個			
横水栓撤去	再使用しない 単水栓　13A	2	個			
ﾎｰﾑ水栓撤去	再使用しない 単水栓　13A	2	個			
小計						
配管撤去						
(給水管撤去)						
給水・硬質塩化 ﾋﾞﾆﾙ管撤去(VP)	再使用しない 地中配管　30A	16	m			
給水・硬質塩化 ﾋﾞﾆﾙ管撤去(VP)	再使用しない 地中配管　25A	12	m			
給水・硬質塩化 ﾋﾞﾆﾙ管撤去(VP)	再使用しない 地中配管　20A	2	m			
(排水管撤去)						

解体工事　細目別内訳

5号棟解体（公営住宅）	機械設備解体撤去			衛生設備撤去		
名　　称	摘　　要	数　　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
排水・硬質塩化ﾋﾞﾆﾙ管撤去(VP)	再使用しない 地中配管　100A	46	m			
排水・硬質塩化ﾋﾞﾆﾙ管撤去(VP)	再使用しない 地中配管　75A	19	m			
排水・硬質塩化ﾋﾞﾆﾙ管撤去(VP)	再使用しない 地中配管　65A	7	m			
排水・硬質塩化ﾋﾞﾆﾙ管撤去(VP)	再使用しない 地中配管　50A	18	m			
排水・硬質塩化ﾋﾞﾆﾙ管撤去(VP)	再使用しない 地中配管　40A	3	m			
配管切断		1	式			
土工事	配管撤去用	1	式			
小計						
配管付属品撤去						
量水器撤去	再使用しない 20A	2	個			
伸縮止水栓撤去	再使用しない 20A	2	個			
ｹﾞｰﾄﾊﾞﾙﾌﾞ撤去	再使用しない 32A	1	個			
ｹﾞｰﾄﾊﾞﾙﾌﾞ撤去	再使用しない 25A	1	個			
量水器ﾎﾞｯｸｽ撤去	再使用しない 20A	2	個			
ﾊﾞﾙﾌﾞﾎﾞｯｸｽ撤去	再使用しない	1	個			

解体工事　細目別内訳

5号棟解体（公営住宅）	機械設備解体撤去			衛生設備撤去		
名　　称	摘　　要	数　　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
消火栓ﾎﾞｯｸｽ撤去	再使用しない 消火栓ﾊﾞﾙﾌﾞ共	1	個			
ｲﾝﾊﾞｰﾄ桝撤去	再使用しない ｺﾝｸﾘｰﾄ桝　350×350　蓋共	2	組			
ｲﾝﾊﾞｰﾄ桝撤去	再使用しない ｺﾝｸﾘｰﾄ桝　450×450　蓋共	1	組			
ため桝撤去	再使用しない ｺﾝｸﾘｰﾄ桝　350×350　蓋共	1	組			
ため桝撤去	再使用しない ｺﾝｸﾘｰﾄ桝　400×400　蓋共	1	組			
土工事	桝撤去用	1	式			
小計						
計						

解体工事　細目別内訳

5号棟解体（公営住宅）	機械設備解体撤去				ガス設備撤去	
名　　称	摘　　要	数　　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
機器・器具・配管撤去						
内管工事		1	式			
器具工事		1	式			
計						

解体工事　細目別内訳

5号棟解体（公営住宅）	機械設備解体撤去				浄化槽撤去	
名　　称	摘　　要	数　　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
浄化槽解体		1	式			
産業廃棄物処理		1	式			
計						

解体工事　細目別内訳

5号棟解体（公営住宅）		発生材処理			発生材運搬	
名　　称	摘　　要	数　　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
ｺﾝｸﾘｰﾄ類 集積、積込み	機 械	138	m3			
内装材 積込み	機 械	28	m3			
ｱｽﾍﾞｽﾄ含有材積込	人力	0.1	m3			
建設発生土運搬	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ　10t積級 ﾊﾞｯｸﾎｳ0.45m3 土砂 DID区間有り 12.0km以下	19.4	m3			
とりこわし 発生材運搬	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ　10t積級 ﾊﾞｯｸﾎｳ0.45m3 無筋ｺﾝｸﾘｰﾄ類 DID区間有り　5.5km以下	3.3	m3			
とりこわし 発生材運搬	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ　10t積級 ﾊﾞｯｸﾎｳ0.45m3 無筋ｺﾝｸﾘｰﾄ類 DID区間有り　7.0km以下	91.5	m3			
とりこわし 発生材運搬	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ　10t積級 ﾊﾞｯｸﾎｳ0.45m3 無筋ｺﾝｸﾘｰﾄ類 DID区間有り　5.5km以下	17.9	m3			
とりこわし 発生材運搬	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ　10t積級 ﾊﾞｯｸﾎｳ0.45m3 無筋ｺﾝｸﾘｰﾄ類 DID区間有り　5.5km以下	19.4	m3			
とりこわし 発生材運搬	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ　10t積級 ﾊﾞｯｸﾎｳ0.45m3 無筋ｺﾝｸﾘｰﾄ類 DID区間有り 17.5km以下	5.7	m3			
とりこわし 発生材運搬	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ　2t積級 ﾊﾞｯｸﾎｳ0.13m3 無筋ｺﾝｸﾘｰﾄ類 DID区間有り 24.0km以下	0.5	m3			
とりこわし 発生材運搬	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ　4t積級 ﾊﾞｯｸﾎｳ0.28m3 石こうﾎﾞｰﾄﾞ類 DID区間有り 27.0km以下	2.5	m3			
とりこわし 発生材運搬	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ　10t積級 ﾊﾞｯｸﾎｳ0.45m3 木材類 DID区間有り　9.0km以下	10.5	m3			
とりこわし 発生材運搬	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ　10t積級 ﾊﾞｯｸﾎｳ0.45m3 木材類 DID区間有り 17.5km以下	5.5	m3			
とりこわし 発生材運搬	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ　2t積級 ﾊﾞｯｸﾎｳ0.13m3 石こうﾎﾞｰﾄﾞ類 DID区間有り 24.0km以下	0.8	m3			
とりこわし 発生材運搬	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ　2t積級 人力積込　　石こうﾎﾞｰﾄﾞ類 DID区間有り 23.0km以下	0.1	m3			

解体工事　細目別内訳

5号棟解体（公営住宅）		発生材処理			発生材運搬	
名　　称	摘　　要	数　　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
とりこわし 発生材運搬	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ　10t積級 ﾊﾞｯｸﾎｳ0.45m3 － DID区間有り 17.5km以下	1	台			
計						

解体工事　細目別内訳

5号棟解体（公営住宅）		発生材処理			発生材処分	
名　　称	摘　　要	数　　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
建設発生土 (砂利)	10t車	19.4	m3			
ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装材	10t車	7.2	t			
鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ	10t車	220	t			
無筋ｺﾝｸﾘｰﾄ	10t車	37.5	t			
ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ	10t車	28.7	t			
がれき類	10t車	5.7	m3			
ｶﾞﾗｽ・陶磁器類	2t車	0.5	m3			
廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類	4t車	2.5	m3			
建設発生木材	10t車	10.5	m3			

解体工事　細目別内訳

5号棟解体（公営住宅）		発生材処理			発生材処分	
名　　称	摘　　要	数　　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
木くず	10t車	5.5	m3			
廃石膏ﾎﾞｰﾄﾞ	2t車	0.8	m3			
蛍光管 (FL20W以下)		6	本			
ｱｽﾍﾞｽﾄ成形板	2t車	0.1	m3			
(有価鋼材処分)						
ｽｸﾗｯﾌﾟ	ﾍﾋﾞｰ　H2	6	t			
ｽｸﾗｯﾌﾟ	ﾍﾋﾞｰ　H3	0.8	t			
ｽｸﾗｯﾌﾟ	ﾍﾋﾞｰ　H4	0.4	t			
ｽｸﾗｯﾌﾟ	ｱﾙﾐくず　込みｶﾞﾗ	237	kg			
(産業廃棄物税)						
産業廃棄物税		11.3	t			
計						

解体工事　細目別内訳

5号棟解体（公営住宅）　　整地

名　　称	摘　　要	数　　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
埋戻し(A種)	- 山砂の類	10	m3			
整地	機械　敷き均し 真砂土　厚100mm	88	㎡			
計						

解体工事　細目別内訳

6号棟解体（公営住宅）　　直接仮設

名　　称	摘　　要	数　　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
(外部足場)						
枠組本足場 (手すり先行方式)	建枠 600×1700　　布枠500×1枚 12m未満 掛払い 賃料 修理費含む	107	㎡			
安全手すり (手すり先行方式)	枠組本足場用 掛払い 賃料 修理費含む	50.3	m			
(内 部足場)						
内部足場	階高4.0m以下 脚立足場	8.5	㎡			
(災害防止)						
防音ｼｰﾄ張り	修理費含む	107	㎡			
(仮設材運搬)						
仮設材運搬 (枠組本足場) (手すり先行方式)	建枠幅600	107	㎡			
仮設材運搬 (安全てすり)	枠組本足場用(手すり先行方式)	50.3	m			
仮設材運搬 (内部仕上足場 脚立足場)	2階建	8.5	㎡			
仮設材運搬 (ｼｰﾄ･ﾈｯﾄ類)		107	㎡			
計						

解体工事　細目別内訳

6号棟解体（公営住宅）		住宅棟解体撤去				
名　　称	摘　　要	数　　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
既存杭引抜き費	ｵｰｶﾞｰｹｰｼﾝｸﾞ工法 PC杭　Φ300　L=13.0m（16本） 機械組立解体費共　機械運搬共 （杭集積まで）	1	式			
杭穴埋戻材	再生切込砕石材	14.7	m3			
杭材小割	PC杭　Φ300　L=13.0m	16	本			
機械解体	鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ　　地中部分	30.9	m3			
機械解体	鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ　　地上部分	48.6	m3			
機械解体	床ｺﾝｸﾘｰﾄ 15cm以下	1.8	m3			
機械解体	ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ 地上部分	19	m3			
機械解体	無筋ｺﾝｸﾘｰﾄ　　基礎	1.8	m3			
鉄筋切断	集積共	90.7	m3			
砂利地業撤去	集積共	7.5	m3			
物干上屋解体	人力･機械併用	17.8	㎡			
ｱｽﾍﾞｽﾄ成形板撤去	物干腰壁 石綿板 t=5.0 集積共	2.9	㎡			
ｱｽﾍﾞｽﾄ成形板撤去	天井石綿板 t=5 集積共	8.5	㎡			
内部造作材解体撤去	共同住宅	130	㎡			

解体工事　細目別内訳

6号棟解体（公営住宅）		住宅棟解体撤去				
名　　称	摘　　要	数　　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
とりこわし機械運搬 (ﾍﾞｰｽﾏｼﾝ,ﾊﾞｯｸﾎｳ)	排出ｶﾞｽ対策型 油圧式ｸﾛｰﾗ型0.5m3	1	往復			
計						

解体工事　細目別内訳

6号棟解体（公営住宅）		屋外解体撤去				
名　　称	摘　　要	数　　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
ｱﾙﾐ製車庫上屋撤去	人力･機械併用	12.5	㎡			
物置撤去	2.014m×1.406m	2	棟			
ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装撤去	50mm	76.6	㎡			
舗装路盤材撤去	集積共	11.5	m3			
縁石撤去	100/110×155×600	24.6	m			
塩ビ製雨水桝撤去	200Φ　H=300程度 塩ﾋﾞ製丸蓋 共	3	か所			
塩ビ製雨水桝撤去	250Φ　H=600程度 鋳鉄製丸蓋 共	1	か所			
埋設雨水排水管撤去	VP　φ75	4.5	m			
埋設雨水排水管撤去	VP　φ100	32.3	m			
伐採抜根	幹周15cm未満　　人力	12	本			
計						

解体工事　細目別内訳

6号棟解体（公営住宅）		電気設備解体撤去			電灯設備	
名　　称	摘　　要	数　　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
照明器具　A 撤去	天井直付(ｺｯﾌﾟ型・防水型) IL60W×1	4	個			
照明器具　B 撤去	直付ﾌﾞﾗｹｯﾄ(ｶﾊﾞｰ付・防水型) FL10W×1	2	個			
照明器具　D 撤去	直付(流元灯) FL20W×1	2	個			
照明器具　E 撤去	直付ﾌﾞﾗｹｯﾄ(ｶﾊﾞｰ付・防水型) FL20W×1	2	個			
照明器具　F 撤去	両面ﾊﾞﾙﾍﾞｯﾄ IL40W×1	2	個			
壁付換気扇撤去	15cm	10	個			
計						

解体工事　細目別内訳

6号棟解体（公営住宅）	電気設備解体撤去				弱電設備	
名　　称	摘　　要	数　　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
TVｱﾝﾃﾅ 撤去	2段	2	組			
ｱﾝﾃﾅﾏｽﾄ 撤去	側面型	2	基			
計						

解体工事　細目別内訳

6号棟解体（公営住宅）	機械設備解体撤去				衛生設備撤去	
名　　称	摘　　要	数　　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
機器・器具撤去						
(衛生器具類)						
和風便器撤去	再使用しない ﾛｰﾀﾝｸ　紙巻器共	2	組			
洗面器撤去	再使用しない	2	組			
浴槽撤去	再使用しない 800×700×650H	2	台			
自在水栓撤去	再使用しない 単水栓　13A	4	個			
横水栓撤去	再使用しない 単水栓　13A	2	個			
ﾎｰﾑ水栓撤去	再使用しない 単水栓　13A	2	個			
小計						
配管撤去						
(給水管撤去)						
給水・硬質塩化 ﾋﾞﾆﾙ管撤去(VP)	再使用しない 地中配管　30A	17	m			
給水・硬質塩化 ﾋﾞﾆﾙ管撤去(VP)	再使用しない 地中配管　25A	8	m			
給水・硬質塩化 ﾋﾞﾆﾙ管撤去(VP)	再使用しない 地中配管　20A	3	m			
(排水管撤去)						

解体工事　細目別内訳

6号棟解体（公営住宅）		機械設備解体撤去			衛生設備撤去	
名　　称	摘　　要	数　　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
排水・硬質塩化ﾋﾞﾆﾙ管撤去(VP)	再使用しない 地中配管　100A	37	m			
排水・硬質塩化ﾋﾞﾆﾙ管撤去(VP)	再使用しない 地中配管　50A	8	m			
排水・硬質塩化ﾋﾞﾆﾙ管撤去(VP)	再使用しない 地中配管　40A	3	m			
配管切断		1	式			
土工事	配管撤去用	1	式			
小計						
配管付属品撤去						
量水器撤去	再使用しない 20A	2	個			
伸縮止水栓撤去	再使用しない 20A	2	個			
ｹﾞｰﾄﾊﾞﾙﾌﾞ撤去	再使用しない 25A	1	個			
量水器ﾎﾞｯｸｽ撤去	再使用しない 20A	2	個			
ﾊﾞﾙﾌﾞﾎﾞｯｸｽ撤去	再使用しない	1	個			
ｲﾝﾊﾞｰﾄ桝撤去	再使用しない 小口径桝200φ　蓋共	10	組			
土工事	桝撤去用	1	式			
小計						

解体工事　細目別内訳

6号棟解体（公営住宅）		機械設備解体撤去			衛生設備撤去	
名　　称	摘　　要	数　　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
計						

解体工事　細目別内訳

6号棟解体（公営住宅）	機械設備解体撤去			ガス設備撤去		
名　　称	摘　　要	数　　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
機器・器具・配管撤去						
内管工事		1	式			
器具工事		1	式			
計						

解体工事　細目別内訳

6号棟解体（公営住宅）	発生材処理			発生材運搬		
名　　称	摘　　要	数　　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
ｺﾝｸﾘｰﾄ類 集積、積込み	機 械	135	m3			
内装材 積込み	機 械	30	m3			
ｱｽﾍﾞｽﾄ含有材積込	人力	0.1	m3			
建設発生土運搬	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ　10t積級 ﾊﾞｯｸﾎｳ0.45m3 土砂 DID区間有り 12.0km以下	19.5	m3			
とりこわし 発生材運搬	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ　10t積級 ﾊﾞｯｸﾎｳ0.45m3 無筋ｺﾝｸﾘｰﾄ類 DID区間有り　5.5km以下	3.8	m3			
とりこわし 発生材運搬	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ　10t積級 ﾊﾞｯｸﾎｳ0.45m3 無筋ｺﾝｸﾘｰﾄ類 DID区間有り　7.0km以下	91	m3			
とりこわし 発生材運搬	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ　10t積級 ﾊﾞｯｸﾎｳ0.45m3 無筋ｺﾝｸﾘｰﾄ類 DID区間有り　5.5km以下	14.9	m3			
とりこわし 発生材運搬	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ　10t積級 ﾊﾞｯｸﾎｳ0.45m3 無筋ｺﾝｸﾘｰﾄ類 DID区間有り　5.5km以下	19.4	m3			
とりこわし 発生材運搬	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ　10t積級 ﾊﾞｯｸﾎｳ0.45m3 無筋ｺﾝｸﾘｰﾄ類 DID区間有り 17.5km以下	5.7	m3			
とりこわし 発生材運搬	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ　2t積級 ﾊﾞｯｸﾎｳ0.13m3 無筋ｺﾝｸﾘｰﾄ類 DID区間有り 24.0km以下	0.5	m3			
とりこわし 発生材運搬	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ　4t積級 ﾊﾞｯｸﾎｳ0.28m3 石こうﾎﾞｰﾄﾞ類 DID区間有り 27.0km以下	3.5	m3			
とりこわし 発生材運搬	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ　10t積級 ﾊﾞｯｸﾎｳ0.45m3 木材類 DID区間有り　9.0km以下	10	m3			
とりこわし 発生材運搬	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ　10t積級 ﾊﾞｯｸﾎｳ0.45m3 木材類 DID区間有り 17.5km以下	6.7	m3			
とりこわし 発生材運搬	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ　2t積級 ﾊﾞｯｸﾎｳ0.13m3 石こうﾎﾞｰﾄﾞ類 DID区間有り 24.0km以下	0.8	m3			
とりこわし 発生材運搬	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ　2t積級 人力積込　石こうﾎﾞｰﾄﾞ類 DID区間有り 23.0km以下	0.1	m3			

解体工事　細目別内訳

6号棟解体（公営住宅）		発生材処理			発生材運搬	
名　　称	摘　　要	数　　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
とりこわし 発生材運搬	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ　10t積級 ﾊﾞｯｸﾎｳ0.45m3 － DID区間有り 17.5km以下	1	台			
計						

解体工事　細目別内訳

6号棟解体（公営住宅）		発生材処理			発生材処分	
名　　称	摘　　要	数　　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
建設発生土 （砂利）	10t車	19.5	m3			
ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装材	10t車	8.4	t			
鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ	10t車	218	t			
無筋ｺﾝｸﾘｰﾄ	10t車	31.3	t			
ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ	10t車	28.7	t			
がれき類	10t車	5.7	m3			
ｶﾞﾗｽ・陶磁器類	2t車	0.5	m3			
廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類	4t車	3.5	m3			
建設発生木材	10t車	10	m3			

解体工事　細目別内訳

6号棟解体（公営住宅）		発生材処理			発生材処分	
名　　称	摘　　要	数　　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
木くず	10t車	6.7	m3			
廃石膏ﾎﾞｰﾄﾞ	2t車	0.8	m3			
蛍光管 (FL20W以下)		6	本			
ｱｽﾍﾞｽﾄ成形板	2t車	0.1	m3			
(有価鋼材処分)						
ｽｸﾗｯﾌﾟ	ﾍﾋﾞｰ　H2	6	t			
ｽｸﾗｯﾌﾟ	ﾍﾋﾞｰ　H3	1	t			
ｽｸﾗｯﾌﾟ	ﾍﾋﾞｰ　H4	0.4	t			
ｽｸﾗｯﾌﾟ	ｱﾙﾐくずﾞ　込みｶﾞﾗ	286	kg			
(産業廃棄物税)						
産業廃棄物税		12.7	t			
計						

解体工事　細目別内訳

6号棟解体（公営住宅）		整地				
名　　称	摘　　要	数　　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
埋戻し(A種)	-　　山砂の類	10	m3			
整地	機械　敷き均し 真砂土　厚100㎜	88	㎡			
計						

解体工事　細目別内訳

7号棟解体（公営住宅）		直接仮設				
名　　称	摘　　要	数　　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
(外部足場)						
枠組本足場 (手すり先行方式)	建枠 600×1700　　布枠500×1枚 12m未満 掛払い 賃料 修理費含む	107	㎡			
安全手すり (手すり先行方式)	枠組本足場用 掛払い 賃料 修理費含む	50.3	m			
(内 部足場)						
内部足場	階高4.0m以下 脚立足場	8.5	㎡			
(災害防止)						
防音ｼｰﾄ張り	修理費含む	107	㎡			
(仮設材運搬)						
仮設材運搬 (枠組本足場) (手すり先行方式)	建枠幅600	107	㎡			
仮設材運搬 (安全てすり)	枠組本足場用(手すり先行方式)	50.3	m			
仮設材運搬 (内部仕上足場 脚立足場)	2階建	8.5	㎡			
仮設材運搬 (ｼｰﾄ・ﾈｯﾄ類)		107	㎡			
計						

解体工事　細目別内訳

7号棟解体（公営住宅）		住宅棟解体撤去				
名　　称	摘　　要	数　　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
既存杭引抜き費	ｵｰｶﾞｰｹｰｼﾝｸﾞ工法 PC杭　Φ300　L=13.0m（16本） 機械組立解体費共　機械運搬共 (杭集積まで)	1	式			
杭穴埋戻材	再生切込砕石材	14.7	m3			
杭材小割	PC杭　Φ300　L=13.0m	16	本			
機械解体	鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ　　地中部分	30.9	m3			
機械解体	鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ　　地上部分	48.6	m3			
機械解体	床ｺﾝｸﾘｰﾄ 15cm以下	1.8	m3			
機械解体	ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ 地上部分	19	m3			
機械解体	無筋ｺﾝｸﾘｰﾄ　　基礎	1.8	m3			
鉄筋切断	集積共	90.7	m3			
砂利地業撤去	集積共	7.5	m3			
物干上屋解体	人力･機械併用	17.8	㎡			
ｱｽﾍﾞｽﾄ成形板撤去	物干腰壁 石綿板 t=5.0 集積共	2.9	㎡			
ｱｽﾍﾞｽﾄ成形板撤去	天井石綿板 t=5 集積共	8.5	㎡			
内部造作材解体撤去	共同住宅	130	㎡			

解体工事　細目別内訳

7号棟解体（公営住宅）		住宅棟解体撤去				
名　　称	摘　　要	数　　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
とりこわし機械運搬 (ﾍﾞｰｽﾏｼﾝ,ﾊﾞｯｸﾎｳ)	排出ｶﾞｽ対策型 油圧式ｸﾛｰﾗ型0.5m3	1	往復			
計						

解体工事　細目別内訳

7号棟解体（公営住宅）		屋外解体撤去				
名　　称	摘　　要	数　　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
物置撤去	2.014m×1.406m	3	棟			
ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装撤去	50mm	62.5	m^2			
舗装路盤材撤去	集積共	9.4	m3			
縁石撤去	100/110×155×600	24.4	m			
L型側溝撤去	W=450	24.6	m			
塩ビ製雨水桝撤去	200Φ　H=300程度 塩ﾋﾞ製丸蓋 共	3	か所			
塩ビ製雨水桝撤去	250Φ　H=600程度 鋳鉄製丸蓋 共	1	か所			
埋設雨水排水管撤去	VP　φ75	4.5	m			
埋設雨水排水管撤去	VP　φ100	18.9	m			
埋設雨水排水管撤去	VP　φ125	15.7	m			
伐採抜根	幹周15cm未満　　人力	6	本			
伐採抜根	幹周25～40cm未満 機械併用	1	本			
計						

解体工事　細目別内訳

7号棟解体（公営住宅）	電気設備解体撤去			電灯設備		
名　　称	摘　　要	数　　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
照明器具　A 撤去	天井直付(ｺｯﾌﾟ型・防水型) IL60W×1	4	個			
照明器具　B 撤去	直付ﾌﾞﾗｹｯﾄ(ｶﾊﾞｰ付・防水型) FL10W×1	2	個			
照明器具　D 撤去	直付(流元灯) FL20W×1	2	個			
照明器具　E 撤去	直付ﾌﾞﾗｹｯﾄ(ｶﾊﾞｰ付・防水型) FL20W×1	2	個			
照明器具　F 撤去	両面ﾊﾞﾙﾍﾞｯﾄ IL40W×1	2	個			
壁付換気扇 撤去	15cm	10	個			
計						

解体工事　細目別内訳

7号棟解体（公営住宅）	電気設備解体撤去			弱電設備		
名　　称	摘　　要	数　　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
TVｱﾝﾃﾅ 撤去	2段	2	組			
ｱﾝﾃﾅﾏｽﾄ 撤去	側面型	2	基			
計						

解体工事　細目別内訳

7号棟解体（公営住宅）	電気設備解体撤去			外構		
名　　称	摘　　要	数　　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
構内配電線路設備						
鋼管柱 撤去	(5.5m)60φ	1	本			
鋼管柱基礎 撤去	400×400×600 掘方埋戻し・山砂含む	1	基			
照明器具 撤去	防犯灯(LED6.3W)	1	個			
計						

解体工事　細目別内訳

7号棟解体（公営住宅）	機械設備解体撤去			衛生設備撤去		
名　　称	摘　　要	数　　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
機器・器具撤去						
(衛生器具類)						
和風便器撤去	再使用しない ﾛｰﾀﾝｸ　紙巻器共	2	組			
洗面器撤去	再使用しない	2	組			
浴槽撤去	再使用しない 800×700×650H	2	台			
自在水栓撤去	再使用しない 単水栓　13A	4	個			
横水栓撤去	再使用しない 単水栓　13A	2	個			
ﾎｰﾑ水栓撤去	再使用しない 単水栓　13A	2	個			
小計						
配管撤去						
(給水管撤去)						
給水・硬質塩化 ﾋﾞﾆﾙ管撤去(VP)	再使用しない 地中配管　40A	16	m			
給水・硬質塩化 ﾋﾞﾆﾙ管撤去(VP)	再使用しない 地中配管　25A	8	m			
給水・硬質塩化 ﾋﾞﾆﾙ管撤去(VP)	再使用しない 地中配管　20A	3	m			
(排水管撤去)						

解体工事　細目別内訳

7号棟解体（公営住宅）	機械設備解体撤去				衛生設備撤去	
名　　称	摘　　要	数　　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
排水・硬質塩化ﾋﾞﾆﾙ管撤去(VP)	再使用しない 地中配管　100A	36	m			
排水・硬質塩化ﾋﾞﾆﾙ管撤去(VP)	再使用しない 地中配管　50A	8	m			
排水・硬質塩化ﾋﾞﾆﾙ管撤去(VP)	再使用しない 地中配管　40A	3	m			
配管切断		1	式			
土工事	配管撤去用	1	式			
小計						
配管付属品撤去						
量水器撤去	再使用しない 20A	2	個			
伸縮止水栓撤去	再使用しない 20A	2	個			
ｹﾞｰﾄﾊﾞﾙﾌﾞ撤去	再使用しない 25A	1	個			
量水器ﾎﾞｯｸｽ撤去	再使用しない 20A	2	個			
ﾊﾞﾙﾌﾞﾎﾞｯｸｽ撤去	再使用しない	1	個			
ｲﾝﾊﾞｰﾄ桝撤去	再使用しない 小口径桝200φ　蓋共	11	組			
土工事	桝撤去用	1	式			
小計						

解体工事　細目別内訳

7号棟解体（公営住宅）	機械設備解体撤去				衛生設備撤去	
名　　称	摘　　要	数　　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
計						

解体工事　細目別内訳

7号棟解体（公営住宅）	機械設備解体撤去			ガス設備撤去		
名　　称	摘　　要	数　　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
機器・器具・配管撤去						
内管工事		1	式			
器具工事		1	式			
計						

解体工事　細目別内訳

7号棟解体（公営住宅）	発生材処理			発生材運搬		
名　　称	摘　　要	数　　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
ｺﾝｸﾘｰﾄ類集積、積込み	機 械	135	m3			
内装材 積込み	機 械	28.3	m3			
ｱｽﾍﾞｽﾄ含有材積込	人力	0.1	m3			
建設発生土運搬	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ　10t積級 ﾊﾞｯｸﾎｳ0.45m3 土砂 DID区間有り 12.0km以下	18.7	m3			
とりこわし 発生材運搬	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ　10t積級 ﾊﾞｯｸﾎｳ0.45m3 無筋ｺﾝｸﾘｰﾄ類 DID区間有り　5.5km以下	3.1	m3			
とりこわし 発生材運搬	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ　10t積級 ﾊﾞｯｸﾎｳ0.45m3 無筋ｺﾝｸﾘｰﾄ類 DID区間有り　7.0km以下	91	m3			
とりこわし 発生材運搬	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ　10t積級 ﾊﾞｯｸﾎｳ0.45m3 無筋ｺﾝｸﾘｰﾄ類 DID区間有り　5.5km以下	16.4	m3			
とりこわし 発生材運搬	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ　10t積級 ﾊﾞｯｸﾎｳ0.45m3 無筋ｺﾝｸﾘｰﾄ類 DID区間有り　5.5km以下	19.1	m3			
とりこわし 発生材運搬	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ　10t積級 ﾊﾞｯｸﾎｳ0.45m3 無筋ｺﾝｸﾘｰﾄ類 DID区間有り 17.5km以下	5.7	m3			
とりこわし 発生材運搬	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ　2t積級 ﾊﾞｯｸﾎｳ0.13m3 無筋ｺﾝｸﾘｰﾄ類 DID区間有り 24.0km以下	0.5	m3			
とりこわし 発生材運搬	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ　4t積級 ﾊﾞｯｸﾎｳ0.28m3 石こうﾎﾞｰﾄﾞ類 DID区間有り 27.0km以下	3.7	m3			
とりこわし 発生材運搬	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ　10t積級 ﾊﾞｯｸﾎｳ0.45m3 木材類 DID区間有り　9.0km以下	10	m3			
とりこわし 発生材運搬	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ　10t積級 ﾊﾞｯｸﾎｳ0.45m3 木材類 DID区間有り 17.5km以下	6.8	m3			
とりこわし 発生材運搬	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ　2t積級 ﾊﾞｯｸﾎｳ0.13m3 石こうﾎﾞｰﾄﾞ類 DID区間有り 24.0km以下	0.8	m3			
とりこわし 発生材運搬	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ　2t積級 人力積込　石こうﾎﾞｰﾄﾞ類 DID区間有り 23.0km以下	0.1	m3			

解体工事　細目別内訳

7号棟解体（公営住宅）	発生材処理			発生材運搬		
名　　称	摘　　要	数　　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
とりこわし 発生材運搬	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ　10t積級 ﾊﾞｯｸﾎｳ0.45m3 － DID区間有り 17.5km以下	1	台			
計						

解体工事　細目別内訳

7号棟解体（公営住宅）	発生材処理			発生材処分		
名　　称	摘　　要	数　　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
建設発生土 (砂利)	10t車	18.7	m3			
ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装材	10t車	6.9	t			
鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ	10t車	218	t			
無筋ｺﾝｸﾘｰﾄ	10t車	34.4	t			
ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ	10t車	28.7	t			
がれき類	10t車	5.7	m3			
ｶﾞﾗｽ・陶磁器類	2t車	0.5	m3			
廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類	4t車	3.7	m3			
建設発生木材	10t車	10	m3			

解体工事　細目別内訳

7号棟解体（公営住宅）		発生材処理			発生材処分	
名　　称	摘　　要	数　　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
木くず	10t車	6.8	m3			
廃石膏ﾎﾞｰﾄﾞ	2t車	0.8	m3			
蛍光管 (FL20W以下)		6	本			
ｱｽﾍﾞｽﾄ成形板	2t車	0.1	m3			
(有価鋼材処分)						
ｽｸﾗｯﾌﾟ	ﾍﾋﾞｰ　H2	6	t			
ｽｸﾗｯﾌﾟ	ﾍﾋﾞｰ　H3	0.8	t			
ｽｸﾗｯﾌﾟ	ﾍﾋﾞｰ　H4	0.4	t			
ｽｸﾗｯﾌﾟ	ｱﾙﾐくずﾞ　込みｶﾞﾗ	237	kg			
(産業廃棄物税)						
産業廃棄物税		12.9	t			
計						

解体工事　細目別内訳

7号棟解体（公営住宅）		整地				
名　　称	摘　　要	数　　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
埋戻し(A種)	-　　山砂の類	10	m3			
整地	機械　敷き均し 真砂土　厚100㎜	88	㎡			
計						

解体工事　細目別内訳

8号棟解体（公営住宅）		直接仮設				
名　　称	摘　　要	数　　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
(外部足場)						
枠組本足場 (手すり先行方式)	建枠 600×1700　　布枠500×1枚 12m未満 掛払い 賃料 修理費含む	107	㎡			
安全手すり (手すり先行方式)	枠組本足場用 掛払い 賃料 修理費含む	50.3	m			
(内 部足場)						
内部足場	階高4.0m以下 脚立足場	8.5	㎡			
(災害防止)						
防音ｼｰﾄ張り	修理費含む	107	㎡			
(仮設材運搬)						
仮設材運搬 (枠組本足場) (手すり先行方式)	建枠幅600	107	㎡			
仮設材運搬 (安全てすり)	枠組本足場用(手すり先行方式)	50.3	m			
仮設材運搬 (内部仕上足場 脚立足場)	2階建	8.5	㎡			
仮設材運搬 (ｼｰﾄ・ﾈｯﾄ類)		107	㎡			
計						

解体工事　細目別内訳

8号棟解体（公営住宅）		住宅棟解体撤去				
名　　称	摘　　要	数　　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
既存杭引抜き費	ｵｰｶﾞｰｹｰｼﾝｸﾞ工法 PC杭　Φ300　L=13.0m（16本） 機械組立解体費共　機械運搬共 (杭集積まで)	1	式			
杭穴埋戻材	再生切込砕石材	14.7	m3			
杭材小割	PC杭　Φ300　L=13.0m	16	本			
機械解体	鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ　　地中部分	30.9	m3			
機械解体	鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ　　地上部分	48.6	m3			
機械解体	床ｺﾝｸﾘｰﾄ 15cm以下	1.8	m3			
機械解体	ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ 地上部分	19	m3			
機械解体	無筋ｺﾝｸﾘｰﾄ　　基礎	1.8	m3			
鉄筋切断	集積共	90.7	m3			
砂利地業撤去	集積共	7.5	m3			
物干上屋解体	人力･機械併用	17.8	㎡			
ｱｽﾍﾞｽﾄ成形板撤去	物干腰壁 石綿板 t=5.0 集積共	2.9	㎡			
ｱｽﾍﾞｽﾄ成形板撤去	天井石綿板 t=5 集積共	8.5	㎡			
内部造作材解体撤去	共同住宅	130	㎡			

解体工事　細目別内訳

8号棟解体（公営住宅）		住宅棟解体撤去				
名　　称	摘　　要	数　　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
とりこわし機械運搬 (ﾍﾞｰｽﾏｼﾝ,ﾊﾞｯｸﾎｳ)	排出ｶﾞｽ対策型 油圧式ｸﾛｰﾗ型0.5m3	1	往復			
計						

解体工事　細目別内訳

8号棟解体（公営住宅）		屋外解体撤去				
名　　称	摘　　要	数　　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
(浄化槽)						
山留め	軽量鋼製矢板Ⅱ型 自立山留め　ﾊﾟｲﾌﾟﾛﾊﾝﾏ	216	㎡			
機械解体	鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ　　地中部分	13.4	m3			
機械解体	無筋ｺﾝｸﾘｰﾄ　　基礎	1.1	m3			
鉄筋切断	集積共	13.4	m3			
砂利地業撤去	集積共	3.2	m3			
(その他)						
案内板撤去	1500×1800　基礎共	1	か所			
物置撤去	2.014m×1.406m	1	棟			
ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装撤去	50mm	162	㎡			
舗装路盤材撤去	集積共	24.3	m3			
縁石撤去	100/110×155×600	24.4	m			
L型側溝撤去	W=450	24.6	m			
乗上ﾌﾞﾛｯｸ撤去	330×600×90	24	個			
塩ビ製雨水桝撤去	200Φ　H=300程度 塩ﾋﾞ製丸蓋 共	3	か所			

解体工事　細目別内訳

8号棟解体（公営住宅）		屋外解体撤去				
名　　称	摘　　要	数　　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
塩ビ製雨水桝撤去	250Φ　H=600程度 鋳鉄製丸蓋 共	1	か所			
埋設雨水排水管 撤去	VP　φ75	4.5	m			
埋設雨水排水管 撤去	VP　φ100	15.5	m			
埋設雨水排水管 撤去	VP　φ125	15.7	m			
伐採抜根	幹周15cm未満　　人力	2	本			
計						

解体工事　細目別内訳

8号棟解体（公営住宅）		電気設備解体撤去			電灯設備	
名　　称	摘　　要	数　　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
照明器具　A 撤去	天井直付(ｺｯﾌﾟ型・防水型) IL60W×1	4	個			
照明器具　B 撤去	直付ﾌﾞﾗｹｯﾄ(ｶﾊﾞｰ付・防水型) FL10W×1	2	個			
照明器具　D 撤去	直付(流元灯) FL20W×1	2	個			
照明器具　E 撤去	直付ﾌﾞﾗｹｯﾄ(ｶﾊﾞｰ付・防水型) FL20W×1	2	個			
照明器具　F 撤去	両面ﾊﾞﾙﾍﾞｯﾄ IL40W×1	2	個			
壁付換気扇 撤去	15cm	10	個			
計						

解体工事　細目別内訳

8号棟解体（公営住宅）	電気設備解体撤去				弱電設備	
名　　称	摘　　要	数　　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
TVｱﾝﾃﾅ 撤去	2段	2	組			
ｱﾝﾃﾅﾏｽﾄ 撤去	側面型	2	基			
計						

解体工事　細目別内訳

8号棟解体（公営住宅）	機械設備解体撤去				衛生設備撤去	
名　　称	摘　　要	数　　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
機器・器具撤去						
(衛生器具類)						
和風便器撤去	再使用しない ﾛｰﾀﾝｸ　紙巻器共	2	組			
洗面器撤去	再使用しない	2	組			
浴槽撤去	再使用しない 800×700×650H	2	台			
自在水栓撤去	再使用しない 単水栓　13A	4	個			
横水栓撤去	再使用しない 単水栓　13A	2	個			
ﾎｰﾑ水栓撤去	再使用しない 単水栓　13A	2	個			
小計						
配管撤去						
(給水管撤去)						
給水・硬質塩化 ﾋﾞﾆﾙ管撤去(VP)	再使用しない 地中配管　50A	17	m			
給水・硬質塩化 ﾋﾞﾆﾙ管撤去(VP)	再使用しない 地中配管　25A	8	m			
給水・硬質塩化 ﾋﾞﾆﾙ管撤去(VP)	再使用しない 地中配管　20A	3	m			
(排水管撤去)						

解体工事　細目別内訳

8号棟解体（公営住宅）	機械設備解体撤去				衛生設備撤去	
名　　称	摘　　要	数　　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
排水・硬質塩化ﾋﾞﾆﾙ管撤去(VP)	再使用しない 地中配管　125A	1	m			
排水・硬質塩化ﾋﾞﾆﾙ管撤去(VP)	再使用しない 地中配管　100A	31	m			
排水・硬質塩化ﾋﾞﾆﾙ管撤去(VP)	再使用しない 地中配管　50A	8	m			
排水・硬質塩化ﾋﾞﾆﾙ管撤去(VP)	再使用しない 地中配管　40A	19	m			
配管切断		1	式			
土工事	配管撤去用	1	式			
小計						
配管付属品撤去						
量水器撤去	再使用しない 20A	2	個			
伸縮止水栓撤去	再使用しない 20A	2	個			
ｹﾞｰﾄﾊﾞﾙﾌﾞ撤去	再使用しない 25A	1	個			
量水器ﾎﾞｯｸｽ撤去	再使用しない 20A	2	個			
ﾊﾞﾙﾌﾞﾎﾞｯｸｽ撤去	再使用しない	1	個			
ｲﾝﾊﾞｰﾄ桝撤去	再使用しない 小口径桝200φ　蓋共	13	組			
土工事	桝撤去用	1	式			

解体工事　細目別内訳

8号棟解体（公営住宅）	機械設備解体撤去				衛生設備撤去	
名　　称	摘　　要	数　　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
小計						
計						

解体工事　細目別内訳

8号棟解体（公営住宅）		機械設備解体撤去			ガス設備撤去	
名　　称	摘　　要	数　　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
機器・器具・配管撤去						
内管工事		1	式			
器具工事		1	式			
計						

解体工事　細目別内訳

8号棟解体（公営住宅）		機械設備解体撤去			浄化槽撤去	
名　　称	摘　　要	数　　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
浄化槽解体		1	式			
産業廃棄物処理		1	式			
計						

解体工事　細目別内訳

8号棟解体（公営住宅）		発生材処理			発生材運搬	
名　　称	摘　　要	数　　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
ｺﾝｸﾘｰﾄ類 集積、積込み	機 械	155	m3			
内装材 積込み	機 械	29.9	m3			
ｱｽﾍﾞｽﾄ含有材積込	人力	0.1	m3			
建設発生土運搬	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ　10t積級 ﾊﾞｯｸﾎｳ0.45m3 土砂 DID区間有り 12.0km以下	36.9	m3			
とりこわし 発生材運搬	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ　10t積級 ﾊﾞｯｸﾎｳ0.45m3 無筋ｺﾝｸﾘｰﾄ類 DID区間有り　5.5km以下	8.1	m3			
とりこわし 発生材運搬	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ　10t積級 ﾊﾞｯｸﾎｳ0.45m3 無筋ｺﾝｸﾘｰﾄ類 DID区間有り　7.0km以下	104	m3			
とりこわし 発生材運搬	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ　10t積級 ﾊﾞｯｸﾎｳ0.45m3 無筋ｺﾝｸﾘｰﾄ類 DID区間有り　5.5km以下	18	m3			
とりこわし 発生材運搬	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ　10t積級 ﾊﾞｯｸﾎｳ0.45m3 無筋ｺﾝｸﾘｰﾄ類 DID区間有り　5.5km以下	19.2	m3			
とりこわし 発生材運搬	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ　10t積級 ﾊﾞｯｸﾎｳ0.45m3 無筋ｺﾝｸﾘｰﾄ類 DID区間有り 17.5km以下	5.7	m3			
とりこわし 発生材運搬	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ　2t積級 ﾊﾞｯｸﾎｳ0.13m3 無筋ｺﾝｸﾘｰﾄ類 DID区間有り 24.0km以下	0.5	m3			
とりこわし 発生材運搬	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ　4t積級 ﾊﾞｯｸﾎｳ0.28m3 石こうﾎﾞｰﾄﾞ類 DID区間有り 27.0km以下	4	m3			
とりこわし 発生材運搬	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ　10t積級 ﾊﾞｯｸﾎｳ0.45m3 木材類 DID区間有り　9.0km以下	10	m3			
とりこわし 発生材運搬	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ　10t積級 ﾊﾞｯｸﾎｳ0.45m3 木材類 DID区間有り 17.5km以下	5.2	m3			
とりこわし 発生材運搬	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ　2t積級 ﾊﾞｯｸﾎｳ0.13m3 石こうﾎﾞｰﾄﾞ類 DID区間有り 24.0km以下	0.8	m3			
とりこわし 発生材運搬	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ　2t積級 人力積込　　石こうﾎﾞｰﾄﾞ類 DID区間有り 23.0km以下	0.1	m3			

解体工事　細目別内訳

8号棟解体（公営住宅）		発生材処理			発生材運搬	
名　　称	摘　　要	数　　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
とりこわし 発生材運搬	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ　10t積級 ﾊﾞｯｸﾎｳ0.45m3 － DID区間有り 17.5km以下	1	台			
計						

解体工事　細目別内訳

8号棟解体（公営住宅）		発生材処理			発生材処分	
名　　称	摘　　要	数　　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
建設発生土 (砂利)	10t車	36.9	m3			
ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装材	10t車	17.8	t			
鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ	10t車	251	t			
無筋ｺﾝｸﾘｰﾄ	10t車	37.8	t			
ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ	10t車	28.9	t			
がれき類	10t車	5.7	m3			
ｶﾞﾗｽ・陶磁器類	2t車	0.5	m3			
廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類	4t車	4	m3			
建設発生木材	10t車	10	m3			

解体工事　細目別内訳

8号棟解体（公営住宅）		発生材処理			発生材処分	
名　　称	摘　　要	数　　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
木くず	10t車	5.2	m3			
廃石膏ﾎﾞｰﾄﾞ	2t車	0.8	m3			
蛍光管 (FL20W以下)		6	本			
ｱｽﾍﾞｽﾄ成形板	2t車	0.1	m3			
(有価鋼材処分)						
ｽｸﾗｯﾌﾟ	ﾍﾋﾞｰ　H2	7.1	t			
ｽｸﾗｯﾌﾟ	ﾍﾋﾞｰ　H3	0.8	t			
ｽｸﾗｯﾌﾟ	ﾍﾋﾞｰ　H4	0.6	t			
ｽｸﾗｯﾌﾟ	ｱﾙﾐくず　込みｶﾞﾗ	237	kg			
(産業廃棄物税)						
産業廃棄物税		12.3	t			
計						

解体工事　細目別内訳

8号棟解体（公営住宅）　　整地

名　　称	摘　　要	数　　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
埋戻し(A種)	- 山砂の類	10	m3			
整地	機械　敷き均し 真砂土　厚100mm	88	㎡			
計						

解体工事　細目別内訳

9号棟解体（公営住宅）　　直接仮設

名　　称	摘　　要	数　　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
(外部足場)						
枠組本足場 (手すり先行方式)	建枠 600×1700　　布枠500×1枚 12m未満 掛払い 賃料 修理費含む	107	㎡			
安全手すり (手すり先行方式)	枠組本足場用 掛払い 賃料 修理費含む	50.3	m			
(内 部足場)						
内部足場	階高4.0m以下 脚立足場	8.5	㎡			
(災害防止)						
防音ｼｰﾄ張り	修理費含む	107	㎡			
(仮設材運搬)						
仮設材運搬 (枠組本足場) (手すり先行方式)	建枠幅600	107	㎡			
仮設材運搬 (安全てすり)	枠組本足場用(手すり先行方式)	50.3	m			
仮設材運搬 (内部仕上足場 脚立足場)	2階建	8.5	㎡			
仮設材運搬 (ｼｰﾄ･ﾈｯﾄ類)		107	㎡			
計						

解体工事　細目別内訳

9号棟解体（公営住宅）		住宅棟解体撤去				
名　　称	摘　　要	数　　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
既存杭引抜き費	ｵｰｶﾞｰｹｰｼﾝｸﾞ工法 PC杭　Φ300　L=13.0m（16本） 機械組立解体費共　機械運搬共 （杭集積まで）	1	式			
杭穴埋戻材	再生切込砕石材	14.7	m3			
杭材小割	PC杭　Φ300　L=13.0m	16	本			
機械解体	鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ　　地中部分	30.9	m3			
機械解体	鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ　　地上部分	48.6	m3			
機械解体	床ｺﾝｸﾘｰﾄ 15cm以下	1.8	m3			
機械解体	ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ 地上部分	19	m3			
機械解体	無筋ｺﾝｸﾘｰﾄ　　基礎	1.8	m3			
鉄筋切断	集積共	90.7	m3			
砂利地業撤去	集積共	7.5	m3			
物干上屋解体	人力･機械併用	17.8	㎡			
ｱｽﾍﾞｽﾄ成形板撤去	物干腰壁 石綿板 t=5.0 集積共	2.9	㎡			
ｱｽﾍﾞｽﾄ成形板撤去	天井石綿板 t=5 集積共	8.5	㎡			
内部造作材解体撤去	共同住宅	130	㎡			

解体工事　細目別内訳

9号棟解体（公営住宅）		住宅棟解体撤去				
名　　称	摘　　要	数　　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
とりこわし機械運搬 (ﾍﾞｰｽﾏｼﾝ,ﾊﾞｯｸﾎｳ)	排出ｶﾞｽ対策型 油圧式ｸﾛｰﾗ型0.5m3	1	往復			
計						

解体工事　細目別内訳

9号棟解体（公営住宅）		屋外解体撤去				
名　　称	摘　　要	数　　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
ﾋﾞﾆｰﾙ製車庫上屋撤去	人力･機械併用	12.5	㎡			
物置撤去	2.014m×1.406m	3	棟			
ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装撤去	50mm	62.7	㎡			
舗装路盤材撤去	集積共	9.4	m3			
縁石撤去	100/110×155×600	24.4	m			
L型側溝撤去	W=450	24.6	m			
塩ビ製雨水桝撤去	200Φ　H=300程度 塩ﾋﾞ製丸蓋 共	3	か所			
塩ビ製雨水桝撤去	250Φ　H=600程度 鋳鉄製丸蓋 共	1	か所			
埋設雨水排水管撤去	VP　φ75	4.5	m			
埋設雨水排水管撤去	VP　φ100	15.5	m			
埋設雨水排水管撤去	VP　φ125	15.7	m			
伐採抜根	幹周15cm未満　　人力	12	本			
伐採抜根	幹周15～25cm未満　人力	3	本			
計						

解体工事　細目別内訳

9号棟解体（公営住宅）		電気設備解体撤去			電灯設備	
名　　称	摘　　要	数　　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
照明器具　A 撤去	天井直付(ｺｯﾌﾟ型・防水型) IL60W×1	4	個			
照明器具　B 撤去	直付ﾌﾞﾗｹｯﾄ(ｶﾊﾞｰ付・防水型) FL10W×1	2	個			
照明器具　D 撤去	直付(流元灯) FL20W×1	2	個			
照明器具　E 撤去	直付ﾌﾞﾗｹｯﾄ(ｶﾊﾞｰ付・防水型) FL20W×1	2	個			
照明器具　F 撤去	両面ﾊﾞﾙﾍﾞｯﾄ IL40W×1	2	個			
壁付換気扇 撤去	15cm	10	個			
計						

解体工事　細目別内訳

9号棟解体（公営住宅）	電気設備解体撤去			弱電設備		
名　　称	摘　　要	数　　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
TVｱﾝﾃﾅ 撤去	2段	2	組			
ｱﾝﾃﾅﾏｽﾄ 撤去	側面型	2	基			
計						

解体工事　細目別内訳

9号棟解体（公営住宅）	電気設備解体撤去			外構		
名　　称	摘　　要	数　　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
構内配電線路設備						
鋼管柱 撤去	(5.5m)60φ	1	本			
鋼管柱基礎 撤去	400×400×600 掘方埋戻し・山砂含む	1	基			
照明器具 撤去	防犯灯(LED6.3W)	1	個			
計						

解体工事　細目別内訳

9号棟解体（公営住宅）	機械設備解体撤去				衛生設備撤去	
名　　称	摘　　要	数　　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
機器・器具撤去						
(衛生器具類)						
和風便器撤去	再使用しない ﾛｰﾀﾝｸ　紙巻器共	2	組			
洗面器撤去	再使用しない	2	組			
浴槽撤去	再使用しない 800×700×650H	2	台			
自在水栓撤去	再使用しない 単水栓　13A	4	個			
横水栓撤去	再使用しない 単水栓　13A	2	個			
ﾎｰﾑ水栓撤去	再使用しない 単水栓　13A	2	個			
小計						
配管撤去						
(給水管撤去)						
給水・硬質塩化 ﾋﾞﾆﾙ管撤去(VP)	再使用しない 地中配管　50A	13	m			
給水・硬質塩化 ﾋﾞﾆﾙ管撤去(VP)	再使用しない 地中配管　25A	8	m			
給水・硬質塩化 ﾋﾞﾆﾙ管撤去(VP)	再使用しない 地中配管　20A	3	m			
(排水管撤去)						

解体工事　細目別内訳

9号棟解体（公営住宅）	機械設備解体撤去				衛生設備撤去	
名　　称	摘　　要	数　　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
排水・硬質塩化 ﾋﾞﾆﾙ管撤去(VP)	再使用しない 地中配管　125A	6	m			
排水・硬質塩化 ﾋﾞﾆﾙ管撤去(VP)	再使用しない 地中配管　100A	20	m			
排水・硬質塩化 ﾋﾞﾆﾙ管撤去(VP)	再使用しない 地中配管　50A	8	m			
排水・硬質塩化 ﾋﾞﾆﾙ管撤去(VP)	再使用しない 地中配管　40A	3	m			
配管切断		1	式			
土工事	配管撤去用	1	式			
小計						
配管付属品撤去						
量水器撤去	再使用しない 20A	2	個			
伸縮止水栓撤去	再使用しない 20A	2	個			
ｹﾞｰﾄﾊﾞﾙﾌﾞ撤去	再使用しない 25A	1	個			
量水器ﾎﾞｯｸｽ 撤去	再使用しない 20A	2	個			
ﾊﾞﾙﾌﾞﾎﾞｯｸｽ 撤去	再使用しない	1	個			
ｲﾝﾊﾞｰﾄ桝撤去	再使用しない 小口径桝200φ　蓋共	12	組			
土工事	桝撤去用	1	式			

解体工事　細目別内訳

9号棟解体（公営住宅）		機械設備解体撤去			衛生設備撤去	
名　　称	摘　　要	数　　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
小計						
計						

解体工事　細目別内訳

9号棟解体（公営住宅）		機械設備解体撤去			ガス設備撤去	
名　　称	摘　　要	数　　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
機器・器具・配管撤去						
内管工事		1	式			
器具工事		1	式			
計						

解体工事　細目別内訳

9号棟解体（公営住宅）		発生材処理			発生材運搬	
名　　称	摘　　要	数　　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
ｺﾝｸﾘｰﾄ類 集積、積込み	機 械	135	m3			
内装材 積込み	機 械	27.8	m3			
ｱｽﾍﾞｽﾄ含有材積込	人力	0.1	m3			
建設発生土運搬	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ　10t積級 ﾊﾞｯｸﾎｳ0.45m3 土砂 DID区間有り 12.0km以下	18.8	m3			
とりこわし 発生材運搬	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ　10t積級 ﾊﾞｯｸﾎｳ0.45m3 無筋ｺﾝｸﾘｰﾄ類 DID区間有り　5.5km以下	3.3	m3			
とりこわし 発生材運搬	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ　10t積級 ﾊﾞｯｸﾎｳ0.45m3 無筋ｺﾝｸﾘｰﾄ類 DID区間有り　7.0km以下	91	m3			
とりこわし 発生材運搬	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ　10t積級 ﾊﾞｯｸﾎｳ0.45m3 無筋ｺﾝｸﾘｰﾄ類 DID区間有り　5.5km以下	16.4	m3			
とりこわし 発生材運搬	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ　10t積級 ﾊﾞｯｸﾎｳ0.45m3 無筋ｺﾝｸﾘｰﾄ類 DID区間有り　5.5km以下	19.1	m3			
とりこわし 発生材運搬	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ　10t積級 ﾊﾞｯｸﾎｳ0.45m3 無筋ｺﾝｸﾘｰﾄ類 DID区間有り 17.5km以下	5.7	m3			
とりこわし 発生材運搬	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ　2t積級 ﾊﾞｯｸﾎｳ0.13m3 無筋ｺﾝｸﾘｰﾄ類 DID区間有り 24.0km以下	0.5	m3			
とりこわし 発生材運搬	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ　4t積級 ﾊﾞｯｸﾎｳ0.28m3 石こうﾎﾞｰﾄﾞ類 DID区間有り 27.0km以下	3.9	m3			
とりこわし 発生材運搬	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ　10t積級 ﾊﾞｯｸﾎｳ0.45m3 木材類 DID区間有り　9.0km以下	10	m3			
とりこわし 発生材運搬	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ　10t積級 ﾊﾞｯｸﾎｳ0.45m3 木材類 DID区間有り 17.5km以下	5.9	m3			
とりこわし 発生材運搬	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ　2t積級 ﾊﾞｯｸﾎｳ0.13m3 石こうﾎﾞｰﾄﾞ類 DID区間有り 24.0km以下	0.8	m3			
とりこわし 発生材運搬	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ　2t積級 人力積込　　石こうﾎﾞｰﾄﾞ類 DID区間有り 23.0km以下	0.1	m3			

解体工事　細目別内訳

9号棟解体（公営住宅）		発生材処理			発生材運搬	
名　　称	摘　　要	数　　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
とりこわし 発生材運搬	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ　10t積級 ﾊﾞｯｸﾎｳ0.45m3 － DID区間有り 17.5km以下	1	台			
計						

解体工事　細目別内訳

9号棟解体（公営住宅）		発生材処理			発生材処分	
名　　称	摘　　要	数　　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
建設発生土 (砂利)	10t車	18.8	m3			
ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装材	10t車	7.2	t			
鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ	10t車	218	t			
無筋ｺﾝｸﾘｰﾄ	10t車	34.4	t			
ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ	10t車	28.6	t			
がれき類	10t車	5.7	m3			
ｶﾞﾗｽ・陶磁器類	2t車	0.5	m3			
廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類	4t車	3.9	m3			
建設発生木材	10t車	10	m3			

解体工事　細目別内訳

9号棟解体（公営住宅）		発生材処理			発生材処分	
名　　称	摘　　要	数　　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
木くず	10t車	5.9	m3			
廃石膏ﾎﾞｰﾄﾞ	2t車	0.8	m3			
蛍光管 (FL20W以下)		6	本			
ｱｽﾍﾞｽﾄ成形板	2t車	0.1	m3			
(有価鋼材処分)						
ｽｸﾗｯﾌﾟ	ﾍﾋﾞｰ　H2	6	t			
ｽｸﾗｯﾌﾟ	ﾍﾋﾞｰ　H3	0.8	t			
ｽｸﾗｯﾌﾟ	ﾍﾋﾞｰ　H4	0.4	t			
ｽｸﾗｯﾌﾟ	ｱﾙﾐくず　込みｶﾞﾗ	237	kg			
(産業廃棄物税)						
産業廃棄物税		12.5	t			
計						

解体工事　細目別内訳

9号棟解体（公営住宅）		整地				
名　　称	摘　　要	数　　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
埋戻し(A種)	－　　山砂の類	10	m3			
整地	機械　敷き均し 真砂土　厚100mm	88	㎡			
計						

解体工事　細目別内訳

10号棟解体（公営住宅）		直接仮設				
名　　称	摘　　要	数　　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
(外部足場)						
枠組本足場 (手すり先行方式)	建枠 600×1700　　布枠500×1枚 12m未満 掛払い 賃料 修理費含む	107	㎡			
安全手すり (手すり先行方式)	枠組本足場用 掛払い 賃料 修理費含む	50.3	m			
(内 部足場)						
内部足場	階高4.0m以下 脚立足場	8.5	㎡			
(災害防止)						
防音ｼｰﾄ張り	修理費含む	107	㎡			
(仮設材運搬)						
仮設材運搬 (枠組本足場) (手すり先行方式)	建枠幅600	107	㎡			
仮設材運搬 (安全てすり)	枠組本足場用(手すり先行方式)	50.3	m			
仮設材運搬 (内部仕上足場 脚立足場)	2階建	8.5	㎡			
仮設材運搬 (ｼｰﾄ･ﾈｯﾄ類)		107	㎡			
仮設材運搬 (敷鉄板)		9.2	㎡			
計						

解体工事　細目別内訳

10号棟解体（公営住宅）		住宅棟解体撤去				
名　　称	摘　　要	数　　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
既存杭引抜き費	ｵｰｶﾞｰｹｰｼﾝｸﾞ工法 PC杭　Φ300　L=13.0m（16本） 機械組立解体費共　機械運搬共 （杭集積まで）	1	式			
杭穴埋戻材	再生切込砕石材	14.7	m3			
杭材小割	PC杭　Φ300　L=13.0m	16	本			
機械解体	鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ　　地中部分	30.9	m3			
機械解体	鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ　　地上部分	48.6	m3			
機械解体	床ｺﾝｸﾘｰﾄ 15cm以下	1.8	m3			
機械解体	ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ 地上部分	19	m3			
機械解体	無筋ｺﾝｸﾘｰﾄ　　基礎	1.8	m3			
鉄筋切断	集積共	90.7	m3			
砂利地業撤去	集積共	7.5	m3			
物干上屋解体	人力･機械併用	17.8	㎡			
ｱｽﾍﾞｽﾄ成形板撤去	物干腰壁 石綿板 t=5.0 集積共	2.9	㎡			
ｱｽﾍﾞｽﾄ成形板撤去	天井石綿板 t=5 集積共	8.5	㎡			
内部造作材解体撤去	共同住宅	130	㎡			

解体工事　細目別内訳

10号棟解体（公営住宅）		住宅棟解体撤去				
名　　称	摘　　要	数　　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
とりこわし機械運搬 (ﾍﾞｰｽﾏｼﾝ,ﾊﾞｯｸﾎｳ)	排出ｶﾞｽ対策型 油圧式ｸﾛｰﾗ型0.5m3	1	往復			
計						

解体工事　細目別内訳

10号棟解体（公営住宅）		屋外解体撤去				
名　　称	摘　　要	数　　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
物置撤去	2.014m×1.406m	2	棟			
ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装撤去	50mm	62.7	㎡			
舗装路盤材撤去	集積共	9.4	m3			
縁石撤去	100/110×155×600	24.4	m			
L型側溝撤去	W=450	24.6	m			
塩ビ製雨水桝撤去	200Φ　H=300程度 塩ﾋﾞ製丸蓋 共	3	か所			
塩ビ製雨水桝撤去	250Φ　H=600程度 鋳鉄製丸蓋 共	1	か所			
埋設雨水排水管 撤去	VP　φ75	4.5	m			
埋設雨水排水管 撤去	VP　φ100	15.5	m			
埋設雨水排水管 撤去	VP　φ125	14.1	m			
浄化槽底板撤去	軽量鋼製矢板Ⅱ型 自立山留め　ﾊﾞｲﾌﾞﾛﾊｼﾏ共	1	か所			
伐採抜根	幹周15cm未満　　人力	2	本			
伐採抜根	幹周15～25cm未満　人力	1	本			
計						

解体工事　細目別内訳

10号棟解体（公営住宅）		電気設備解体撤去			電灯設備	
名　　称	摘　　要	数　　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
照明器具　A 撤去	天井直付(ｺｯﾌﾟ型・防水型) IL60W×1	4	個			
照明器具　B 撤去	直付ﾌﾞﾗｹｯﾄ(ｶﾊﾞｰ付・防水型) FL10W×1	2	個			
照明器具　D 撤去	直付(流元灯) FL20W×1	2	個			
照明器具　E 撤去	直付ﾌﾞﾗｹｯﾄ(ｶﾊﾞｰ付・防水型) FL20W×1	2	個			
照明器具　F 撤去	両面ﾊﾞﾙﾍﾞｯﾄ IL40W×1	2	個			
壁付換気扇 撤去	15cm	10	個			
計						

解体工事　細目別内訳

10号棟解体（公営住宅）	電気設備解体撤去				弱電設備	
名　　称	摘　　要	数　　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
TVｱﾝﾃﾅ 撤去	2段	2	組			
ｱﾝﾃﾅﾏｽﾄ 撤去	側面型	2	基			
計						

解体工事　細目別内訳

10号棟解体（公営住宅）	機械設備解体撤去				衛生設備撤去	
名　　称	摘　　要	数　　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
機器・器具撤去						
(衛生器具類)						
和風便器撤去	再使用しない ﾛｰﾀﾝｸ　紙巻器共	2	組			
洗面器撤去	再使用しない	2	組			
浴槽撤去	再使用しない 800×700×650H	2	台			
自在水栓撤去	再使用しない 単水栓　13A	4	個			
横水栓撤去	再使用しない 単水栓　13A	2	個			
ﾎｰﾑ水栓撤去	再使用しない 単水栓　13A	2	個			
小計						
配管撤去						
(給水管撤去)						
給水・硬質塩化 ﾋﾞﾆﾙ管撤去(VP)	再使用しない 地中配管　50A	4.4	m			
給水・硬質塩化 ﾋﾞﾆﾙ管撤去(VP)	再使用しない 地中配管　25A	8	m			
給水・硬質塩化 ﾋﾞﾆﾙ管撤去(VP)	再使用しない 地中配管　20A	3	m			
(排水管撤去)						

解体工事　細目別内訳

10号棟解体（公営住宅）	機械設備解体撤去				衛生設備撤去	
名　　称	摘　　要	数　　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
排水・硬質塩化ﾋﾞﾆﾙ管撤去(VP)	再使用しない 地中配管　100A	36	m			
排水・硬質塩化ﾋﾞﾆﾙ管撤去(VP)	再使用しない 地中配管　50A	8	m			
排水・硬質塩化ﾋﾞﾆﾙ管撤去(VP)	再使用しない 地中配管　40A	3	m			
配管切断		1	式			
土工事	配管撤去用	1	式			
小計						
配管付属品撤去						
量水器撤去	再使用しない 20A	2	個			
伸縮止水栓撤去	再使用しない 20A	2	個			
ｹﾞｰﾄﾊﾞﾙﾌﾞ撤去	再使用しない 50A	1	個			
ｹﾞｰﾄﾊﾞﾙﾌﾞ撤去	再使用しない 25A	1	個			
量水器ﾎﾞｯｸｽ撤去	再使用しない 20A	2	個			
ﾊﾞﾙﾌﾞﾎﾞｯｸｽ撤去	再使用しない	2	個			
ｲﾝﾊﾞｰﾄ桝撤去	再使用しない 小口径桝200φ　蓋共	10	組			
土工事	桝撤去用	1	式			

解体工事　細目別内訳

10号棟解体（公営住宅）	機械設備解体撤去				衛生設備撤去	
名　　称	摘　　要	数　　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
小計						
計						

解体工事　細目別内訳

10号棟解体（公営住宅）	機械設備解体撤去				ガス設備撤去	
名　　称	摘　　要	数　　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
機器・器具・配管撤去						
内管工事		1	式			
器具工事		1	式			
計						

解体工事　細目別内訳

10号棟解体（公営住宅）	発生材処理				発生材運搬	
名　　称	摘　　要	数　　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
ｺﾝｸﾘｰﾄ類集積、積込み	機 械	136	m3			
内装材 積込み	機 械	28.3	m3			
ｱｽﾍﾞｽﾄ含有材積込	人力	0.1	m3			
建設発生土運搬	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ　10t積級 ﾊﾞｯｸﾎｳ0.45m3 土砂 DID区間有り 12.0km以下	18.8	m3			
とりこわし発生材運搬	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ　10t積級 ﾊﾞｯｸﾎｳ0.45m3 無筋ｺﾝｸﾘｰﾄ類 DID区間有り　5.5km以下	3.3	m3			
とりこわし発生材運搬	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ　10t積級 ﾊﾞｯｸﾎｳ0.45m3 無筋ｺﾝｸﾘｰﾄ類 DID区間有り　7.0km以下	91	m3			
とりこわし発生材運搬	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ　10t積級 ﾊﾞｯｸﾎｳ0.45m3 無筋ｺﾝｸﾘｰﾄ類 DID区間有り　5.5km以下	16.9	m3			
とりこわし発生材運搬	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ　10t積級 ﾊﾞｯｸﾎｳ0.45m3 無筋ｺﾝｸﾘｰﾄ類 DID区間有り　5.5km以下	19.1	m3			
とりこわし発生材運搬	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ　10t積級 ﾊﾞｯｸﾎｳ0.45m3 無筋ｺﾝｸﾘｰﾄ類 DID区間有り 17.5km以下	5.7	m3			
とりこわし発生材運搬	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ　2t積級 ﾊﾞｯｸﾎｳ0.13m3 無筋ｺﾝｸﾘｰﾄ類 DID区間有り 24.0km以下	0.5	m3			
とりこわし発生材運搬	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ　4t積級 ﾊﾞｯｸﾎｳ0.28m3 石こうﾎﾞｰﾄﾞ類 DID区間有り 27.0km以下	3.6	m3			
とりこわし発生材運搬	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ　10t積級 ﾊﾞｯｸﾎｳ0.45m3 木材類 DID区間有り　9.0km以下	10	m3			
とりこわし発生材運搬	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ　10t積級 ﾊﾞｯｸﾎｳ0.45m3 木材類 DID区間有り 17.5km以下	5.1	m3			
とりこわし発生材運搬	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ　2t積級 ﾊﾞｯｸﾎｳ0.13m3 石こうﾎﾞｰﾄﾞ類 DID区間有り 24.0km以下	0.8	m3			
とりこわし発生材運搬	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ　2t積級 人力積込　石こうﾎﾞｰﾄﾞ類 DID区間有り 23.0km以下	0.1	m3			

解体工事　細目別内訳

10号棟解体（公営住宅）		発生材処理			発生材運搬	
名　　称	摘　　要	数　　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
とりこわし 発生材運搬	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ　10t積級 ﾊﾞｯｸﾎｳ0.45m3 － DID区間有り 17.5km以下	1	台			
計						

解体工事　細目別内訳

10号棟解体（公営住宅）		発生材処理			発生材処分	
名　　称	摘　　要	数　　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
建設発生土 (砂利)	10t車	18.8	m3			
ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装材	10t車	7.2	t			
鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ	10t車	218	t			
無筋ｺﾝｸﾘｰﾄ	10t車	35.5	t			
ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ	10t車	28.7	t			
がれき類	10t車	5.7	m3			
ｶﾞﾗｽ・陶磁器類	2t車	0.5	m3			
廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類	4t車	3.6	m3			
建設発生木材	10t車	10	m3			

解体工事　細目別内訳

10号棟解体（公営住宅）	発生材処理			発生材処分		
名　　称	摘　　要	数　　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
木くず	10t車	5.1	m3			
廃石膏ﾎﾞｰﾄﾞ	2t車	0.8	m3			
蛍光管 (FL20W以下)		6	本			
ｱｽﾍﾞｽﾄ成形板	2t車	0.1	m3			
(有価鋼材処分)						
ｽｸﾗｯﾌﾟ	ﾍﾋﾞｰ　H2	6	t			
ｽｸﾗｯﾌﾟ	ﾍﾋﾞｰ　H3	1	t			
ｽｸﾗｯﾌﾟ	ﾍﾋﾞｰ　H4	0.4	t			
ｽｸﾗｯﾌﾟ	ｱﾙﾐくずﾞ　込みｶﾞﾗ	237	kg			
(産業廃棄物税)						
産業廃棄物税		11.9	t			
計						

解体工事　細目別内訳

10号棟解体（公営住宅）	整地					
名　　称	摘　　要	数　　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
埋戻し(A種)	-　　山砂の類	10	m3			
整地	機械　敷き均し 真砂土　厚100㎜	88	㎡			
計						

解体工事　別紙明細

1号棟解体（改良住宅）		住宅棟解体撤去				
名　　称	摘　　要	数　　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
既存杭引抜き費	ｵｰｶﾞｰｹｰｼﾝｸﾞ工法 PC杭　Φ300　L=13.0m（16本） 機械組立解体費共　機械運搬共 （杭集積まで）	1	式			
機械機材運搬費		1	式			
機械組立・解体費		1	式			
既製杭引抜き 施工費	ｵｰｶﾞｰｹｰｼﾝｸﾞ工法 PC杭　Φ300　L=13.0m 杭穴埋戻し共	16	本			
計						

解体工事　別紙明細

1号棟解体（改良住宅）		機械設備解体撤去			衛生設備撤去	
名　　称	摘　　要	数　　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
配管切断		1	式			
給水配管切断	樹脂管類、保温なし　20A	2	か所			
排水配管切断	樹脂管類、保温なし　100A	2	か所			
排水配管切断	樹脂管類、保温なし　50A	4	か所			
排水配管切断	樹脂管類、保温なし　40A	2	か所			
計						
土工事	配管撤去用	1	式			
根切り	小規模土工 -	51.3	m3			
埋戻し(B種)	-　　発生土	51.3	m3			
計						

解体工事　別紙明細

1号棟解体（改良住宅）		機械設備解体撤去			衛生設備撤去	
名　　称	摘　　要	数　　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
土工事	枡撤去用	1	式			
根切り	小規模土工 -	1.4	m3			
埋戻し(B種)	-　　発生土	1.4	m3			
計						

解体工事　別紙明細

2号棟解体（改良住宅）		住宅棟解体撤去				
名　　称	摘　　要	数　　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
既存杭引抜き費	ｵｰｶﾞｰｹｰｼﾝｸﾞ工法 PC杭　Φ300　L=13.0m（16本） 機械組立解体費共　機械運搬共 （杭集積まで）	1	式			
機械機材運搬費		1	式			
機械組立・解体費		1	式			
既製杭引抜き 施工費	ｵｰｶﾞｰｹｰｼﾝｸﾞ工法 PC杭　Φ300　L=13.0m 杭穴埋戻し共	16	本			
計						

解体工事　別紙明細

2号棟解体（改良住宅）		機械設備解体撤去			衛生設備撤去	
名　　称	摘　　要	数　　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
配管切断		1	式			
給水配管切断	樹脂管類、保温なし　20A	2	か所			
排水配管切断	樹脂管類、保温なし　100A	2	か所			
排水配管切断	樹脂管類、保温なし　50A	4	か所			
排水配管切断	樹脂管類、保温なし　40A	2	か所			
計						
土工事	配管撤去用	1	式			
根切り	小規模土工 -	51.3	m3			
埋戻し(B種)	-　　発生土	51.3	m3			
計						

解体工事　別紙明細

2号棟解体（改良住宅）		機械設備解体撤去			衛生設備撤去	
名　　称	摘　　要	数　　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
土工事	枡撤去用	1	式			
根切り	小規模土工 -	1.5	m3			
埋戻し(B種)	-　　発生土	1.5	m3			
計						

解体工事　別紙明細

3号棟解体（改良住宅）		住宅棟解体撤去				
名　　称	摘　　要	数　　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
既存杭引抜き費	ｵｰｶﾞｰｹｰｼﾝｸﾞ工法 PC杭　Φ300　L=13.0m（16本） 機械組立解体費共　機械運搬共 （杭集積まで）	1	式			
機械機材運搬費		1	式			
機械組立・解体費		1	式			
既製杭引抜き 施工費	ｵｰｶﾞｰｹｰｼﾝｸﾞ工法 PC杭　Φ300　L=13.0m 杭穴埋戻し共	16	本			
計						

解体工事　別紙明細

3号棟解体（改良住宅）		機械設備解体撤去			衛生設備撤去	
名　　称	摘　　要	数　　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
配管切断		1	式			
給水配管切断	樹脂管類、保温なし　20A	2	か所			
排水配管切断	樹脂管類、保温なし　100A	2	か所			
排水配管切断	樹脂管類、保温なし　50A	4	か所			
排水配管切断	樹脂管類、保温なし　40A	2	か所			
計						
土工事	配管撤去用	1	式			
根切り	小規模土工 -	49.5	m3			
埋戻し(B種)	-　　発生土	49.5	m3			
計						

解体工事　別紙明細

3号棟解体（改良住宅）	機械設備解体撤去				衛生設備撤去	
名　　称	摘　　要	数　　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
土工事	桝撤去用	1	式			
根切り	小規模土工 -	1.5	m3			
埋戻し(B種)	-　　発生土	1.5	m3			
計						

解体工事　別紙明細

4号棟解体（公営住宅）	住宅棟解体撤去					
名　　称	摘　　要	数　　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
既存杭引抜き費	ｵｰｶﾞｰｹｰｼﾝｸﾞ工法 PC杭　Φ300　L=13.0m（16本） 機械組立解体費共　機械運搬共 （杭集積まで）	1	式			
機械機材運搬費		1	式			
機械組立・解体費		1	式			
既製杭引抜き 施工費	ｵｰｶﾞｰｹｰｼﾝｸﾞ工法 PC杭　Φ300　L=13.0m 杭穴埋戻し共	16	本			
計						

解体工事　別紙明細

4号棟解体（公営住宅）		機械設備解体撤去			衛生設備撤去	
名　　称	摘　　要	数　　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
配管切断		1	式			
給水配管切断	樹脂管類、保温なし　20A	2	か所			
排水配管切断	樹脂管類、保温なし　100A	2	か所			
排水配管切断	樹脂管類、保温なし　50A	4	か所			
排水配管切断	樹脂管類、保温なし　40A	2	か所			
計						
土工事	配管撤去用	1	式			
根切り	小規模土工 -	35.1	m3			
埋戻し(B種)	-　　発生土	35.1	m3			
計						

解体工事　別紙明細

4号棟解体（公営住宅）		機械設備解体撤去			衛生設備撤去	
名　　称	摘　　要	数　　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
土工事	桝撤去用	1	式			
根切り	小規模土工 -	2.1	m3			
埋戻し(B種)	-　　発生土	2.1	m3			
計						

解体工事　別紙明細

5号棟解体（公営住宅）		住宅棟解体撤去				
名　　称	摘　　要	数　　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
既存杭引抜き費	ｵｰｶﾞｰｹｰｼﾝｸﾞ工法 PC杭　Φ300　L=13.0m（16本） 機械組立解体費共　機械運搬共 （杭集積まで）	1	式			
機械機材運搬費		1	式			
機械組立・解体費		1	式			
既製杭引抜き 施工費	ｵｰｶﾞｰｹｰｼﾝｸﾞ工法 PC杭　Φ300　L=13.0m 杭穴埋戻し共	16	本			
計						

解体工事　別紙明細

5号棟解体（公営住宅）		機械設備解体撤去			衛生設備撤去	
名　　称	摘　　要	数　　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
配管切断		1	式			
給水配管切断	樹脂管類、保温なし　20A	2	か所			
排水配管切断	樹脂管類、保温なし　100A	2	か所			
排水配管切断	樹脂管類、保温なし　50A	4	か所			
排水配管切断	樹脂管類、保温なし　40A	2	か所			
計						
土工事	配管撤去用	1	式			
根切り	小規模土工 -	36.4	m3			
埋戻し(B種)	-　　発生土	36.4	m3			
計						

解体工事　別紙明細

5号棟解体（公営住宅）	機械設備解体撤去				衛生設備撤去	
名　　称	摘　　要	数　　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
土工事	枡撤去用	1	式			
根切り	小規模土工 -	1.5	m3			
埋戻し(B種)	-　　発生土	1.5	m3			
計						

解体工事　別紙明細

6号棟解体（公営住宅）	住宅棟解体撤去					
名　　称	摘　　要	数　　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
既存杭引抜き費	ｵｰｶﾞｰｹｰｼﾝｸﾞ工法 PC杭　Φ300　L=13.0m（16本） 機械組立解体費共　機械運搬共 （杭集積まで）	1	式			
機械機材運搬費		1	式			
機械組立・解体費		1	式			
既製杭引抜き 施工費	ｵｰｶﾞｰｹｰｼﾝｸﾞ工法 PC杭　Φ300　L=13.0m 杭穴埋戻し共	16	本			
計						

解体工事　別紙明細

6号棟解体（公営住宅）		機械設備解体撤去			衛生設備撤去	
名　　称	摘　　要	数　　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
配管切断		1	式			
給水配管切断	樹脂管類、保温なし　20A	2	か所			
排水配管切断	樹脂管類、保温なし　100A	2	か所			
排水配管切断	樹脂管類、保温なし　50A	4	か所			
排水配管切断	樹脂管類、保温なし　40A	2	か所			
計						
土工事	配管撤去用	1	式			
根切り	小規模土工 -	23.4	m3			
埋戻し(B種)	-　　発生土	23.4	m3			
計						

解体工事　別紙明細

6号棟解体（公営住宅）		機械設備解体撤去			衛生設備撤去	
名　　称	摘　　要	数　　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
土工事	桝撤去用	1	式			
根切り	小規模土工 -	2.6	m3			
埋戻し(B種)	-　　発生土	2.6	m3			
計						

解体工事　別紙明細

7号棟解体（公営住宅）		住宅棟解体撤去				
名　　称	摘　　要	数　　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
既存杭引抜き費	ｵｰｶﾞｰｹｰｼﾝｸﾞ工法 PC杭　Φ300　L=13.0m（16本） 機械組立解体費共　機械運搬共 （杭集積まで）	1	式			
機械機材運搬費		1	式			
機械組立・解体費		1	式			
既製杭引抜き 施工費	ｵｰｶﾞｰｹｰｼﾝｸﾞ工法 PC杭　Φ300　L=13.0m 杭穴埋戻し共	16	本			
計						

解体工事　別紙明細

7号棟解体（公営住宅）		機械設備解体撤去			衛生設備撤去	
名　　称	摘　　要	数　　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
配管切断		1	式			
給水配管切断	樹脂管類、保温なし　20A	2	か所			
排水配管切断	樹脂管類、保温なし　100A	2	か所			
排水配管切断	樹脂管類、保温なし　50A	4	か所			
排水配管切断	樹脂管類、保温なし　40A	2	か所			
計						
土工事	配管撤去用	1	式			
根切り	小規模土工 -	24.1	m3			
埋戻し(B種)	-　　発生土	24.1	m3			
計						

解体工事　別紙明細

7号棟解体（公営住宅）	機械設備解体撤去				衛生設備撤去	
名　　称	摘　　要	数　　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
土工事	桝撤去用	1	式			
根切り	小規模土工 -	2.8	m3			
埋戻し(B種)	-　　発生土	2.8	m3			
計						

解体工事　別紙明細

8号棟解体（公営住宅）	住宅棟解体撤去					
名　　称	摘　　要	数　　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
既存杭引抜き費	ｵｰｶﾞｰｹｰｼﾝｸﾞ工法 PC杭　Φ300　L=13.0m（16本） 機械組立解体費共　機械運搬共 （杭集積まで）	1	式			
機械機材運搬費		1	式			
機械組立・解体費		1	式			
既製杭引抜き 施工費	ｵｰｶﾞｰｹｰｼﾝｸﾞ工法 PC杭　Φ300　L=13.0m 杭穴埋戻し共	16	本			
計						

解体工事　別紙明細

8号棟解体（公営住宅）		機械設備解体撤去			衛生設備撤去	
名　　称	摘　　要	数　　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
配管切断		1	式			
給水配管切断	樹脂管類、保温なし　20A	2	か所			
排水配管切断	樹脂管類、保温なし　100A	2	か所			
排水配管切断	樹脂管類、保温なし　50A	4	か所			
排水配管切断	樹脂管類、保温なし　40A	2	か所			
計						
土工事	配管撤去用	1	式			
根切り	小規模土工 -	32.9	m3			
埋戻し(B種)	-　　発生土	32.9	m3			
計						

解体工事　別紙明細

8号棟解体（公営住宅）		機械設備解体撤去			衛生設備撤去	
名　　称	摘　　要	数　　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
土工事	桝撤去用	1	式			
根切り (基準単価)	つぼ,布掘り 深さ2.5m程度	3.3	m3			
埋戻し(B種) (基準単価)	-　　発生土	3.3	m3			
計						

解体工事　別紙明細

9号棟解体（公営住宅）		住宅棟解体撤去				
名　　称	摘　　要	数　　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
既存杭引抜き費	ｵｰｶﾞｰｹｰｼﾝｸﾞ工法 PC杭　Φ300　L=13.0m（16本） 機械組立解体費共　機械運搬共 （杭集積まで）	1	式			
機械機材運搬費		1	式			
機械組立・解体費		1	式			
既製杭引抜き 施工費	ｵｰｶﾞｰｹｰｼﾝｸﾞ工法 PC杭　Φ300　L=13.0m 杭穴埋戻し共	16	本			
計						

解体工事　別紙明細

9号棟解体（公営住宅）		機械設備解体撤去			衛生設備撤去	
名　　称	摘　　要	数　　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
配管切断		1	式			
給水配管切断	樹脂管類、保温なし　20A	2	か所			
排水配管切断	樹脂管類、保温なし　100A	2	か所			
排水配管切断	樹脂管類、保温なし　50A	4	か所			
排水配管切断	樹脂管類、保温なし　40A	2	か所			
計						
土工事	配管撤去用	1	式			
根切り	小規模土工 -	19.2	m3			
埋戻し(B種)	-　　発生土	19.2	m3			
計						

解体工事　別紙明細

9号棟解体（公営住宅）		機械設備解体撤去			衛生設備撤去	
名　　称	摘　　要	数　　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
土工事	桝撤去用	1	式			
根切り	小規模土工 -	31.2	m3			
埋戻し(B種)	-　　発生土	31.2	m3			
計						

解体工事　別紙明細

10号棟解体（公営住宅）		住宅棟解体撤去				
名　　称	摘　　要	数　　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
既存杭引抜き費	ｵｰｶﾞｰｹｰｼﾝｸﾞ工法 PC杭　Φ300　L=13.0m（16本） 機械組立解体費共　機械運搬共 （杭集積まで）	1	式			
機械機材運搬費		1	式			
機械組立・解体費		1	式			
既製杭引抜き 施工費	ｵｰｶﾞｰｹｰｼﾝｸﾞ工法 PC杭　Φ300　L=13.0m 杭穴埋戻し共	16	本			
計						

解体工事　別紙明細

10号棟解体（公営住宅）		機械設備解体撤去			衛生設備撤去	
名　　称	摘　　要	数　　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
配管切断		1	式			
給水配管切断	樹脂管類、保温なし　20A	2	か所			
排水配管切断	樹脂管類、保温なし　100A	2	か所			
排水配管切断	樹脂管類、保温なし　50A	4	か所			
排水配管切断	樹脂管類、保温なし　40A	2	か所			
計						
土工事	配管撤去用	1	式			
根切り	小規模土工 -	22.7	m3			
埋戻し(B種)	-　　発生土	22.7	m3			
計						

解体工事　別紙明細

10号棟解体（公営住宅）		機械設備解体撤去			衛生設備撤去	
名　　称	摘　　要	数　　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
土工事	桝撤去用	1	式			
根切り	小規模土工 -	2.6	m3			
埋戻し(B種)	-　　発生土	2.6	m3			
計						

共通仮設費(積上)　明細

名　　称	摘　　要	数　　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
仮囲い	万能鋼板塀 H=3.0m t=1.2mm 設置費･撤去費･賃料･基本料 運搬共	385.3	m			
仮囲いシート貼り	H3.0　出入り口兼用8ヶ所	48	m			
仮設鉄板敷	設置費　　敷鉄板 1524×6096×22mm －	9.2	㎡			
仮設鉄板敷	撤去費　　敷鉄板 1524×6096×22mm －	9.2	㎡			
仮設鉄板敷	整備費　　敷鉄板 1524×6096×22mm －	9.2	㎡			
交通整理員	Ｂ種	30	人			
騒音振動計ﾚﾝﾀﾙ	表示板付き 数値記録	1	台			
粉塵計ﾚﾝﾀﾙ	数値記録	1	台			
アスベスト分析調査	定性 JIS A 1481-1	2	検体			
進入防止柵	木杭:50角･トラロープ２段 @５m程度	127.1	m			
小計						
計						

現場管理費(積上)　明細

名　　称	摘　　要	数　　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
広島県工事中情報共有システム		1	式			
家屋事前調査		1	式			
計						